

減		翌年度越高			備考
數量	價格	數量	價格	料金	
	円		円	円	一、料金ハ満期日ノ如何ニ拘ラス年額ヲ以テ掲クヘシ 一、増減ニ對シテハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
	0		0	0	
0	0	0	0	0	
	0		0	0	

第三號様式(國有財産増減計算書附屬明細書)

大正何年度

國有財産増減計算書

附屬明細書

何 (廳名)

備考

營林財産、雜種財産ノ記載方ハ本例ニ準スルモノトス但營林財産ニ付テハ口座名ヲ林區事業區名トシ雜種財産ニ付テハ口座名ヲ除クモノトス

神社用地	船 舶	工 作 物
二、五〇〇坪	一四隻	
	四二、〇〇〇〇〇〇	三、〇五〇〇〇〇

貸付 (準貸)

摘要	單位 稱呼	前年度末		增	
		數量	價格	數量	價格
貸付			円		
有公用地		0	0	0	0
土地		0	0	0	0
計			0		0
何何					
合計		0	0	0	0
			0		0
無料					
(前例=倣フ)					
準貸付					
(前例=倣フ)					

國有財産法施行令中條文ノ適用ニ關スル件

(大正十一年六月十九日課第二九八號)
各地方長官宛、地理課長通牒

國有財産法施行令第一條第一項第二號ノ從物ハ其ノ主物ト分離シ從物タル關係ヲ廢スル場合ニ於テ國有財産法施行令第二條第二項ノ所謂「用途廢止」ト同時ニ國有財産タルノ性質ヲ失フモノトナルヘキ儀ニ有之候條爲御參考及通牒候也

公用財産ノ用途廢止ノ際單ニ事前ノ通知ニ止メ之カ

(大正十一年六月十九日課第二九九號)
各地方長官宛、會計課長通牒

引繼ヲ爲ササルモノノ取扱ニ關スル件

當省所管左記公用財産ハ用途ヲ廢止シタル後モ大藏大臣ニ引繼ヲ爲ササルコトニ協議ヲ遂ケ候條用途廢止ノ必要アル場合ハ內務省所管國有財産取扱規程第七條ニ依リ內務大臣ニ稟請ノ上相當御處理相成度候

記

- 一 船舶、浮標及浮棧橋
- 二 建物又ハ工作物ニシテ取毀ノ目的ヲ以テ其用途ヲ廢止スルモノ
- 三 立木竹、但シ土地ノ用途廢止ニ伴フ場合ヲ除ク

雜種財産ノ處分ニ關スル件

(大正十一年八月二十二日發會第三八三號)
各地方長官宛、會計課長通牒

標記ノ件ニ關シ別紙ノ通り大藏省ヘ照會致置候條處理上參考ノ爲及通牒候

國有財産法ノ施行ニ依リ雜種財産トシテ貴省ヘ引繼ヲ了シ候モノハ單ニ土地目錄面ニ依リタルモノモ可有之ニ付テハ中ニハ現ニ公共用ニ供シアルモノ若ハ現在公共用ニ供セラレサルモ將來道路、河川等ノ改修用地トシテ必要ナルモノ或ハ民有地ニ歸屬ノ結果新ニ堤防護岸等築設ノ必要ヲ生スルモノ等土木事業ニ重大ナル關係ヲ有スル箇所多々可有之ト存候ニ付地方費支辨ニ屬スル道路、河川等ノ附近地ヲ貴省ニ於テ御處分ノ際ハ事前ニ關係地方廳ヘ一應御協議相成様致度

追而土地臺帳及附屬圖ノ何レニモ脱漏ノ土地ハ稀有ナルモ圖上相當ノ地積ヲ占ムルニ拘ハラズ土地臺帳ニ登錄ナキ土地ニシテ偶々發見セララル事實アリ是等ハ從來整理シ來リタル殘地ナレトモ公共用地、公用地ニ接續シタル是等土地ヲ新ニ貴省ニ於テ雜種財産トシテ御處分ノ際モ同様ノ手續御取計相煩度候

海濱地ヲ公共用財産トシテ取扱方ノ件

(大正十一年六月二日土第一九四三號) 靜岡縣知事 照會

海濱地ハ國有財産法ニ所謂雜種財産トシテ取扱ハレ候哉ニ承知致候ヘ共海濱地ハ或ル特殊ノ場所ノ外大部分漁業用其ノ他船舶ノ繫留物資ノ揚卸漁具漁獲物ノ乾燥等ノ爲日常公衆ノ共用スルトコロニシテ海面ト相俟テ事實上公共用財産ノ一部ヲ形成スルモノト認メラレ候ニ付之ヲ雜種財産ト爲スハ甚タ妥當ナラサルノミナラス本縣ハ從前ヨリ官ニ關スル公有地トシテ取扱來リ候沿革モ有之候ニ付公共用財産トシテ内務省所管ニ據ヘ置カル、様致度及上申候

追テ波打際ニ於テ公共用財産ト雜種財産ノ界線ヲ樹テタリトスルモ砂礫ノ採取又ハ漁業用若ハ海水浴用小屋掛敷等ノ使用出願ヲ處理スル場合所管兩省ニ跨ルトキハ鮮少ナラサル煩累ヲ來シ取締上ニモ統一ヲ缺キ種々ノ不便宜ヲ招來スル虞アルモノト被認候條爲念副申致候

同件

(大正十一年六月九日靜會第三二號ノ内) 靜岡縣知事宛、會計課長 回答

本月二日土第一九四三號標記ノ件ニ關シ大藏、内務兩大臣宛上申相成候處財産ノ種別ハ名稱ノ如何ニ不拘各其用途又ハ目的ニ依リ決定セラレヘキモノニ有之候從テ海濱地ニシテ直接公共ノ用ニ供セラレ、モノハ當然公共用財産トシテ取扱相成可然ト存候間一應名古屋稅務監督局ニ御協議相成度候

追テ本件ニ關スル貴官ヨリノ上申書及之ニ對スル本省ヨリノ回答ハ大藏省臨時國有財産整理部長ヘ及移牒置候

公共用途廢止地等ノ取扱ニ關スル件

(大正十一年六月八日地第三〇四八號) 岡山縣知事 照會

雜種財産ノ引繼ニ關聯シ左記事項疑義相生シ候ニ付至急何分ノ御回示相煩度

- 三 河川溝渠等ノ公共用途ヲ廢止シ國有財産法施行令第八條ニ依リ公共團體ニ讓與スヘキモノハ同第二條第二項用途ノ廢止ト同時ニ國有財産タルノ性質ヲ失フモノニ該當スルモノトシ大藏省ニ交渉ヲ要セス處理シ可然モノナリヤ
- 四 濱地、附寄洲、池沼、墓地、塚敷、公園等ハ公共用地ニ屬シ大藏省ニ引繼クヘキモノニアラスト存セラレ、モ國有財産法施行規則別表ニ雜種財産ナルカ如ク種目ノ記載アルヲ以テ引繼方要求アリ如何處理スヘキヤ

同件

(大正十一年六月二十六日岡會第一八號ノ内) 岡山縣知事宛、會計課長 回答

本年六月八日地第三〇四八號問合標記ノ件ハ左記ノ通御承知相成度

三 用途ノ廢止ト同時ニ國有財産タルノ性質ヲ失フモノニ該當セス雜種財産トシテ大藏省ニ引繼クヘキモノトス

四 名稱ノ如何ニ拘ラス從來公共ノ用ニ供シアルモノハ公共用財産トシテ内務省ノ所管ニ屬スルモノトス

公用財産取扱ニ關スル疑義ノ件

(大正十一年七月四日神第四一號) (神戸土木出張所長照會)

標記取扱方ニ關スル左記疑問ノ諸點至急御回答相煩度此段照會候也

記

一 建物工作物ノ移築、改築、模様替ニヨリ生シタル剩餘古材ハ之ヲ物品ニ組替フルコトヲ得ルヤ

二 前號剩餘古材ノ内不用ノ分ハ物品ニ組替ヲ爲サス其儘所長限リ賣拂ヲ爲スコトヲ得ルヤ

三 建物、工作物ニシテ將來同一目的ノ爲メニ利用ノ見込ヲ以テ一時取毀タントスルハ用途廢止トシテ稟請ヲ要スルヤ

四 建物及工作物ノ取毀及其不用古材ノ賣拂ハ用途廢止トシテ稟請ヲ要スルヤ

五 公用財産ノ從物ヲ除斥シ又ハ之ヲ物品ニ取替フルハ所長限リ專行スルコトヲ得ルヤ

六 雜建物、工作物ハ臨機廢止變更ヲ要ス其都度稟請ヲ要スルヤ

七 價格評定員ハ一名ニテ可ナルヤ

八 一式ヲ以テ單位トシタル物ニ對シ其後ノ増減ハ價格ノミノ更正ニテ足ルヤ

九 公用財産ヨリ生シタル不用古材及從物ノ賣拂代金ハ國有財産整理資金ノ歳入トスヘキヤ

同件

(大正十一年七月二十五日出第一一號) (神戸土木出張所長宛、會計課長回答)

七月四日附神第四一號ヲ以テ標記ノ件御照會相成候處左記ノ通りニ候

記

一 物品ニ組替整理スヘキ義ト存候

二 物品トシテ所長限リ處分スヘキ義ト存候

三 御見込ノ通り

四 前段ハ御見込ノ通り後段ハ國有財産ノ用途廢止ニ非サルカ故ニ物品トシテ所長限リ處分セラレ可然ト存候

五 内務省國有財産取扱規程第七條ノ二ニ依リ御取扱相成度候

六 公用廢止ニ非サルモノハ稟申スルニ及ハス候

七 一名ニテモ差支無之ト存候

八 御見込ノ通り

九 不用古材ハ勿論國有財産法施行令第一條第一項第二號ノ從物ニシテ其主物ト分離シ從物タル關係ヲ廢シタル場合ハ同令第二條第二項ノ用途廢止ト同時ニ國有財産タルノ性質ヲ失フモノニ該當スルモノト雖賣拂代金ハ物品拂下代トシテ徴收スヘキモノトス

公有水面埋立及使用免許取扱方

(明治二十三年十月二十日) (内務省訓令第三六號)

改(明治二十六年二月訓令第二號、三十一年) (二月同第五號、四十年六月同第一四號)

第一條

第二條

第三條

第四條

第五條

第六條

第七條

第七條 舊慣ニヨリテ捕魚採藻ノ業ヲ營ムノ外公有ノ水面又ハ河川敷地ヲ其儘使用センコトヲ出願スルモノアルトキハ前條々ノ例ニ準シ命令書ヲ下附シテ之ヲ免許ス可シ但本條ノ場合ニ於テハ相當ノ料金ヲ國庫ニ納メシム可シ

第八條

(公有水面埋立法ノ施行ニ依リ消滅)

第九條

第九條 水上ノ取締ニ關スル規則ニヨリテ公有水面ノ使用ヲ許スノ類ハ命令書ヲ下附スルニ及ハス又使用料ヲ納メシムルニ及ハス公共ノ障礙ナキニ於テハ無料使用ヲ許スコトヲ得

第十條

第十條 何レノ場合ニ於テモ使用料額ハ五ケ年ヲ期シテ定ムヘシ

第十一條

(公有水面埋立法ノ施行ニ依リ消滅)

第十二條

(公有水面埋立法ノ施行ニ依リ消滅)

第十三條

第十三條 公有水面ノ(埋立)使用及河川敷地ノ使用ハ特ニ其ノ處分ヲ委任シタルモノ及第九條ヲ除クノ外總テ意見ヲ具シ地圖ヲ添ヘ本大臣ニ稟議スヘシ但シ公有水面ニシテ使用ノ慣行アルモノニ限り地方ノ狀況ニ依リ特ニ其ノ處分ヲ委任スルコトアルヘシ

其ノ本大臣ノ指令ヲ得テ下附シタル命令書、設計書、圖面ハ又本大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ變更スルコトヲ得ス

コトヲ得ス

漁業免許ト水面使用許可トノ關係ニ付取扱方ノ件

(明治四十四年三月二十日水第三一三〇號) 各地方長官宛、土木、水産兩局長 通牒

改正漁業法實施ノ後漁業ノ免許ト官ニ屬スル公有水面使用ノ許可トノ關係ニ付テハ左ノ通御取扱相成度依命此段及通牒候也

追テ河川法ヲ施行シタル河川又ハ河川法ヲ準用シタル河川ニ於テ漁業ノ爲メ工作物ヲ施設シ又ハ占用ヲ爲ス等ノ場合ニハ各其ノ法令ニ依リ許可ヲ受ケシムヘキハ勿論ナルモ許可ニ依リテ生スル權利義務ハ漁業法第十一條ノ規定ニ依リ當然漁業權ノ處分ニ隨伴シ其ノ移轉ニ付テハ別ニ許可ヲ要セサルモノトス

一 漁業法施行規則第十二條第七號第十三條第一號又ハ第二號(工作物ノ施設其ノ他ノ行爲ニ依リ水面ヲ限界スルモノ)ニ該當スル場合ハ其ノ水面ノ使用ニ付テハ明治二十三年內務省訓令第三十六號第七條ノ規定ニ依ルモノトス但シ此ノ場合ニ於ケル使用料ハ其ノ事實ト地方ノ狀況トニ依リテハ之ヲ徵收セサルコトヲ得

二 前號以外ニ該當スル場合ニ於テモ漁業ノ爲メ工作物ヲ施設スルモノ、如キハ其ノ工作物等ノ施設ノ區域ニ付キ亦前號ニ同シ

公有水面使用ノ免許ニ關スル事項ハ漁業ノ免許又ハ許可ノ願書ニ之ヲ併記セシメ同時ニ處理スルモ支障ナシ

三 前二號以外ニ該當スル場合ニ於テハ水面使用ノ規定ニ依ルヲ要セサルモノトス
四 慣行アル場合ニ於テ其ノ慣行ニ從ヒ漁業ヲ爲スモノハ水面使用ノ規定ニ依ルヲ要セサルモノトス

- 五 水面使用ノ期間ハ漁業ノ免許期間ト同一ナルコトヲ要ス
- 六 水面使用ニ關スル權利義務ハ漁業法第十一條ノ規定ニ依リ漁業權ノ處分ニ從ヒ當然相續讓渡又ハ抵當權ノ目的トナルヘキモノナルコト勿論ナルモ命令書ノ變更ヲ要スル場合ニハ更ニ其ノ手續ヲ爲スヘキモノトス
- 七 漁業ノ爲メニスル公有水面使用ニ關シ明治二十三年內務省訓令第三十六號第一條ノ規定ニ依リ關係市町村會ノ意見ヲ聞クハ其ノ使用ニ付テノミ之ヲ聞クモノニシテ漁業ノ免許ニ付テハ其ノ意見ヲ徵スルニ及ハサルモノトス
- 八 公有水面ノ使用ト漁業トハ免許取消其ノ他處分上同一ノ取扱ヲ爲シ兩者支離スルカ如キコトナキ様注意ヲ要ス

漁業免許ト水面ノ占用使用等ニ關スル訴願取扱方ノ件

(明治三十七年十月十九日 內務省省議決定)

漁業法ニ依ル漁業免許ト之ニ伴フ水面ノ占用使用等ニ關スル取扱上ニ付テ曾テハ農商務、內務兩省ノ間ニ協議ヲ盡シ內務省ハ府縣知事ニ對シ兩者ノ關係ニ付キ詳細ノ手續ヲ定メ通牒ヲ發シタリ故ニ漁業行爲ニシテ水面ニ工作物ヲ設置スルモノノ如キハ一面ニ於テ漁業法ニ依リ漁業ノ免許ヲ申請スルト同時ニ又一面ニ於テハ河川法又ハ水面使用ノ規定ニ依リ許可ノ申請ヲ爲サ、ルヘカラス此申請ニ對スル府縣知事ノ處分ニシテ單ニ漁業法ニ關スル事項ナラハ農商務大臣ニ訴願シ河川法又ハ水面使用ニ關スル事項ナラハ內務大臣ニ訴願スヘキ筈ニテ兩者ノ區別截然トシテ明カナレトモ訴願者ノ提出スル書面ニ至リテハ之レ等ノ區別ヲ混同スルモノナキニアラサルヘシ故ニ農商務省ニ受理セシ訴願ノ事項中ニ內務省ノ主管ニ屬スルモノアルカ又內務省

ニ受理セシ訴願ノ事項中ニ農商務省ノ主管ニ屬スル事項アル等ノ場分ニ於テハ其裁決ハ何レノ名ヲ以テスルヲ問ハス兩省合議ノ上處分スル方然ルヘシ

訴願ノ裁決ヲ爲スニ當リ實地ノ調査ヲ要スルモノヲ大別スレハ漁業上ノ關係ト水利土木ノ關係トノ二種ナルヘシ而シテ此ノ二種ノ內水利土木ニ關スル事項ハ當然內務省ニ於テ調査スヘキモノナルカ故ニ內務省ハ相當ノ機關ニ依リ之カ調査ヲ爲スモノトス

但シ本文調査ノ事項及其手續等ハ訴願ノ實質ニ付其都度兩省主務局長ノ間ニ交渉ヲ遂ケ處理スルモノトス

地盤ノ官有ニ屬スル堤塘道路竝木敷處分方ノ件

(明治二十四年五月二十二日 內務省訓令第四六二號)

地盤ノ官有ニ屬スル堤塘道路竝木敷ノ使用ハ自今其ノ費用ヲ負擔スル府縣及市町村ニ於テ處分スヘシ但市町村ノ處分ニ係ルモノハ府縣廳ノ認可ヲ請ハシムヘシ

前項堤塘道路竝木敷使用料及堤塘道路用惡水路土居敷等ニ屬スル竹木其ノ他ノ收益ハ其ノ費用ヲ負擔スル府縣及市町村ノ收入ニ屬スヘシ

費用ノ主擔定マラサルカ又年々負擔ヲ異ニスル堤塘道路竝木敷用惡水路土居敷等ニ關スル事項ハ府縣廳ニ於テ處分シ其ノ收益ニ屬スルモノハ府縣廳ニ於テ之ヲ徵收シ費用ヲ負擔スル府縣及市町村ニ配付スヘシ

地盤ノ市町村有ニ屬スル堤塘ノ使用及堤塘ヨリ生スル收益等ハ市町村ノ管理ニ歸セシムヘシ

公有水面使用權移轉ニ關スル件

(昭和三年十月十五日 土第四七四九號 鹿兒島縣知事照會)

會社解散後清算人ヨリ公有水面使用權讓渡ノ儀願出タルトキハ命令書ニ解散後ハ效力ヲ失フヘキ旨ノ規定ナ

キ場合ニ在リテハ許可シ可然モノト認メラレ候得共疑義相生シ候ニ付至急何分ノ儀御回示相成度

同伴 (昭和四年一月十九日鹿土第一號)
鹿兒島縣知事宛 土木局長回答

客年十月十五日三土第四七四九號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件許可ニ依リテ得タル使用權ナル場合ニ於テハ御見込ノ通ト存候

要塞地帶法

(明治三十二年七月十五日
法律第一〇五號)

改正 (大正四年六月
法律第一七號)

第一章 總 則

第一條 要塞地帶トハ國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物ノ周圍ノ區域ヲ云フ

第二條 要塞地帶ノ幅員ハ防禦營造物ノ各突出部ヲ連結スル線ヲ基線トシ此ノ線ヨリ外方一定ノ距離以內ニ於テ之ヲ定ム

第三條 要塞地帶ハ陸地ト海面トヲ問ハス之ヲ三區ニ分チ各區ノ幅員ハ左ノ區別ニ從ヒ陸軍大臣之ヲ定メ竝之ヲ告示ス其ノ之ヲ變更スル場合亦同シ但シ陸軍防禦營造物ノ地帶及第七條第二項ノ區域カ海軍防禦營造物ノ地帶及第七條第二項ノ區域ト相關聯スルカ或ハ軍港要港又ハ海軍用地ニ係ル場合竝陸軍用地カ海軍防禦營造物ノ地帶及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合ニ於テハ陸軍大臣海軍大臣協議ノ上之ヲ定メ連署シテ告示ヲ爲スコトヲ要ス

第一區 基線ヨリ測リ二百五十間以內及基線ト防禦營造物間ノ區域

第二區 基線ヨリ測リ七百五十間以內

第三區 基線ヨリ測リ二千二百五十間以內

第四條 要塞司令官鎮守府司令長官要港部司令官及築城部本部長ハ要塞地帯ヲ劃スル爲其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ部下官僚ヲシテ要塞地帯内及第七條第二項ノ區域内何レノ地ヲ問ハス出入セシムルコトヲ得但シ陸海軍用地内ニ出入セシメントスルトキハ互ニ當該官廳ノ承認ヲ經ヘシ

第五條 陸軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ニ關聯セサル海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域内ニ關シテハ此ノ法律ニ規定スル陸軍大臣ノ職務ハ海軍大臣之ヲ行ヒ要塞司令官ノ職務ハ鎮守府司令長官要港部司令官之ヲ行フ

第六條 此ノ法律ハ防禦營造物ノ設ナシト雖之ヲ設クルコトニ決定シタル箇所ニ於テ其ノ豫定防禦營造物ノ各突出部ヲ連結スル線ヲ基線トシ第二條第三條及第七條第二項ニ定メタル區域ニ付テ亦之ヲ適用ス但シ基線以内ノ區域ハ第一區ニ準ス

第二章 禁止及制限

第七條 何人ト雖要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ要塞地帯内水陸ノ形狀ヲ測量、撮影、模寫、錄取シ又ハ要塞地帯内ヲ航空スルコトヲ得ス
前項ノ規定ハ要塞地帯外ト雖第三區ノ境界線ヨリ外方三千五百間以内ノ區域ニ

於テ之ヲ適用ス

第八條 要塞司令官ハ要塞地帯内ニ入り兵備ノ狀況其ノ他地形等ヲ視察スル者ト認メタルトキハ之ヲ要塞地帯外ニ退去セシムルコトヲ得

第九條 要塞地帯ノ第一區ニ屬スル水面ニ在リテハ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ漁獵、採藻及艦船ノ繫泊、土砂ノ掘鑿ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 第一區内ニ於テ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ
一 不燃質物ヲ以テ築造セル家屋及倉庫

二 窰室及固定竈爐

三 不燃質物ヲ以テ築造セル高サ二尺ヲ超ユル諸般ノ築造物
第十一條 第一區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

一 埋葬地

二 水車及風車

三 井

四 容易ニ他ニ移動スヘカラサル器械器具ヲ備フル家屋

五 生垣及木造ノ圍牆

第十條第一號ニ於テ禁セサル家屋及倉庫

第十二條 第二區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 不燃質物ヲ以テ築造セル家屋及倉庫
- 二 埋葬地

三 不燃質物ヲ以テ築造セル高サ三尺ヲ超ユル諸般ノ築造物

第十三條 第一區第二區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ屋内ト屋外トヲ問ハス累積スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 第一區内ニ於テハ高サ五尺、第二區内ニ於テハ高サ八尺以上ニ累積スル不燃質物及石炭類
- 二 第一區内ニ於テハ高サ一丈三尺、第二區内ニ於テハ高サ一丈七尺以上ニ累積スル薪炭及竹木材

第十四條 第一區第二區内ニ於テハ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ家屋倉庫及諸般ノ築造物ヲ改築増築スルコトヲ得ス

第十五條 各區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設若ハ變更スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

トヲ得サルモノ左ノ如シ

一 地表ノ高低ヲ永久ニ變更スル土工即チ堆土、開鑿等

二 溝渠、鹽田、排水及灌水

三 公園、育樹場、竹木林、菓園及桑茶畑

四 耕作地

第十六條 各區内ニ於テ陸軍大臣ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設若ハ變更スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

堤塘、運河、道路、橋梁、鐵道、墜道、永久棧橋

第十七條 本章ノ禁止制限ニ違背シ新設改築増築變更シタル家屋倉庫其ノ他ノ築造物又ハ累積物等ハ違背者ヲシテ期限ヲ定メテ之ヲ除去セシメ地形ノ變更ニ係ルモノハ之ヲ復舊セシメ期限内ニ除去復舊セサルトキ若ハ其ノ期限内ニ終了スルノ見込ナキトキ又ハ其ノ方法宜シキヲ得サルトキハ官廳ニ於テ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコトヲ得前項義務者ニ於テ負擔スヘキ費用ハ國稅ノ滯納處分ニ關スル規定ニ依リ之ヲ徴收スルコトヲ得但シ政府ハ國稅ニ次キ先取權ヲ有ス本條ノ處分ハ第十六條ノ違背者ニ就テハ陸軍大臣之ヲ爲シ其ノ他ノ違背者ニ就

テハ要塞司令官之ヲ爲スヘシ

第十八條 地帯ノ禁止制限ニ關シ官廳ノ處分ニ服セサル者ハ其ノ處分ニ就テノ告示又ハ通達ヲ受タル日ヨリ三十日以内ニ陸軍大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ訴願中處分ノ執行ヲ妨ケス

第十九條 陸軍大臣ハ場合ニ依リ或區域内ニ限り特ニ本章禁止制限ノ全部若ハ一部ヲ解除スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ解除ノ事項及其ノ區域ヲ告示ス之ヲ變更スルトキ亦同シ

第二十條 本章ノ禁止及制限ハ陸海軍又ハ陸海軍官廳ノ行動又ハ施設ニ對シテハ之ヲ適用セス但シ陸軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ニシテ海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合若ハ軍港要港又ハ海軍用地ニ係ル場合竝陸軍用地カ海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合ニ於テ當該陸軍官廳若ハ海軍官廳カ此ノ法律ニ掲クル許可又ハ承認ヲ爲シ若ハ第十九條ノ處分ヲ爲サントスルトキハ陸軍官廳ハ當該海軍官廳ニ海軍官廳ハ當該陸軍官廳ニ協議スルコトヲ要ス

第二十一條 陸海軍以外ノ官廳ニ於テ第七條第九條第十一條乃至第十五條ニ掲クル事項ヲ爲サントスルトキハ要塞司令官ノ承認第十六條ニ掲クル事項ヲ爲サン

トスルトキハ陸軍大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第三章 罰 則

第二十二條 第七條及第九條ノ禁ヲ犯シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ十一日以上ノ拘留又ハ五十圓以下ノ罰金若ハ二圓以上ノ科料ニ處ス第八條ニ依リ要塞司令官ニ退去ヲ命セラレ其ノ命ニ從ハサル者亦同シ

第二十三條 第七條及第九條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二十四條 第十條乃至第十三條第十五條及第十六條ニ違犯シタル者ハ四十圓以下ノ罰金又ハ二圓以上ノ科料ニ處ス

第二十五條 第十四條ニ違反シタル者ハ二圓以下ノ科料ニ處ス

第二十六條 要塞地帯各區及第七條第二項ノ區域ヲ標示スル爲ニ設ケタル標石、標木、標札ノ類ヲ移轉シ又ハ之ヲ毀壞シタル者ハ二月以下ノ懲役若ハ十一日以上ノ拘留ニ處シ又ハ五十圓以下ノ罰金若ハ五圓以上ノ科料ニ處ス其ノ過失ニ出テタル者ハ二圓以下ノ科料ニ處ス

第四章 雜 則

第二十七條 要塞地帯創設告示ノ當時家屋倉庫築造物等ノ新設、變更、改築、増

築中ニ係ルモノハ此ノ法律ノ禁止制限ヲ適用セス

第二十八條 要塞地帯各區及第七條第二項ノ區域ヲ標示スル標石、標木若ハ標札ノ類ヲ建設スル爲ニ要スル敷地ノ買収及使用ニ關シテハ明治二十三年法律第二十三號陸地測量標條例ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 此ノ法律ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
附則

第三十條 此ノ法律ハ軍港規則及要港規則ノ效力ヲ妨クルコトナシ

第三十一條 明治三十一年勅令第七十六號ハ此ノ法律ニ依リ第三條又ハ第六條ノ告示ヲ爲シタル箇所ニ限り其ノ效力ヲ失フ

要塞地帯法施行規則

(明治三十三年六月十六日 陸軍省令第一四號)

改(明治三十四年十月第一五號、大正三年五月第七號、四年七月第九號、八年八月第二八號)

第一條

要塞地帯法ニ於テ不燃質物ト稱スルハ金屬、煉瓦、石、土及之ニ準スヘキモノヲ謂ヒ道路橋梁ト稱スルハ國道縣道及道幅三間以上ノ公共道路及此等ノ路線ニ架設スル橋梁ヲ謂フ

第二條

左ニ掲クル事項ハ許可ヲ受クルコトヲ要セス
一 港灣ニ出入スル艦船ノ航行ニ必要ナル錘測

二 土地ノ丈量但シ地目地類ノ變換、土地分合、境界査定、家屋倉庫ノ新設變更並本項第四號乃至第十一號ニ掲クル作業ニ要スルモノニ限ル

三 檢證ノ爲相當官憲ノ行フ測量、模寫、撮影、錄取

四 長サ百間ヲ超エサル生垣及木造ノ圍牆ノ新設變更

五 不燃質物ヨリ成ラサル建坪五十坪以下ノ家屋倉庫ノ新設變更但シ火藥庫ノ近傍ニ在リテハ其ノ外圍ヨリ外方五十間以外ノ場合ニ限ル

六 面積三百坪以下ニシテ第一區ニ在リテハ高低二尺、第二區、第三區ニ在リテハ高低三尺ヲ超エサル堆土、開鑿等

七 宅地内ニ於テスル築山、泉水等ノ新設變更

八 不可抗力ニ由リ變更シタル土地物件ヲ原狀ニ復スル作業

九 深、幅各六尺ヲ超エサル溝渠及排水、灌水ノ新設變更

十 竹木林ノ伐採

十一 面積五百坪ヲ超エサル育樹場、菓園、桑茶畑、鹽田及耕作地ノ新設變更

第三條 要塞地帯法第十條及第十六條ノ禁止ヲ解除シタル場合ニ於テハ尙要塞司令官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第四條 要塞司令官ノ許可ヲ得ムトスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記シ其ノ作業地航空ノ場合ニ在リテハ其ノ發着場ヲ管轄スル市町村長朝鮮ニ在リテハ警察署長、同分署長、臺ノ奥書ヲ得テ當該要塞司令官ニ願出ツヘシ

一 要塞地帯法第七條ニ掲クルモノニ在リテハ其ノ目的、區域及期限但シ航空ノ場合ニ在リテハ使用スヘキ航空機ノ種類及型式共

二 要塞地帯法第九條ニ掲クルモノニ在リテハ漁獵採藻ノ區域及期限、艦船繫泊ノ位置及期限、土砂掘鑿ノ區域、方法及期限

三 要塞地帯法第十條(解除シタル事項ニ限ル)乃至第十二條並第十五條及第十六條(解除シタル事項ニ限ル)ニ掲クルモノニ在リテハ其目的、設計、位置及落成期限但シ同法第十一條第四號ニ掲クルモノニ在リテハ其器械器具設備ノ設計及其位置共

四 要塞地帯法第十三條ニ掲クルモノニ在リテハ累積物ノ種類、累積ノ目的、位置、高サ並期間要塞地帯法第十四條ニ依リ許可ヲ得ムトスルモノハ前項ニ準ス

第五條 陸軍大臣ノ許可ヲ得ムトスル者ハ工事ノ種類、設計及落成ノ期日ヲ記シ地方長官ノ證明ヲ受ケ當該要塞司令官ヲ經由シテ陸軍大臣ニ願出ツヘシ但シ本則第七條ノ場合ニハ地方長官ノ證明ヲ要セス

第六條 府、縣、「郡」、市、町、村、水利組合其他公共團體並社團法人ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ願出ツヘシ

府、縣、「郡」、市、町、村、水利組合其他公共團體ヨリ出願スル場合又ハ要塞地帯法第七條中撮影、模寫、錄取ヲ出願スル場合若ハ本則第七條ノ場合ニハ第四條ノ與書ヲ要セス

第七條 許可ヲ受クヘキ事項ニシテ別ニ法令ノ規定ニ依リ主務官廳ノ許可ヲ要スルモノハ先ツ其許可ヲ受ケ許可書ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第八條 前諸條ノ規定ハ許可ヲ得タル事項ヲ變更セムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 許可ヲ與ヘタルトキハ許可證ヲ交付ス
許可證ハ作業ヲ實施スル者必ス携帯シ何時ニテモ憲兵、衛戍服務ノ軍人、當該要塞司令部對島ニ在リテハ職員及警察官吏ノ閱覽ニ供スヘシ

第十條 許可證ヲ失ヒタルトキハ速ニ其ノ再下附ヲ願出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テハ同時ニ最寄警察官署又ハ憲兵隊分隊、派遣ニ其旨ヲ届出テ作業ヲ繼續スルコトヲ得

第十一條 許可ヲ受ケタル作業ノ場所ニ許可濟ノ旨ヲ記シタル標札ノ類ヲ掲クヘシ但シ要塞地帯法第七條及第九條ニ掲クルモノニ在リテハ此限ニ在ラス

第十二條 許可ヲ受ケタル工事成シタルトキ又ハ之ニ著手セス若ハ之ヲ中止シタルトキハ速ニ其旨ヲ作業地ヲ管轄スル市町村長ニ届出ツヘシ市町村長ハ之ヲ取纏メ毎月末日ヲ以テ當該要塞司令官ニ報告スヘシ

第十三條 許可證ヲ所持スヘキ者ニシテ當該官ノ閱覽ヲ拒ミタル者ハ二圓以上十圓以下ノ科料ニ處ス

附則

第十四條 本則ハ陸軍防禦營造物ノ地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ニ關聯セサル海軍防禦營造物ノ地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ヲ除キ總テノ要塞地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ニ關シテ之ヲ適用ス

第十五條 本則ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

要塞地帯法施行規則

(明治三十三年六月十六日海軍省令第一六號)

改(明治三十四年十月第一〇號、十二月第一四號、大正三年五月第六號、四年七月第七號、八年八月第二〇號)

第一條 要塞地帯法ニ於テ不燃質物ト稱スルハ金屬、煉瓦、石、土及之ニ準スヘキモノヲ謂ヒ道路ト稱スルハ國道、縣道及道幅三間以上ノ公共道路ヲ謂ヒ橋梁ト稱スルハ道路ヲ交續スル爲メ架設スルモノヲ謂フ

第二條 左ニ掲クル事項ハ要塞地帯法ニ依リ許可ヲ受クルヲ要セス但シ海軍大臣ノ告示スル區域及事項ニ就

テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 港灣ニ出入スル艦船ノ航行ニ必要ナル錘測
- 二 土地ノ丈量但シ地目地類ノ變換、土地分合、境界査定、家屋倉庫ノ新設變更並本項第四號乃至第十一號ニ掲クル作業ニ要スルモノニ限ル
- 三 檢證ノ爲相當官憲ノ行フ測量、模寫、攝影、錄取
- 四 長サ百間ヲ超エサル生垣及木造ノ圍牆ノ新設變更
- 五 不燃質物ヨリ成ラサル建坪五十坪以下ノ家屋倉庫ノ新設變更但シ火藥庫ノ近傍ニ在リテハ其ノ外圍ヨリ外方五十間以外ノ場合ニ限ル
- 六 面積三百坪以下ニシテ第一區ニ在リテハ高低二尺、第二區第三區ニ在リテハ高低三尺ヲ超エサル堆土、開鑿等
- 七 宅地内ニ於テスル築山泉水等ノ新設變更
- 八 不可抗力ニ由リ變更シタル土地物件ヲ原狀ニ復スル作業
- 九 深サ幅各六尺ヲ超エサル溝渠、排水灌水ノ新設變更
- 十 竹木林ノ伐採
- 十一 面積五百坪ヲ超エサル育樹場、菓園、桑茶畑、鹽田及耕作地ノ新設變更

第三條 鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ノ許可ヲ得ムトスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記シ其ノ作業地航空ノ在リテハ其ノ管轄スル市町村長朝鮮ニ在リテハ警察署長、同分署長、臺ノ與書ヲ得テ當該鎮守府司令長官ノ發着場灣ニ在リテハ廳長又ハ支廳長以下同シ若ハ要港部司令官ニ願出ヘシ

一 要塞地帯法第七條ニ掲クルモノハ其ノ目的、區域及期限但シ航空ノ場合ニ在リテハス使用ノキ航空機ノ種類及型式共

二 同法第九條ニ掲クルモノハ漁獵、採藻ノ區域及期限、艦船繫泊ノ位置及期限、土砂掘鑿ノ區域、方法及期限

三 同法第十一條第十二條第十四條及第十五條ニ掲クルモノハ其ノ目的、設計、位置及落成期限但シ同法第十一條第四號ニ掲クルモノハ其ノ器械器具ノ位置及設計ヲモ詳記スルヲ要ス

四 同法第十三條ニ掲クルモノハ果積物ノ種類、累積ノ目的、位置、高さ並期間

第四條 要塞地帯法第十條、第十六條ノ事項ノ禁止ヲ解除シタル場合ニハ仍ホ本則第三條第五條ノ規定ヲ適用シ鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第五條 海軍大臣ノ許可ヲ得ントスルモノハ工事ノ種類、設計及落成ノ期日ヲ記シ地方長官ノ證明ヲ受ケ當該鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ヲ經由シテ海軍大臣ニ願出ヘシ但シ本則第七條ノ場合ニハ地方長官ノ證明ヲ要セス

第六條 府、縣、〔郡〕、市、町、村、水利組合其ノ他公共團體並社團法人ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ願出ヘシ

前項ノ場合又ハ要塞地帯法第七條中撮影、模寫、錄取ヲ出願スル場合若ハ本則第七條ノ場合ニハ本則第三條ノ與書ヲ要セス

第七條 許可ヲ受クヘキ事項ニシテ別ニ法令ノ規定ニ依リ主務官廳ノ許可ヲ受クルヲ要スルモノハ先ツ其ノ許可ヲ受ケ許可書ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第八條 前諸條ノ規定ハ可ヲ得タル事項ヲ變更セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 許可ヲ與ヘタルトキハ許可證ヲ交付ス

許可證ハ作業ヲ實施スル者必ス之ヲ携帶シ其ノ地點ヲ警衛スル軍人軍屬憲兵及警察官吏ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ閱覽ニ供スヘシ

第十條 許可證ヲ失ヒタルトキハ速ニ其ノ再交付ヲ願出ヘシ

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ其ノ旨ヲ最寄警察官吏又ハ憲兵ニ届出テ其ノ承認ヲ得テ作業ヲ繼續スルコトヲ得

第十一條 許可ヲ受ケタル作業者ハ作業ノ場所ニ許可濟ノ旨ヲ記シタル標札ノ類ヲ掲クヘシ但シ要塞地帯法

第七條及第九條ニ掲クルモノハ此ノ限ニアラス

第十二條 許可ヲ受ケタル工事完成シタルトキ又ハ之ニ著手セズ若ハ之ヲ中止シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ作業地ヲ管轄スル市町村長ニ届出ヘシ市町村長ハ之ヲ取纏メ毎月末日ヲ以テ當該鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ニ報告スヘシ

第十三條 許可證ヲ所持スヘキモノニシテ當該官吏ノ閱覽ヲ拒ミタルモノハ二圓以上十圓以下ノ科料ニ處ス

附則

第十四條 本則ハ海軍防禦營造物ノ地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ニノミ之ヲ適用ス

第十五條 本則ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

防禦海面令 (明治三十七年一月二十三日 勅令 第一一號)

第一條 海軍大臣ハ戰時又ハ事變ニ際シ區域ヲ限リテ本令ニ依ル防禦海面ヲ指定

スルコトヲ得其ノ指定及之カ解除ハ海軍大臣之ヲ告示ス

第二條 緊急ノ必要アルトキハ鎮守府司令長官、要港部司令官ニ於テ前條ノ指定ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ指定及之カ解除ハ鎮守府司令長官、要港部司令官之ヲ告示ス

第三條 防禦海面ニ於テハ日没ヨリ日出迄陸海軍ニ屬スルモノヲ除クノ外船舶ノ出入及通航ヲ禁ス

第四條 防禦海面ニ屬スル軍港及要港ノ區域内ニ於テハ陸海軍ニ屬スルモノヲ除クノ外船舶ノ出入及通航ヲ禁ス

第五條 防禦海面ヲ出入若ハ通航シ又ハ之ニ碇泊スル船舶ハ其ノ一切ノ行動ニ付所管鎮守府司令長官、要港部司令官ノ指示ニ遵フヘシ

第六條 鎮守府司令長官、要港部司令官ハ必要ト認ムルトキハ防禦海面ニ於ケル漁獵、採藻其ノ他軍事上障害トナルヘキ行爲ヲ禁止シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得

第七條 鎮守府司令長官、要港部司令官ハ適當ト認メタル船舶ニ對シ特ニ本令ノ禁止又ハ制限ノ全部又ハ一部ヲ解クコトヲ得

第八條 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違背シタル船舶ニ對シテハ航路ヲ指

定シテ防禦海面外ニ退去ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ニ遵ハサルモノニ對シテハ必要ニ應シ兵力ヲ用ウルコトヲ得

第九條 第三條乃至第五條ノ規定ニ違背シタルトキハ船舶ノ長又ハ其ノ職務ヲ執レル者ヲ一年以下ノ〔重禁錮〕又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 第六條ノ禁止又ハ制限ニ違背シタル者ハ六月以下ノ〔重禁錮〕又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍港要港ニ關スル件

(明治二十三年一月十六日法律第二號)

軍港要港境域内ニ所在ノ人民及出入スル船舶ハ海軍大臣定ムル所ノ軍港要港規則ニ從フヘシ但海軍大臣ニ於テ軍港要港規則ヲ定ムルトキハ内務大臣農商務大臣ト協議スヘシ

軍港要港規則

(明治三十三年四月三十日海軍省令第七號)

正改(明治三十三年十一月第二四號、三十四年四月第四號、十月第一號、三十八年十二月第九號、

四十二年十二月第一四號、四十二年十月第二號、四十三年十二月第一三號、四十四年一月第一號、大正元年十月第三號、十二月第五號、二年十二月第一四號、三年九月第一〇號、四年六月第五號、五年三月第二號、十二月第一三號、六年四月第二號、七年二月第二號、八年一月第一號、五月第一〇號、十年四月第五號、六月第一三號、十一年十二月第二六號、十二年三月第三號、六月第一二號、十五年二月第二號、昭和二年六月第一〇號、四年六月第四號)

第一條 軍港要港ノ水域ハ各之ヲ三區ニ分チ別圖點一線以内ヲ第一區ト稱シ點二線以内ヲ第二區ト稱シ第一區第二區以外ヲ總テ第三區ト稱ス

第二條 軍港要港ニ入ラントスル艦船ハ軍港要港水域外約三海里ノ所ヨリ投錨若ハ繫止スル地點マテ萬國船舶信號ニ依リ各自ノ艦船名ヲ表示スヘシ但シ鎮守府司令長官其ノ必要ナシト認メ其ノ旨豫メ通知シタルモノハ此ノ限ニアラス

第三條 軍港要港水域及其ノ以外約三海里以内ノ水面ニ繫泊シ若ハ運航スル艦船ハ特別ノ規定アルモノノ外其ノ國籍ヲ表明スル旗章ヲ掲揚スヘシ

第四條 軍港要港水域及其ノ以外約三海里以内ノ水面ニ繫泊シ若ハ運航スル艦船ハ日没ヨリ日出マテ海上衝突豫防ニ關スル法令ニ規定シタル各種ノ船燈ヲ掲クヘシ

第五條 内外各地ヨリ入港スル艦船ニシテ海港檢疫法第四條第一項ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ檢疫又ハ消毒ヲ終ラサルモノハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ第一區第二區ニ入ルコトヲ許サス又第一區第二區ニ於テ傳染病患者ヲ發シタル艦船ハ檢疫信號ヲ掲ケテ鎮守府司令長官ノ指揮ヲ待ツヘシ

第六條 第三區ニ於テハ航路ノ妨トナラサル限ハ艦船自由ニ碇泊スルコトヲ得但シ爆發物若ハ燃燒シ易キ物

件ヲ積載スル艦船ハ港務部長特ニ其ノ錨地ヲ指示スルコトアルヘシ

第七條 第一區第二區ニハ海軍所屬艦船ノ外ハ鎮守府司令長官ノ許可ヲシテ入ルコトヲ許サス

舞鶴要港ニ於テ第三區ヨリ第二區ヲ通航シ直ニ第三區ニ移ル所ノ艦船ニハ前項ノ規定ヲ適用セス但シ新舞鶴錨地ニ出入スル船舶ハ要港部司令官ノ指定スル航路ニ依ルヲ要ス

排水噸數十五噸以上ノ海軍所屬艦船第一區ニ入ラントスルトキハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ受クヘシ

海軍兵學校前面即チ別圖點三線以內ニ於テハ吳鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ海軍所屬艦船ノ外艦船ヲ碇繫スルコトヲ禁ス又海軍兵學校用地内ニ於テ赤旗ヲ掲ケタルトキハ總テ艦船ノ該點三線以內ヲ通航スルコトヲ禁ス

第八條 第一區第二區ニ於テハ艦船ノ進退ハ排水噸數十五噸以下ノ船舟ヲ除クノ外總テ港務部長ノ指示ニ從フヘシ但シ天災其ノ他不時ノ事故ニ依リ其ノ指示ヲ待ツ能ハサル場合ニハ此ノ限ニアラス

舞鶴要港ニ於テハ第三區ヨリ第二區ヲ通航シ直ニ第三區ニ移ル所ノ艦船ハ第二區ニ在ルトキト雖港務部長ノ指示ヲ待ツヲ要セス

第九條 外國ノ艦船ハ特別ノ事由アルニアラサレハ夜中ニ軍港要港ノ水域ニ入ルコトヲ許サス

第十條 鎮守府司令長官ハ必要ナル場合ニハ在港艦船ニ錨地ノ變換若ハ退去ヲ命スルコトヲ得

第十一條 鎮守府司令長官ハ第一區ニ入り又ハ入ラントスル艦船ノ積載物中危險ト認ムルモノアルトキハ之ヲ卸サシムルコトヲ得

第十二條 凡テ艦船ハ鎮守府司令長官ノ特許アルモノノ外火藥庫ヲ距ル百三十間以內ニ入ルコトヲ禁ス汽鐘點火中ノ小蒸汽船其ノ他火氣ヲ有スル一切ノ船舟亦同シ

第十三條 軍港要港境域内ニ於テハ禮砲號砲及鎮守府司令長官ノ許可ヲ得タルモノノ外火器若ハ爆發物ノ發射發火ヲ禁ス但シ公私ノ家屋建造物ヲ距ルコト七十五間以內ニ於テハ禮砲號砲ト雖特ニ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ一切發射發火ヲ爲スコトヲ許サス

第十四條 第一區第二區線以內、鎮海要港ニ於テハ第一區第二區及別圖點三線以內ニ於テハ鎮守府司令長官ノ特許ヲ得シテ漁獵採藻ヲ爲シ又ハ漂流物若ハ沈没物ヲ拾得スルコトヲ禁ス

第十五條 第一區第二區及其ノ海岸並之ニ注入スル水流ニハ鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ一切航路ノ妨害トナリ又ハ水中敷設物アル第三區内ノ水域モ亦前項ニ準ス

第十六條 鎮守府司令長官ハ必要アリト認ムルトキハ第三區及其ノ海岸ニ物件ノ委棄ヲ禁シ臨時委棄ノ場所ヲ指示スルコトヲ得

第十七條 艦船若シ其ノ委棄スヘキモノヲ自ラ處分スルコト能ハサルトキハ港務部ニ其ノ處分ヲ請求スヘシ

第十八條 鎮守府司令長官ハ軍港要港水域内ニ於ケル有害ナル難破物、委棄物若ハ其ノ他ノ物件ハ原因ノ如何ニ關セス其ノ義務者ヲシテ之ヲ指定ノ期限内ニ除去セシムルコトヲ得其ノ義務者之ヲ除去セサルトキ若ハ指定ノ期限内ニ終了スル見込ナキトキハ鎮守府司令長官ハ自ラ之ヲ除去若ハ破壊シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ除去若ハ破壊セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコトヲ得

第十九條 軍港要港境域内ノ山林原野ニ於テハ濫リニ焚火スヘカラス

第二十條 軍港要港境域内ニ於テ左ニ掲クル諸項ノ新營若ハ變更ヲナサントスルモノアルトキハ地方長官ハ鎮守府司令長官ニ協議シテ之ヲ處理スヘシ

一 棧橋ノ架設、埠頭ノ築造

- 二 河床ノ變更、河川海面ノ埋立浚渫、海岸ノ掘鑿、海岸ニ於ケル石垣ノ築造
- 三 道路運河溝渠隧道ノ開通、橋梁鐵道ノ架設、水底電線ノ敷設
- 四 地盤ノ開鑿及埋築
- 五 森林ノ伐採
- 六 軍港要港ノ水域内ニ發著スヘキ海運ノ營業
- 七 漁業權ノ設定
- 八 浮標、立標其ノ他航路標識ノ設置
- 九 第一區第二區ノ沿岸ニシテ水面若ハ海軍用地ヲ距ル七百五十間以内ニ於ケル家屋倉庫及諸般ノ築造物ノ新築

第十九條 鎮守府司令長官ノ許可ヲ得スシテ軍港要港境域内ヲ航空シ又ハ同境域内水陸ノ形狀ヲ測量、撮影、模寫、錄取シ若ハ地理案内等ノ圖書ヲ發行スルヲ禁ス但シ艦船運航ノ際行船ニ必要ナル錘測ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條ノ二 鎮守府司令長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ軍港要港境域内ニ於テ無線電信無線電話ヲ發信スルコトヲ得ス但シ艦船航行中ノ通信及遭難通信又ハ軍用通信ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 鎮守府司令長官ハ軍港要港境域内ニ入り兵備ノ狀況其ノ他地形等ヲ視察スル者ト認メタルトキハ之ニ軍港要港境域外ニ退去ヲ命スルコトヲ得

第二十一條 地方長官ハ軍港要港境域内衛生ノ事ニ關シテハ鎮守府司令長官ニ協議スヘシ

第二十二條 鎮守府司令長官ハ海軍用地ニ接近スル一般公路ニ於テ取締上必要ナリト認ムルトキハ地方長官ニ協議シ一般人民ノ通航ニ制限ヲ置クコトヲ得

鎮守府司令長官ハ海軍用地ノ内取締上差支ナシト認ムル區域ニ限リ一般人民ニ通行ヲ許スコトヲ得

第二十三條 軍港要港ノ境域並其ノ區劃等ヲ表示スル標石標木標札ノ類若ハ其ノ水域内ニ設クル浮標等ヲ移轉シ又ハ之ヲ毀壞スルコトヲ禁ス

第二十四條 軍港要港ノ取締ニ關スル細則ハ鎮守府司令長官之ヲ定ム

第二十五條 要港ニ於テハ本則ニ規定セル鎮守府司令長官ノ職務ハ要港部司令官、港務部長ノ職務ハ要港部港務部長之ヲ行フ

附則 第二十六條 本則中地方長官ニ關スル規定ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督ニ之ヲ適用ス

第二十七條 (削除)

第二十八條 本則ハ明治三十三年五月二十日ヨリ施行ス

第二十九條 明治二十九年海軍省令第六號橫須賀軍港規則同年海軍省令第七號吳軍港規則同年海軍省令第八號佐世保軍港規則同年海軍省令第十三號竹敷要港規則及同三十年海軍省令第十四號舞鶴軍港規則ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

字品港域軍事取締法 (昭和八年三月二十九日法律第二十九號)

第一條 本法ニ於テ字品港域トハ廣島市、廣島縣安藝郡船越町、海田市町、矢野町、府中村及坂村ノ各一部並ニ其ノ附近ノ水面ニシテ命令ヲ以テ指定スル區域ヲ謂フ

第二條 宇品港域ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ第一區及第二區ニ分ツ

第三條 宇品港域第一區内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サントスル者ハ陸軍大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 棧橋、埠頭、橋梁、道路、運河、鐵道又ハ軌道ノ新設、増設又ハ改修

二 水面ノ埋立又ハ干拓

三 鑛物ノ試掘若ハ探掘又ハ砂鑛ノ採取

四 航空

第四條 宇品港域第一區内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サントスル者ハ陸軍運輸部長ノ許可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 不燃質物ヲ材料トスル家屋、工場、倉庫其ノ他ノ工作物ノ新築、改築又ハ増築

二 土石ノ探掘

三 水深ノ變更ヲ生スヘキ物件ノ委棄

四 爆發物又ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ノ運搬、積卸又ハ貯藏

五 船舟ノ航行又ハ繫泊

六 漁獵又ハ採藻

前項ノ不燃質物、爆發物及容易ニ燃燒スヘキ物件ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 宇品港域第一區内ノ水陸ノ形狀又ハ軍事施設ノ狀況ヲ測量、撮影、模寫、模造若ハ錄取シ又ハ其ノ複寫若ハ複製ヲ爲サントスル者ハ陸軍運輸部長ノ許可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條 前三條ノ規定ニ依ル許可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ハ軍事上必要アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

第七條 陸軍運輸部長ハ宇品港域内ニ立入り軍事施設ノ狀況其ノ他地形等ヲ視察スル者ト認ムルトキハ其ノ者ニ對シ港域外ニ退去ヲ命スルコトヲ得

第八條 戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第三條乃至第六條及第十條ノ規定竝ニ之ニ關スル罰則ノ規定ヲ宇品港域第二區ノ全部又ハ一部ニ適用スルコトヲ得

戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ宇品港域第二區ノ境界線ヨリ外方十キロメートル以内ノ區域ニ於ケル航空ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第九條 陸軍運輸部長ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ宇品港域内ニ在ル船舟ニ對シ錨地ノ變更又ハ退去ヲ命スルコトヲ得

第十條 陸軍大臣ハ第三條若ハ第四條ノ規定又ハ第三條若ハ第四條ノ規定ニ依ル許可ニ附シタル條件ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命スルコトヲ得

第十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付陸軍大臣又ハ陸軍運輸部長ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

第十二條 陸軍大臣ハ宇品港域各區及第八條第二項ノ區域ヲ標示スル爲必要ナル場所ニ標識ヲ設置スルコトヲ得

當該官吏ハ前項ノ標識ヲ設置スル爲必要ナル土地ニ立入り實地調査ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ旨ヲ土地ノ占有者ニ通知スヘシ

第十三條 前條ノ場合ニ於テ通常生スヘキ損害ハ之ヲ補償ス

前項ノ規定ニ依ル補償金額ハ陸軍大臣之ヲ決定ス其ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴願スルコトヲ得ス

第十四條 本法ノ禁止及制限ハ陸海軍又ハ陸海軍官廳ノ行動又ハ施設ニ關シテハ之ヲ適用セス

第十五條 陸海軍以外ノ官廳ニ於テ第三條乃至第五條ニ掲クル行爲ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ニ在リテハ陸軍大臣ニ協議シ其ノ他ノ官廳ニ在リテハ各本條ノ規定ニ準シ陸軍大臣又ハ陸軍運輸部長ノ承認ヲ受クヘシ

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條第四號ノ規定ニ違反シタル者

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條第一號乃至第三號ノ規定ニ違反シタル者

二 第三條第四號ノ規定ニ依ル許可ニ附シタル條件ニ違反シタル者

三 第四條第一項ノ規定ニ違反シタル者

四 第五條ノ規定ニ違反シタル者

五 第七條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者

六 第八條第二項ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シタル者

前項第四號ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條第一號乃至第三號ノ規定ニ依ル許可ニ附シタル條件ニ違反シタル者

二 第四條第一項ノ規定ニ依ル許可ニ附シタル條件ニ違反シタル者

三 第五條ノ規定ニ依ル許可ニ附シタル條件ニ違反シタル者

第十九條 宇品港域各區又ハ第八條第二項ノ區域ヲ標示スル標識ヲ損壞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ無効ナラシメタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和八年五月勅令第九號ヲ以テ同年同月二十日ヨリ施行)

本法施行ノ際現ニ作業中ノモノニハ第三條第一號乃至第三號及第四條第一項第一號ノ規定ヲ適用セス

宇品港域軍事取締法施行規則(昭和八年五月十七日 陸軍省令第十九號)

第一條 宇品港域ハ之ヲ別圖點線以內トシ同港域第一區ヲ別圖實線以內、同港域第二區ヲ實線以外點線以內トス

前項ノ各區域ハ現場ニ標識ヲ設ケ之ヲ標示ス

第二條 宇品港域軍事取締法第四條第二項ノ規定ニ依ル不燃質物、爆發物及容易ニ燃焼スヘキ物件ノ種類ハ別表第一ニ依ル

第三條 左ニ掲クル行爲ニ付テハ陸軍大臣又ハ陸軍運輸部長ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

一 長三〇メートル以下ニシテ容易ニ撤去シ得ヘキ棧橋、一時的使用ノ目的ヲ以テ敷設スル鐵道又ハ軌道及工場倉庫等内ニ敷設スル鐵道ノ新設、増設又ハ改修

二 道路面ノ改修並ニ有效幅員三・六四メートル以下ノ道路(市道ニ在リテハ有效幅員五・四六メートル以下ノモノ)及此等ノ道路ニ架設スル橋梁ノ新設又ハ改修

- 三 地下埋設物ノ新設、増設又ハ改修及之ニ伴フ道路ノ改修
 - 四 建築面積三三〇平方メートル以下ノ住家及墓碑、形像ノ類竝ニ此等ニ附屬スル倉庫（建築面積三三〇平方メートル以下ノモノ）、門戶、塙壁ノ新築、改築又ハ増築但シ現ニ存スル建築面積ヲ合算シタル建築面積三三〇平方メートルヲ超過スル場合ヲ除ク
 - 五 井ノ掘鑿、宅地内ニ於ケル土石ノ採掘又ハ地貌ノ變化ヲ來ササル土石ノ採掘
 - 六 不可抗力ニ因リ形狀ヲ變更シタル土地又ハ物件ヲ原狀ニ復スル作業
 - 七 爆發物又ハ容易ニ燃焼スヘキ物件ノ運搬、積卸又ハ貯藏ニ關スル行爲中左ニ掲クルモノ
 - イ 鐵道ニ依ル運搬又ハ其ノ積卸
 - ロ 船舟ノ常用ヲ超過セサル數量ノ積卸又ハ積載
 - 八 貯藏又ハ鐵道ニ依ルモノ以外ノ運搬若ハ積卸ニシテ陸軍運輸部長ニ於テ指定スルモノ
 - ハ 稅關官吏ノ検査ヲ受クル爲別表第二ニ於テ船舟ノ航行ニ付許可ヲ要セスト定メタル宇品島附近第一區ヲ經由シ稅關棧橋ニ發著スル船舟ノ航行若ハ繫泊又ハ同區域ニ出入スル爲運行上一時必要ナル船舟ノ航行
 - 九 船舟ヲ使用セサル漁獵又ハ採藻
 - 十 地目地類ノ變換、土地ノ分合、境界ノ確定又ハ家屋倉庫ノ新築、改築、増築ノ爲必要ナル測量
 - 十一 船舟運航ノ際行船ニ必要ナル鍾測
- 第四條 左ニ掲クル行爲ハ別表第二ニ掲クル區域内ニ限り陸軍大臣又ハ陸軍運輸部長ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス
- 一 宇品港域軍事取締法第三條第二號ニ規定スル行爲中私有水面ノ埋立又ハ干拓

- 二 同法第四條第一項第五號及同項第六號ニ規定スル行爲
 - 三 同法第五條ニ規定スル行爲中軍事施設ニ關セサル行爲
- 第五條 陸軍運輸部長本令ニ依リ指定ヲ爲ス場合ニ於テハ陸軍運輸部揭示場ニ之ヲ揭示ス
- 第六條 宇品港域軍事取締法第三條各號ニ規定スル行爲ニ關スル許可申請書（二通）ニハ左ニ掲クル事項ヲ具シ陸軍運輸部長ヲ經テ之ヲ陸軍大臣ニ提出スヘシ
- 一 宇品港域軍事取締法第三條第一號又ハ同條第二號ニ規定スル行爲ニ付テハ工事ノ種類、其ノ目的、位置、設計及竣功時期
 - 二 同法第三條第三號ニ規定スル行爲ニ付テハ其ノ目的、鑛業原簿ノ謄本又ハ抄本、鑛區圖、位置、設計及期間
 - 三 同法第三條第四號ニ規定スル行爲ニ付テハ其ノ目的、日時、出發地、到着地、經過地、航空機ノ種類、國籍記號及登録記號竝ニ乘員名
- 第七條 宇品港域軍事取締法第四條第一項各號ニ規定スル行爲ニ關スル許可申請書（二通）ニハ左ニ掲クル事項ヲ具シ廣島憲兵隊長ヲ經テ之ヲ陸軍運輸部長ニ提出スヘシ
- 一 宇品港域軍事取締法第四條第一項第一號ニ規定スル行爲ニ付テハ其ノ目的、位置、設計及竣功時期
 - 二 同法第四條第一項第二號ニ規定スル行爲ニ付テハ其ノ目的、區域、方法及期間
 - 三 同法第四條第一項第三號ニ規定スル行爲ニ付テハ其ノ目的、區域、方法、時期、棄棄スヘキ物件ノ種類及數量
 - 四 同法第四條第一項第四號ニ規定スル行爲中運搬ニ付テハ其ノ目的、通路、方法、時期、運搬スヘキ物件ノ種類及數量、積卸ニ付テハ其ノ目的、場所、方法、時期、積卸スヘキ物件ノ種類及數量、貯藏ニ付テハ其ノ種類及數量、積卸ニ付テハ其ノ目的、場所、方法、時期、積卸スヘキ物件ノ種類及數量、貯藏ニ付テハ其ノ種類及數量

テハ其ノ目的、位置、期間、貯藏所ノ設備、貯藏スヘキ物件ノ種類及數量

五 同法第四條第一項第五號ニ規定スル行爲ニ付テハ其ノ目的、航路又ハ位置、時期、船舶ノ長ノ住所氏名、船舶ノ種類、名稱、總噸數、信號符字及所有者ノ住所氏名又ハ名稱

六 同法第四條第一項第六號ニ規定スル行爲ニ付テハ區域、方法及日時、漁業權又ハ入漁權ニ基ク行爲ニ付テハ其ノ權利ヲ證スル事項

七 同法第五條ニ規定スル行爲中測量、撮影、模寫、模造又ハ錄取ニ付テハ其ノ目的、區域、方法、使用器具ノ種類、日時及行爲ノ場所、複寫又ハ複製ニ付テハ其ノ目的、方法、行爲ノ場所、複寫又ハ複製スヘキモノノ種類及數量

左ノ場合ニ於テハ前項ノ申請ハ廣島憲兵隊長ヲ經ルコトヲ要セス

一 船舶ノ航行又ハ繫泊ニ關スル許可ヲ申請スルトキ

二 漁獵又ハ採藻ニ關シ水産會會員又ハ漁業組合若ハ水産組合ノ組合員ヨリ當該水産會又ハ組合ヲ經テ許可ヲ申請スルトキ

三 撮影又ハ模寫ニ關スル許可ヲ申請スルトキ

四 第八條ノ規定ニ依リ公共團體ノ代表者ヨリ許可申請書ヲ提出スルトキ

五 第九條ノ規定ニ依リ許可證スル書類又ハ許可書ノ寫ヲ許可申請書ニ添附シタルトキ

六 陸軍運輸部長ニ於テ已ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキ

第八條 縣、市、町、村其ノ他ノ公共團體及法人ノ許可申請書ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ之ヲ提出スヘシ

第九條 前三條ノ規定ニ依リ陸軍大臣又ハ陸軍運輸部長ニ許可申請書ヲ提出スル場合ニ於テ別ニ法令ノ定ムル所ニ依リ主務官廳ノ許可ヲ要スル行爲ニ付テハ先ツ其ノ許可ヲ受ケ之ヲ證スル書類又ハ許可書ノ寫ヲ許

可申請書ニ添附スヘシ

第十條 陸軍大臣又ハ陸軍運輸部長許可ヲ爲シタルトキハ許可證ヲ交付ス

前項ノ許可證ハ現場ニ於テ行爲ヲ爲ス者之ヲ携帯スヘシ

第十一條 許可證ヲ失ヒタル場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ再下付ヲ申請スヘシ

許可證ヲ失ヒタル者ハ直ニ最寄憲兵隊(分隊、分遣隊ヲ含ム以下同シ)又ハ警察署ニ其ノ旨ヲ届出テ其ノ行爲ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ届出ヲ受ケタル憲兵隊又ハ警察署ハ其ノ旨陸軍運輸部長ニ報告又ハ通報スヘシ

附則

本令ハ字品港域軍事取締法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和八年五月二十日ヨリ施行)

字品港域軍事取締法附則ノ規定ノ適用ニ依リ同法第三條第一號乃至第三號又ハ第四條第一項第一號ノ規定ノ適用ヲ受ケサル作業ヲ爲ス者ハ其ノ作業ニ關シ本令施行ノ日ヨリ二十日以内ニ本令ノ規定ニ準シ廣島憲兵隊長ヲ經ルコトナク陸軍運輸部長ニ届出ツヘシ

字品港域軍事取締法第四條第一項第二號乃至第六號ニ掲クル行爲ハ本令施行ノ日ヨリ三十日以内ニ限り許可ヲ受クルコトヲ要セス

別表第一

一 不燃質物

煉瓦、石、土、金屬、コンクリート及之ニ準スヘキモノ

二 爆發物

火藥(有煙火藥、無煙火藥ノ類)

雷酸鹽(雷汞ノ類)

起爆ノ用途ニ供スル窒化物(窒化鉛ノ類)其ノ他ノ起爆劑
ニトログリセリン及之ヲ主トスル爆發藥(各種ダイナマイト類)
綿藥、ニトロセルロース

鹽素酸鹽類(鹽素酸ソーダ、鹽素酸カリノ類)

過鹽素酸鹽類(過鹽素酸カリ、過鹽素酸アンモンノ類)

硝酸鹽類(硝石、智利硝石、硝酸アンモンノ類)

芳香系列ノ硝化物ニシテ爆發性ヲ有スルモノ(ニトロベンゾール、ピクリン酸ノ類)

實包、空包、藥筒ノ類

火藥又ハ爆發藥ヲ裝填シタル彈丸、信管、雷管ノ類

煙火其ノ他火藥又ハ爆發藥ヲ使用シタル火工品(玩具用普通火工品ヲ除ク)

壓縮ガス、液化ガスノ類

三 容易ニ燃燒スヘキ物件

原油、揮發油、燈油、輕油、重油其ノ他ノ石油類

黃磷、赤磷、硫化磷

金屬カリウム、金屬ナトリウム、マグネシウム、過酸化ソーダ、過酸化カリ、過酸化バリウム、エーテ

ル、二硫化炭素、コロジオン、メタノール、ベンゾール、トルオール、ソルベントナフタ、アルコール、

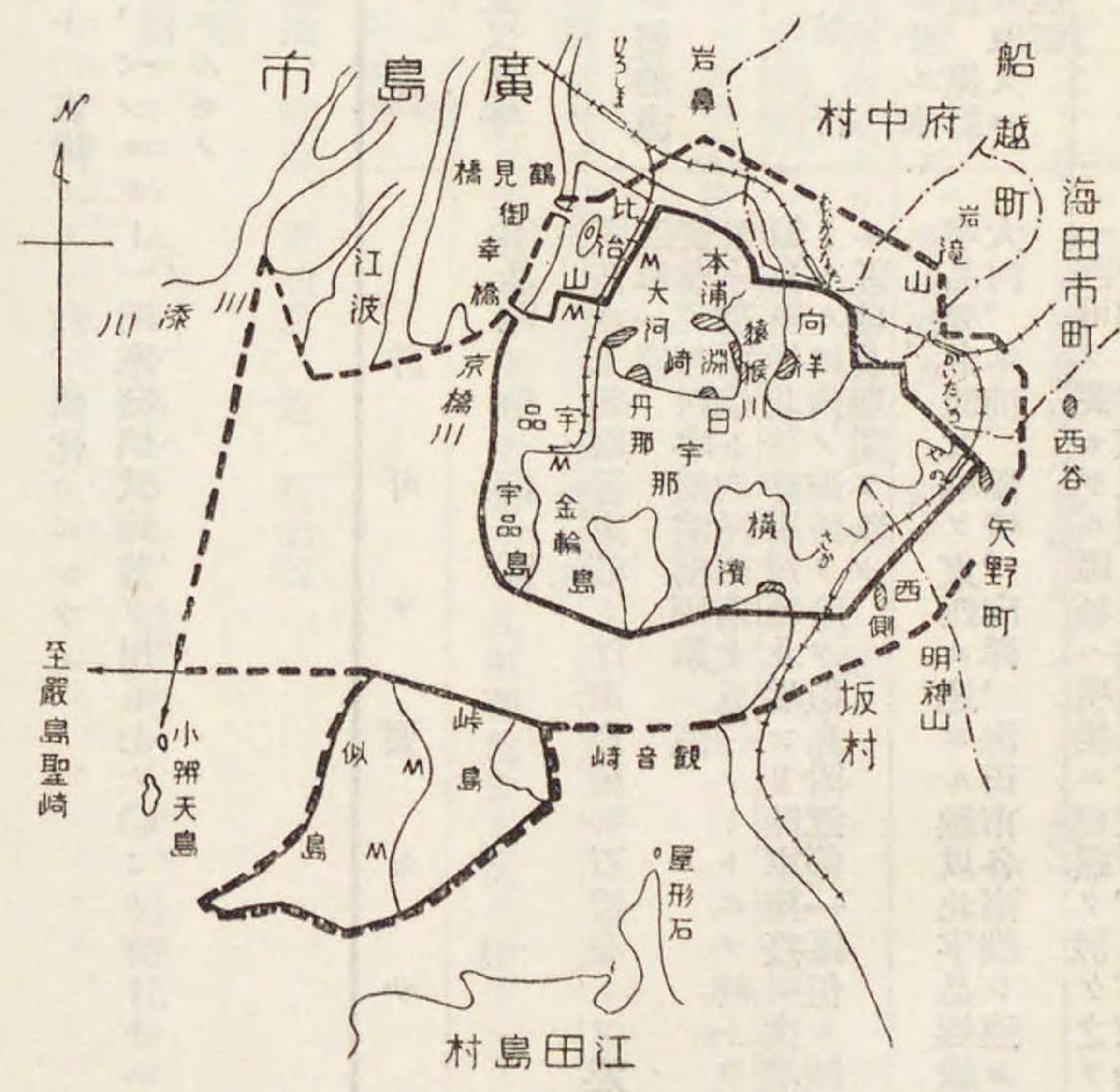
アセトン、キシロール、テレピン油

醋酸エステルノ類

別表第二

行	爲	許	可	ヲ	要	セ	サ	ル	區	域
拓	私有水面ノ埋立又ハ干	字品町ヲ除ク第一區								
	船舟ノ航行又ハ繫泊漁	廣島水上警察署東端ト江田島屋形石燈臺トヲ連ナル線以西ノ字品島附								
	船舟ノ航行	近第一區 安藝郡坂村字横濱南側第一區 日宇那南端ト向洋西南七五〇メートルノ岬トヲ連ナル線以北ノ猿猴川								
	軍事施設ニ關セサル水	似島東岸北部陸軍用地北端ヨリ陸軍檢疫所南端ニ至ル間距離一〇〇メ								
	陸ノ形狀ノ測量、撮影	大河、本浦、淵崎、向洋、海田市各南端ヲ連ナル線以北ノ第一區								
	模寫、模造、錄取又ハ	字品養魚池北端ヲ東西ニ連ナル線以北ノ第一區								
	其ノ複製若ハ複製	ル區域及期間ヲ除ク								
備	考	一許可ヲ要セサル區域ハ現場ニ標識ヲ設ケ之ヲ標示ス 二詳細ハ當該區域ヲ管轄スル市役所、町村役場、警察署、憲兵隊又ハ 陸軍運輸部ニ備付クル圖面ニ就キ見ルヘシ								

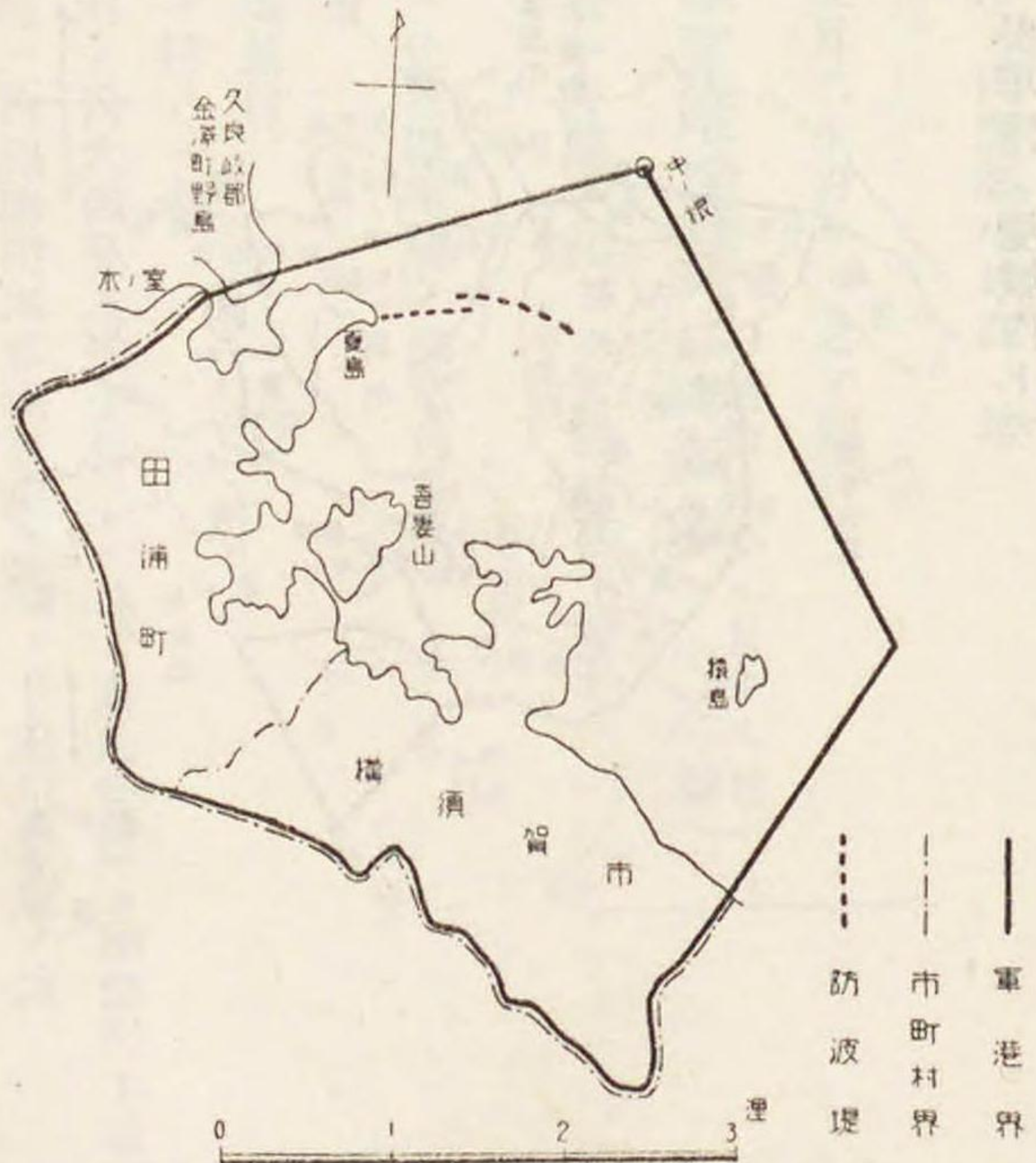
宇品港域要圖



横須賀軍港ノ境域 (昭和七年十一月十二日 勅令第三五二號)

横須賀軍港ノ境域ハ左圖ニ記スル黒線以内ト定ム

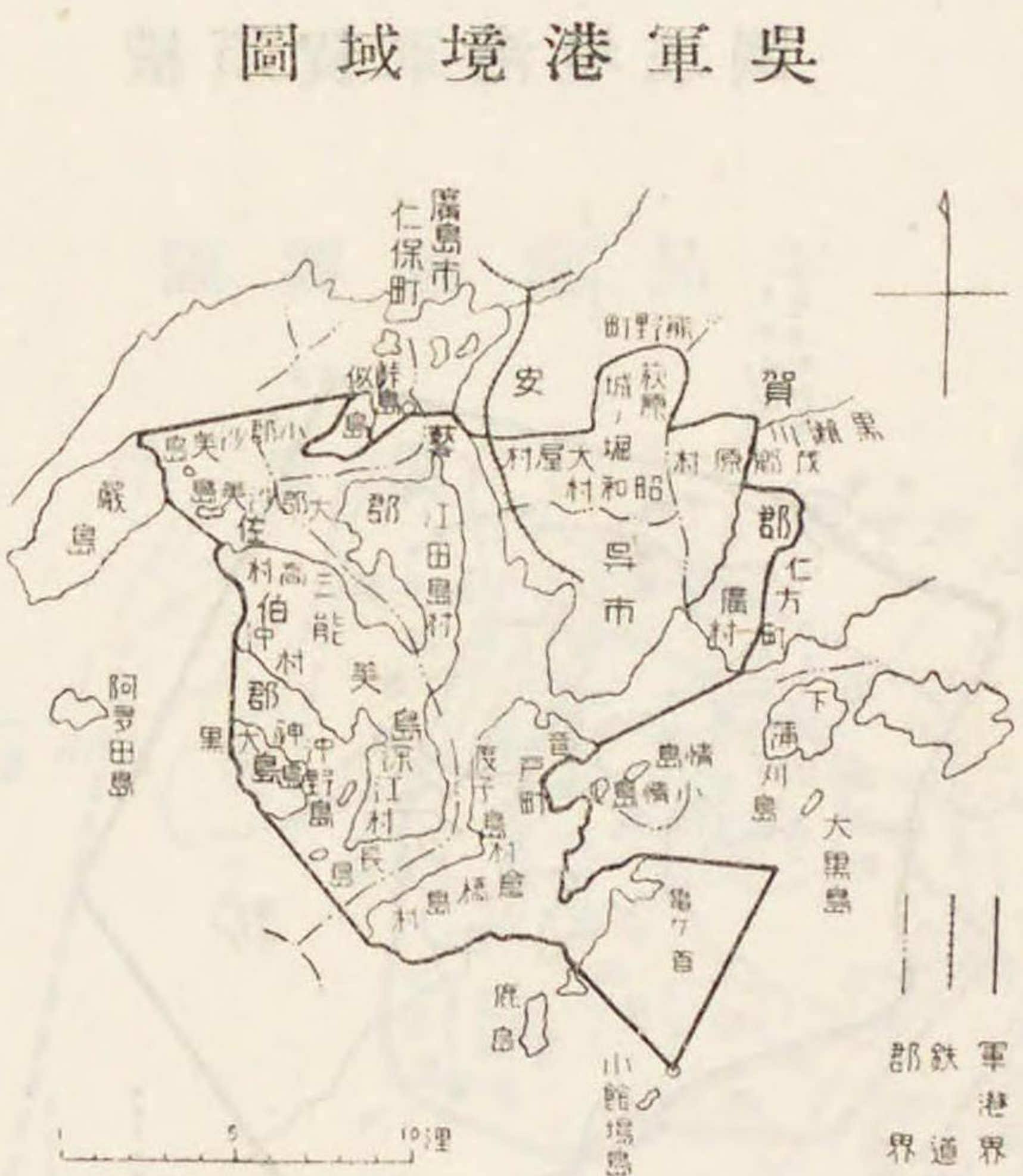
横須賀軍港境域圖



左ニ掲クル箇所ハ横須賀軍港ノ境域内トス
 神奈川縣横須賀市 同縣三浦郡田浦町 同縣久良岐郡金澤町野島ノ南部

吳軍港境域 (昭和八年五月十七日 勅令第一一七號)

吳軍港ノ境域ハ左圖ニ記スル黒線以內ト定ム



左ニ掲クル箇所ハ吳軍港ノ境域内トス
廣島縣吳市

同縣安藝郡昭和村、大屋村、江田島村、音戸町、渡子島村及倉橋島村
同縣同郡熊野町ノ内平谷、川角、吳地、出來庭、中溝竝ニ萩原及城ノ堀地内分水嶺以南ノ地

同縣佐伯郡能美島諸町村、三高村ノ内大那沙美島及小那沙美島、沖村ノ内大黒神島竝ニ深江村ノ内沖野島及長島

同縣賀茂郡廣村
同縣同郡原村ノ内黒瀬川以西ノ地

附則
本令ハ昭和八年五月二十日ヨリ之ヲ施行ス

佐世保軍港境域 (昭和五年九月十八日 勅令第一七七號)

佐世保軍港ノ境域ハ左圖ニ記スル黒線以內ト定ム

(圖略ス)

左ニ掲クル箇所ハ佐世保軍港ノ境域内トス

長崎縣佐世保市

同縣北松浦郡黒島村

同縣同郡小佐々村ノ一部

同縣同郡相浦町ノ内大瀉免及淺子免ノ一部、高島免竝ニ相浦川下流川岸南東ノ地

同縣同郡中里村ノ内相浦川海軍水道鐵管橋ノ下流川岸東ノ地

同縣同郡柚木村ノ一部

同縣同郡大野村ノ一部

同縣西彼杵郡瀬川村ノ内横瀬本郷

同縣同郡面高村ノ一部
同縣同郡黒瀬村

舞鶴要港境域

(大正十二年三月二十六日
勅令第五七七號)

京都府加佐郡舞鶴ヲ要港トス其ノ境域ハ左圖ニ記スル黒線以內ト定ム

(圖略ス)

左ノ線ヲ以テ要港境域ノ陸上境界トス

福井縣大飯郡青郷村字西三松ノ東ニ於テ海ニ注ク所ノ河流ヲ遡リ關屋横谷ニ至リ同所ヨリ京都府何鹿郡ノ内老富小唐内、老富栃、五泉市志、五泉、五泉水梨、五泉辻、五津合清水ヲ經ル道路ニ沿ヒ仍五津合清水ヨリ京都府加佐郡池内村字岸谷ニ通スル道路ヲ西ニ進ミ丹波丹後二國ノ國境ニ會スル點ヨリ丹波丹後二國ノ國境ニ沿ヒ西ニ進ミ京都府加佐郡岡田下村字久田美ヨリ京都府何鹿郡志賀郷村字兩河内ニ通スル道路ト會スル點ニ至リ同所ヨリ久田美ニ通スル道路ヲ北方ニ進ミ由良川ニ出テ由良川ノ右岸ニ沿ヒ海ニ達スル線

附則

本令ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年勅令第二百三十四號ハ之ヲ廢止ス

陸奥國大湊ヲ要港トス

(明治三十八年十二月十二日
勅令第二六三三號)

陸奥國下北郡大湊ヲ要港トス其ノ境域ハ左圖ニ記スル黒線以內ト定ム
(圖略ス)

漁業法

(明治四十三年四月二十一日
法律第五八八號)

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動植物ノ採捕又ハ養殖

ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權又ハ入漁權ヲ有スルモノヲ

謂フ

第二條 公共ノ用ニ供セサル水面ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定

ヲ適用セス

第三條 公共ノ用ニ供スル水面ト連接シ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セサル水面ニハ

本法ヲ適用ス

前項ノ水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業ニ關シ

之カ利用ヲ制限シ又ハ廢止スルコトヲ得

第四條 漁具ヲ定置シ又ハ水面ヲ區劃シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行

政官廳ノ免許ヲ受クヘシ其ノ免許スヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

第五條 水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスルモノハ行政官廳ノ免許ヲ

受クヘシ

前項ノ免許ハ漁業組合カ其ノ地先水面ノ専用ヲ出願シタル場合ノ外之ヲ與ヘス
第六條 前二條ノ外主務大臣ニ於テ免許ヲ受ケシムル必要アリト認ムル漁業ノ種
類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 漁業權ハ物權ト看做シ土地ニ關スル規定ヲ準用ス
民法第二編第九章ノ規定ハ漁業權ニ之ヲ適用セス

第八條 漁業權ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ民法
第三百七十條ノ準用ニ關シテハ漁業權ニ附加シテ之ト一體ヲ爲シタルモノト看
做ス

第九條 裁判所ノ土地ノ管轄カ不動産所在地ニ依リテ定マル場合ニ於テハ漁場ニ
最近キ沿岸ノ屬スル市町村又ハ之ニ相當スル行政區劃ヲ以テ不動産所在地ト看
做ス

第十條 漁業權ハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ分割シ其ノ他變更スル
コトヲ得ス
地先水面専用ノ漁業權ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコト
ヲ得ス

第十一條 漁業權者ノ有スル水面使用ニ關スル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ

第十二條 入漁權者ハ設定行爲又ハ舊法施行前ノ慣行ニ從ヒ他人ノ専用漁業權ニ
屬スル漁場内ニ入會ヒ其ノ専用漁業權ノ全部又ハ一部ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ有
ス

第十三條 入漁權ハ物權ト看做ス
入漁權ハ相續及讓渡ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス

第十四條 入漁權ハ漁業權者ノ承諾アルニ非サレハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ
別段ノ慣行アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 漁業權又ハ入漁權ノ各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ其ノ
持分ヲ處分スルコトヲ得ス

第十六條 漁業權ノ存續期間ハ二十年以内ニ於テ行政官廳ノ定ムル所ニ依ル但シ
第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ
停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セス

前項ノ期間ハ漁業權者ノ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得
第十七條 設定行爲ニ於テ存續期間ニ付別段ノ定ナキ入漁權ハ目的タル漁業權ノ
存續中存續スルモノト看做ス但シ入漁權者ハ何時ニテモ其ノ權利ヲ拋棄スルコ
トヲ得

第十八條 入漁權者カ入漁料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ漁業權者ハ其ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得

入漁權者カ引續キ二年以上入漁料ノ支拂ヲ怠リ又ハ破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキハ漁業權者ハ入漁權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第十九條 入漁料ハ入漁ヲ爲ササルトキハ之ヲ支拂フコトヲ要セス

第二十條 入漁權ニ關シ前三條ノ規定ニ異リタル慣行アルトキハ其ノ慣行ニ從フ

第二十一條 行政官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第二十二條 漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ從事スル者ナキトキ又ハ引續キ二年間休業シタルトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第二十三條 行政官廳ノ認可ヲ得テ漁業ヲ爲ササル期間及第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ前條ノ期間ニ之ヲ算入セス

第二十四條 水産動植物ノ蕃殖保護、船舶ノ航行碇泊繫留、水底電線ノ敷設若ハ國防其ノ他ノ軍事上必要アルトキ又ハ公益上害アルトキハ主務大臣ハ免許シタル漁業ヲ制限シ、停止シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

漁業權者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ漁業ヲ制限シ又ハ停止スルコトヲ得

第二十五條 錯誤ニ依リ漁業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ行政官廳ハ之ヲ取消スコトヲ得

第二十六條 免許漁業原簿ノ登録ハ登記ニ代ハルモノトス
登録ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 漁業免許ノ取消アリタルトキハ行政官廳ハ直ニ之ヲ登録シタル抵當權者及先取特權者ニ通知スヘシ

前項ノ權利者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ漁業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第二十四條第一項又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

漁業權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及第一項ノ權利者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス
競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ漁業免許ノ取消ハ其ノ效力ヲ生セサリシチ

ノト看做ス

第二十八條 漁業權ハ登録シタル權利者ノ同意アルニ非サレハ之ヲ分割、變更又ハ拋棄スルコトヲ得ス

第二十九條 漁業者ハ左ニ掲クル目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用シ又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ヲ制限スルコトヲ得

一 漁場ノ標識ノ建設

二 魚見若ハ漁業ニ關スル信號又ハ之ニ必要ナル設備

三 漁業ニ必要ナル目標ノ保存又ハ建設

第三十條 漁業者ハ必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ特別ノ用途ナキ他人ノ土地ニ立入り漁業ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 漁業ニ關スル測量、實地調査又ハ前二條ノ目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り支障木竹ヲ伐採シ又ハ障礙物ヲ除去スルコトヲ得

第三十二條 前三條ノ行爲ヲ爲ス者ハ豫メ其ノ旨ヲ土地ノ所有者又ハ占有者ニ通知シ爲ニ生シタル損害ハ之ヲ賠償スヘシ

第三十三條 行政官廳ハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

三十四條 地方長官ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲主務大臣ノ認可ヲ得テ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一 水産動植物ノ採捕ニ關スル制限又ハ禁止

二 水産動植物若ハ其ノ製品ノ販賣又ハ所持ニ關スル制限若ハ禁止

三 漁具又ハ漁船ニ關スル制限若ハ禁止

四 漁業者ノ數又ハ資格ニ關スル制限

五 水産動植物ニ有害ナル物ノ遺棄ニ關スル制限又ハ禁止

六 水産動植物ノ蕃殖保護ニ必要ナル物ノ採取又ハ除去ニ關スル制限若ハ禁止
主務大臣ニ於テ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

前二項ノ命令ニハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品及漁具ノ沒收竝犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ價額ノ追徴ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 汽船「トロール」漁業又ハ汽船捕鯨業ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

前項ノ漁業ニ關スル制限又ハ禁止ハ主務大臣之ヲ定ム

第三十六條 爆發物ヲ使用シテ水産動植物ヲ採捕スルコトヲ得ス但シ海獸捕獲ノ爲ニスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ水面ノ一定區域内ニ於ケル工作物ノ設置ニ付制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得

工作物ニシテ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者又ハ占有者ニ除害工事ヲ命スルコトヲ得

第三十八條 前條第二項ノ規定ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ニ付權利ヲ有スル者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者之ヲ補償スヘシ前項ノ補償金額ニ付不服アル者ハ補償金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十九條 公共ノ用ニ供セサル水面ニシテ公共ノ用ニ供スル水面又ハ第三條ノ水面ニ通スルモノニハ命令ヲ以テ第三十四條、第三十六條乃至第三十八條、第五十五條及第五十九條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第四十條 漁業ニ従事スル者ノ雇傭並雇人及遺族ノ扶助ニ關シテハ勅令ヲ以テ

規程ヲ設クルコトヲ得

第四十一條 海軍艦艇乗組將校、警察官吏、港務官吏、税關官吏又ハ漁業監督吏員ハ漁業ヲ監督シ必要アリト認ムルトキハ船舶、店舗其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢査スルコトヲ得

前項ノ臨檢ニ際シ漁業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス但シ同法第四條ノ規定ハ漁業監督吏員以外ノ者ニ之ヲ準用セス

第四十二條 一定ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合ヲ設クルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ市町村ノ區域又ハ市町村内ノ漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ市町村ニ準スヘキモノヲ以テ前項ノ市町村ト看做ス

北海道ニ於テハ郡ヲ以テ漁業組合ノ地區ト爲スコトヲ得
第四十三條 漁業組合ハ法人トス

漁業組合ハ漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

漁業組合ハ自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得ス

組合員ハ漁業組合ノ取得シ若ハ貸付ヲ受ケタル専用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス但シ組合規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四十四條 漁業組合ハ相互ニ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

漁業組合聯合會ハ法人トス

第四十五條 漁業組合及漁業組合聯合會ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第四十六條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十七條 行政官廳ハ何時ニテモ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ事業ニ關スル報告ヲ徵シ、事業ニ付認可ヲ受ケシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督

上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ決議若ハ役員ノ行爲ニシテ法令、行政官廳ノ命令若ハ規約ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ行政官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 決議ノ取消
- 二 役員ノ解職
- 三 組合又ハ聯合會ノ解散

第四十九條 本法ニ規定スルモノノ外漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ設立、登記、管理、分合、解散、清算其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ於テ本法中特ニ組合又ハ聯合會ニ關スル規定ニ違反シタル場合ニ於テハ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス
本法ニ基キテ發スル組合又ハ聯合會ニ關スル命令ニ於テハ組合又ハ聯合會カ之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

前二項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス
第五十一條 漁業者又ハ水産動植物ノ製造若ハ販賣ヲ業トスル者ハ水産業ノ改良

發達及水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲水産組合ヲ設クルコトヲ得

四三六

第五十二條 水産組合成立シタルトキハ其ノ地區内ニ於テ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合ニ加入シタルモノト看做ス但シ主務大臣ニ於テ加入ノ義務ナシト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 水産組合ハ相互ニ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲水産組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

第五十四條 水産組合及水産組合聯合會ハ法人トシ重要物産同業組合法ヲ準用ス

第五十五條 漁業ノ免許若ハ許可ノ出願又ハ期間更新ノ申請ニ對スル許否ニ不服アル者及第三條第二項、第二十二條、第二十四條、第二十五條若ハ第三十七條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十六條 漁場ノ區域、漁業權若ハ入漁權ノ範圍又ハ漁業ノ方法ニ付漁業者ノ間ニ争アルトキハ關係者ヨリ行政官廳ニ之ニ關スル裁決ヲ申請スルコトヲ得前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十七條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ付前條ノ規定ニ依ル裁決又ハ判決ヲ待ツノ必要アル場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

第五十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 免許ニ依ラス若ハ漁業ノ停止中第四條又ハ第六條ノ漁業ヲ爲シタル者
- 二 免許漁業ノ制限又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違反シテ漁業ヲ爲シタル者
- 三 専用漁業ノ停止中其ノ漁場ニ於テ停止シタル漁業ヲ爲シタル者

前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第五十九條 汽船「トロール」漁業ニ關シ第三十五條第一項ノ規定、同條第二項ノ制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金、汽船捕鯨業ニ關シ同條第一項ノ規定、同條第二項ノ制限若ハ禁止又ハ第三十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十條 漁業權又ハ漁業組合員ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ侵害シタル者ハ五百圓

四三七

以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第六十一條 漁場ノ標識ヲ移轉シ、汚損シ又ハ毀壞シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十二條 第四十一條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者及臨檢搜索ノ際當該吏員ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十三條 營業者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第六十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附則

第六十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治四十三年十一月勅令第四百二十八號ヲ以テ同四十四年四月一日ヨリ

施行) 第六十七條 本法ハ獵虎及臘肭獸ノ漁獵ニ之ヲ適用セス

第六十八條 本法施行前ノ漁業ニ關スル出願ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第六十九條 舊法ニ依リ發生シタル漁業權ハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ定メタル效力ヲ有ス但シ其ノ存續期間ハ發生ノ時ヨリ起算ス

本法施行前ニ發生シタル入漁權ニ關シ亦前項ニ同シ

第七十條 本法施行前免許漁業原簿ニ登錄シタル事項ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ登錄スルコトヲ得ヘキモノニ限り之ニ依リ登錄シタルモノト看做ス

第七十一條 舊法施行前ノ契約又ハ慣行ニ依リテ入漁スルノ權利ハ專用漁業免許後一年間ニ限り登錄ナキモ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第七十二條 本法施行前ニ爲シタル處分又ハ第六十八條ノ規定ニ依リ爲シタル處分ニ對スル裁決ノ申請、訴願又ハ行政訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第七十三條 舊法ニ依リ設ケタル漁業組合ハ本法施行後一年間ニ限り登記ナキモ

其ノ設立ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

漁業法施行規則

(明治四十三年十一月十二日)
(農商務省令第二五號)

改(大正十五年六月二十三日)
(農林省令第一四號)

第一章 總則

第一條 漁業ニ關スル出願、申請及届出ハ漁場ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ爲スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

一 專用漁業ニ關スルトキ

二 入漁權ニ關スルトキ

三 二以上ノ地方長官ノ管轄ニ屬スル漁場ニ於ケル漁業ニ關スルトキ

四 漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサル漁業ニ關スルトキ

前項第三號又ハ第四號ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ管轄地方長官ヲ指定スルコトヲ得農林大臣ノ處分ヲ爲シタルモノニ付亦同シ

第二條 農林大臣ニ出願、申請又ハ届出ヲ爲サムトスルトキハ漁場ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサルトキハ住所ノ地方長官ヲ經由スヘシ

第三條 漁業ニ關スル行政行爲ニ付テハ關係地方長官ハ交互ニ補助スルモノトス

第四條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ出願、申請又ハ届出ヲ爲シタル者、漁業權者、入漁權者其ノ他漁業ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シ書類ノ提出、訂正若ハ補充又ハ物件ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第五條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ行政官廳ハ其ノ事由及書類ノ要領ヲ公告スヘシ此ノ場合ニ於テハ公告ノ終リタル日ヨリ起算シテ三十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付アリタルモノト看做ス

第六條 本則ニ依リ行政官廳ノ爲スヘキ公告ハ慣行ノ公布式ニ依ルモノトス

第七條 漁業法第三條第二項ノ水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ニシテ同條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ水面又ハ敷地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ出願スヘシ

願書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

一 許可ヲ受ケムトスル事由書

二 占有者又ハ所有者タルコトヲ證スヘキ書面

三 許可ヲ受ケムトスル區域ノ圖面

四 漁業權ノ設定アルトキハ其ノ漁業權者及登錄シタル權利者ノ同意書若シ其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由書

第八條 前條ノ出願ヲ許可シタルトキハ地方長官ハ之ヲ公告シ若シ漁業權者其ノ他登錄シタル權利者アルトキハ之ヲ通知スヘシ

第九條 地方長官ハ漁業法第三條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ許可シタル區域ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第二章 漁業ノ免許

第十條 本則ニ於テ免許漁業ト稱スルハ定置漁業、區劃漁業、專用漁業及特別漁業ヲ謂フ

第十一條 本則ニ於テ定置漁業ト稱スルハ漁具ヲ定置シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、區劃漁業ト稱スルハ水面ヲ區劃

シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、專用漁業ト稱スルハ他ノ免許漁業ニ該當セスシテ水面ヲ専用シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、特別漁業ト稱スルハ第十四條各號ニ掲クル漁業ヲ謂フ

第十二條 定置漁業ノ種類左ノ如シ

- 一 臺網類漁業 敷網及垣網又ハ敷網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 二 落網類漁業 落網、上網及垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 三 柵網類漁業 側網及垣網ヲ碇、土俵若ハ支柱等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 四 建網類漁業 曲網及垣網又ハ刺網ヲ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 五 出網類漁業 垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 六 張網類漁業 囊網又ハ立廻網ヲ支柱若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ建設若ハ敷設スルモノ
- 七 魴築類漁業 一定ノ水面ニ支柱ヲ以テ簀若ハ網ヲ建設シ又ハ竹、木、石堤等ヲ建設シテ陷穽ノ裝置若ハ魚堰ヲ設クルモノ

第十三條 區劃漁業ノ種類左ノ如シ

- 一 第一種 一定ノ區域内ニ於テ瓦、石、竹、木等ヲ沈設シ又ハ築ヲ建設シテ爲ス養殖業
- 二 第二種 土、石、竹、木等ノ圍障ニ依リ限界セラレタル一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業
- 三 第三種 前二號ノ外一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業

第十四條 左ニ掲クル漁業ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ

- 一 第一種 一定ノ網場又ハ捕獲場ヲ有スル鯨漁業
- 二 第二種 一定ノ追込場ヲ有スル海豚漁業
- 三 第三種 一定ノ曳揚場ヲ有スル地曳網、地漕網漁業

- 四 第四種 一定ノ曳寄場ヲ有スル船曳網漁業
 - 五 第五種 一定ノ網場ヲ有スル囊待網漁業
 - 六 第六種 一定ノ網場ヲ有スル敷網漁業
 - 七 第七種 一定ノ水面ニ於テ飼付ヲ爲ス漁業
 - 八 第八種 一定ノ水面ニ漬場ヲ設クル鱒漁業
 - 九 第九種 一定ノ水面ニ築磯ヲ設クル漁業
- 第十五條 前三條ニ該當スル免許漁業ノ名稱ハ農林大臣別ニ之ヲ告示ス
- 第十六條 左ノ區域ヲ以テ免許漁業ノ漁場トス
- 一 定置漁業ニ在リテハ漁具ヲ建設シ又ハ敷設スル區域
 - 二 區劃漁業ニ在リテハ養殖ヲ爲ス區域
 - 三 專用漁業ニ在リテハ專用スル區域
 - 四 特別漁業中第一種ニ在リテハ網場又ハ捕獲場ノ區域、第二種ニ在リテハ追込場ノ區域、第三種及第四種ニ在リテハ網ノ使用區域、第五種及第六種ニ在リテハ網場ノ區域、第七種ニ在リテハ飼付ヲ爲ス區域、第八種ニ在リテハ漬場ノ區域、第九種ニ在リテハ築磯ノ區域
- 第十七條 水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ又ハ漁業ノ價值ナシト認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與ヘス
- 漁業權者及登錄シタル權利者ノ同意アル場合ヲ除クノ外既ニ免許ヲ與ヘタル漁業ト相容レスト認ムルトキ亦前項ニ同シ
- 前項ノ規定ハ漁業權ノ存續期間ヲ更新スル場合ニ之ヲ適用セス

第十八條 漁業ノ免許ハ市、町、村、町村組合及市町村内ノ獨立シタル區ニ之ヲ與ヘス但シ漁業權ノ存續期間ヲ更新スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ北海道、沖繩縣、並沖繩縣及島嶼町村制ヲ施行シタル島嶼ノ區又ハ町村内ノ一部ニ之ヲ適用ス

第十九條 第十七條第一項及第二項ノ規定ハ漁業權變更ノ許可ノ出願ニ之ヲ準用ス

第二十條 從來ノ慣行ニ因ル專用漁業權者ハ其ノ漁業ノ種類ヲ増加シ又ハ漁場ノ區域ヲ擴張スル變更ノ許可ヲ出願スルコトヲ得ス

第二十一條 地勢上漁業組合毎ニ其ノ地先水面ヲ區分スルコト能ハサルトキ又ハ其ノ區分カ著シク困難ナルトキハ關係漁業組合ハ共同シテ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願スルコトヲ得

第二十二條 漁業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ專用漁業ニ在リテハ漁場毎ニ、其ノ他ノ免許漁業ニ在リテハ漁業ノ名稱及漁場毎ニ願書ニ通テ作リ之ヲ出願スヘシ

- 願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 專用漁業ニ在リテハ漁具ノ種類又ハ漁業ノ方法、其ノ他ノ免許漁業ニ在リテハ漁業ノ種類及名稱
- 二 漁獲物ノ種類
- 三 漁業時期

四 漁業權存續期間

第二十三條 前條ノ願書ニハ漁場ノ位置及區域ヲ記載シタル漁場圖ニ通テ添附スヘシ

前項ノ記載事項ノ外定置漁業ノ漁場圖ニハ漁具ノ建設又ハ敷設ノ形狀ヲ、區劃漁業ノ漁場圖ニハ漁場ノ面積ヲ記載スヘシ

第二十四條 免許ヲ受ケムトスル漁場ノ敷地カ他人ノ所有ニ屬スルトキ又ハ水面カ他人ノ占有ニ係ルトキハ其ノ所有者又ハ占有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ漁業ノ免許ノ願書ニ添附スヘシ

第二十五條 二人以上共同シテ漁業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ内一人ヲ選定シテ代表者ト爲シ之ヲ行政官廳ニ届出テ又ハ出願ノ書面ニ記載スヘシ

前項ノ規定ニ依リ代表者ノ届出又ハ記載ナキトキハ行政官廳ハ代表者ヲ指定スヘシ

第二十六條 代表者ハ共同者全員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

代表者ニ變更アリタルトキハ行政官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

代表者ノ變更ハ前項ノ届出ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ行政官廳ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十七條 前二條ノ規定ハ二人以上共同シテ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利若ハ入漁權ヲ取得シタル者ニ之ヲ準用ス

第二十八條 代表者ハ行政官廳ニ對シ共同者ヲ代表ス

第二十五條及第二十六條ノ規定ニ依ル代表者ハ免許ヲ受ケタル漁業權ニ付其ノ共同者ヲ代表スル者ト看做ス

- 第二十九條 漁業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ左ノ事項ヲ公告スヘシ
- 一 免許ノ番號
- 二 免許ノ年月日
- 三 漁業權者又ハ代表者ノ氏名若ハ名稱及住所
- 四 漁場ノ位置
- 五 漁業ノ種類及名稱

六 漁獲物ノ種類

七 漁業時期

八 漁業權ノ存續期間

九 免許ニ條件又ハ制限ヲ附シタルトキハ其ノ事項

第三十條 漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ願書二通ヲ作り免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ出願スヘシ若シ登録シタル權利者アルトキハ其ノ同意ヲ證スル書面ヲ、其ノ出願カ漁業權ノ分割又ハ漁場區域ノ變更ニ係ルトキハ尙其ノ分割又ハ變更スル漁場ノ漁場圖二通ヲ添附スヘシ

第二十三條ノ規定ハ前項ノ漁場圖ニ之ヲ準用ス

第三十一條 漁業權存續期間更新ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ更新期間ヲ定メ申請書二通ヲ作り存續期間満了ノ日ヨリ少クトモ三月前ニ之ヲ申請スヘシ

第二十四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ慣行ニ因リ免許ヲ受ケタル漁業權ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十二條 漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ヲ許可シタルトキ又ハ漁業權存續期間ノ更新ヲ免許シタルトキハ之ヲ公告スヘシ

第三十三條 漁業ノ免許ヲ取消シ、免許シタル漁業ヲ制限若ハ停止シ又ハ其ノ處分ヲ變更若ハ取消シタルトキハ當該官廳ハ之ヲ公告シ且遲滞ナク登録シタル權利者ニ通知スヘシ但シ地方長官ノ免許シタル漁業ニ關シ農林大臣ノ爲シタル處分ノ通知ハ地方長官之ヲ爲スヘシ

第三十四條 漁業法第二十五條ノ規定ニ依リ地方長官漁業ノ免許ヲ取消サムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十五條 漁業法第十條第二項ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ漁業權者カ其ノ持分ノ處分ヲ爲ストキハ他ノ共有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ、拋棄ヲ爲ストキハ登録シタル權利者ノ同意ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三十六條 免許漁業ニ付休業ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ休業期間ヲ定メ其ノ事由ヲ具シ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ申請スヘシ

前項ノ認可ヲ受ケタル者漁業ヲ爲スニ至リタルトキハ遲滞ナク之ヲ届出ツヘシ
休業認可ノ期間内漁業ヲ爲シタルトキハ爾後認可ノ效力ヲ失フ

第三十七條 漁業權ヲ拋棄シタルトキハ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

前項ノ届出ニハ登録シタル權利者アルトキハ其ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
第一項ノ届出アリタルトキハ行政官廳ハ之ヲ公告スヘシ

第三章 土地ノ使用

第三十八條 漁業法第二十九條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル願書ニ圖面ヲ添ヘ行政官廳ニ之ヲ出願スヘシ

- 一 土地ノ使用ニ付テハ其ノ所在、地番、種目及面積、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ目的、時期及期間
- 二 立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ニ付テハ其ノ種類、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ目的及期間

第三十九條 前條ノ出願ヲ許可シタルトキハ行政官廳ハ所有者及占有者ニ之ヲ通知シ且公告スヘシ

第四十條 漁業權者ニ對シテ爲シタル漁業法第二十九條乃至第三十一條ノ許可ハ其ノ承繼人及其ノ漁業權

ニ依リ漁業ヲ爲ス權利ヲ有スル者ノ爲ニモ效力ヲ有ス

第四十一條 漁業法第三十條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ土地ノ所在、地番、種目、面積及現況、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ時期及期間ヲ記載シタル願書ニ圖面ヲ添ヘ行政官廳ニ之ヲ出願スハシ

第四十二條 第三十八條及第四十一條ノ行政官廳ハ土地又ハ立木竹若ハ土石ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トス但シ土地又ハ立木竹若ハ土石ノ所在地ト漁場トヲ管轄スル地方長官異ナルトキ又ハ漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサル漁業ノ爲ナルトキハ之ヲ農林大臣トス

前項但書ノ場合ニ於テハ農林大臣ハ管轄地方長官ヲ指定スルコトヲ得

第四十三條 漁業法第三十一條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ土地又ハ支障木竹若ハ障礙物ノ所在地ヲ管轄スル警察官署ニ之ヲ出願スヘシ

第四十四條 漁業法第三十一條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り又ハ支障木竹ヲ伐採シ若ハ障礙物ヲ除去セムトスル者ハ當該官廳ノ許可證ヲ携帯スヘシ

第四章 蕃殖保護及漁業取締

第四十五條 漁業法第三十四條ニ依ル命令ハ官廳又ハ公署ニ於テ調査又ハ試験ヲ爲ス場合ニ之ヲ適用セス養殖、學術、研究其ノ他特別ノ理由ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合亦同シ

第四十六條 水産動植物ヲ疲憊又ハ斃死セシムヘキ有毒物ヲ使用シテ水産動植物ヲ採捕スルコトヲ得ス

第四十七條 漁業法第三十六條又ハ前條ノ規定ヲ犯シ採捕シタル水産動植物ハ之ヲ所持又ハ販賣スルコトヲ得ス

第四十八條 遼河魚類ノ通路ヲ遮斷シテ漁業ヲ爲ストキハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ魚道ヲ開通スヘシ

第四十九條 行政官廳ハ漁業取締ノ爲定置漁業及特別漁業ニ付命令ヲ以テ保護區域ヲ設クルコトヲ得保護區域ヲ設クルトキハ其ノ漁業ノ妨害ト爲ルヘキ漁業ノ制限若ハ禁止ニ付規定ヲ設クヘシ

第五十條 左ニ掲クル漁業ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 藻手繰網漁業
- 二 藻漕網漁業
- 三 藻打瀬網漁業
- 四 藻曳網漁業
- 五 潛水器漁業
- 六 空釣繩漁業

前項ノ漁業ノ地方名稱ハ地方長官之ヲ公示スヘシ

第五十一條 地方長官第一項ノ漁業ヲ許可シタルトキハ鑑札ヲ下附スヘシ

第五十二條 前條ノ漁業者漁業ヲ爲ストキハ鑑札ヲ携帯スヘシ

第五十三條 地方長官禁漁區ヲ設ケタルトキハ適當ノ場所ニ其ノ標識ヲ建設スヘシ

第五十四條 漁場標識ヲ建設シタルトキハ其ノ漁場標識タルコトヲ明示スヘシ

第五十五條 臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第五章 裁 決

第五十五條 漁業法第五十六條第一項ノ裁決ヲ申請セムトスルトキハ漁業權ニ關シテハ漁業ノ免許ヲ與ヘタ

ル行政官廳ニ、入漁權ニ關シテハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ但シ關係者ニ免許ヲ與ヘタル行政官廳異ナルト
キ又ハ漁業權者、入漁權者間ノ争ニ關スルトキハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

第五十六條 裁決ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 申請者及相手方ノ氏名若ハ名稱及住所

二 申請ノ目的及理由

三 立證

申請書ニハ證據書類ヲ添附スヘシ

第五十七條 申請書ニハ相手方ノ數ニ應シ前條書類ノ副本ヲ添附スヘシ

第五十八條 行政官廳ニ於テ裁決ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送附シ相當ノ期限ヲ指定
シテ答辯書ヲ差出サシムヘシ

第五十九條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附スヘシ裁決ノ申請ヲ却下スルトキ亦同シ

第六章 罰則

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四十六條又ハ第四十七條ノ規定ヲ犯シタル者

二 禁漁區内ニ於テ其ノ禁止シタル水産動物ヲ採捕シタル者

前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス但シ犯人ノ所有シタル前記物件
ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第四十八條又ハ第五十條第一項ノ規定ヲ犯シタル者

二 禁漁區又ハ第九條ノ標識ヲ移轉シ、汚損シ又ハ毀壞シタル者

第六十二條 第五十一條ノ規定ヲ犯シタル者ハ科料ニ處ス

附則

第六十三條 本則ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六十四條 本則施行前漁業ニ關シ農商務大臣又ハ地方長官ノ發シタル命令ノ規定ニシテ漁業法又ハ本則ノ
規定ニ牴觸セサルモノハ漁業法及本則ニ依リ之ヲ發シタルモノト看做ス

第六十五條 本則施行前ノ漁業ニ關スル申請ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附則 (大正十五年六月
農林省令第一四號)

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前從前ノ規定ニ依リ郡長又ハ島司ニ對シ爲シタル出願ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

港灣區域内漁業免許ノ取扱ニ關スル件

(昭和四年四月十八日三水第四四六二號
沿海各地方長官宛、農林、内務兩次官通牒)

港灣區域内ニ漁業權ヲ新ニ設定スルハ港灣ノ公共ノ利用就中港灣工事上影響ヲ及ホスコト尠カラサルノミナ
ラス港灣利用ノ増進ニ伴ヒ漁業者ノ蒙ムルヘキ危險モ亦漸次増加スヘキヲ以テ港灣内ニ於テ漁業ノ免許ヲ爲
スハ將來相當考慮ヲ要スル義ニ付爾今左記ニ準據シ御處理相成度及通牒候也

記

一 國又ハ公共團體ニ於テ現ニ港灣ノ修築工事ヲ施行シ又ハ施行スヘキ具體的計畫ノ存スル區域ニ限リ其
ノ區域内ニ於テハ新ニ漁業ノ免許ヲ爲ササルコト但シ工事著手ノ時期、工事ノ實況又ハ港灣ノ利用ノ現

況ノ如何ニ依リ港灣工事又ハ港灣ノ用途若クハ目的ヲ著シク妨ケサル場合等貴官ニ於テ支障ナシト認ムル限リ將來漁業法第二十四條ノ規定ニ該當スルニ至ラハ同條ニ依リ免許漁業ノ制限若ハ停止又ハ免許ノ取消ヲ爲スコトアルヘキ旨ノ豫告的條件ヲ附シ免許シ支障ナシ

二 更新免許ニ付テハ權利者ノ既得ノ利益ニ關係アルヲ以テ前號ト同一ニ取扱フヲ得サルモ既存ノ利益ヲ害セサル範圍ニ於テ可成右趣旨ヲ參酌シ處理スルコト

耕地整理法

(明治四十二年四月十三日
法律第三〇號)

改正(明治四十三年四月法律第四四號、大正三年三月第三二號、八年四月第四五號、昭和六年三月第一五號、第二九號、十月第六八號)

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ土地ノ農業上ノ利用ヲ增進スル目的ヲ以テ本法ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フヲ謂フ

- 一 土地ノ交換、分合、開墾、地目變換其ノ他區劃形質ノ變更、湖海ノ埋立、干拓若ハ道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置又ハ之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事
- 二 前號ノ事項施行ノ爲若ハ施行ノ結果必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ設備又ハ其ノ維持管理
- 三 開墾又ハ湖海ノ埋立若ハ干拓ニ依ル耕地整理ニ附隨シテ行フ整理施行地ノ利用ニ關スル必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ施設
- 四 前三號ノ事項ニ關シ必要アルトキ國、道府縣、市町村其ノ他公共團體ノ認許ヲ得テ行フ營造物ノ修繕

第二條 本法ニ於テ關係人ト稱スルハ整理施行地ニ付所有權以外ノ登記シタル權

利ヲ有スル者（抵當證券ノ發行アリタルトキハ其ノ所持人）ヲ謂フ

第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有財産法第二十一條ノ規定ニ依ル豫約事業者ハ土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者及賃貸人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ三 公有水面埋立法ニ依リ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條、第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

第三條 耕地整理ヲ施行セムトスルトキハ設計書ヲ作り關係人ノ同意書竝第二條ノ二ノ場合ニ於ケル土地ノ所有者及賃貸人ノ同意書ヲ添ヘ數人共同シテ施行セムトスルモノニ在リテハ尙規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

設計書、規約若ハ整理施行地區ヲ變更シ若ハ一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變更シテ數人共同ノ施行ト爲シ又ハ事業ヲ停止若ハ廢止セムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ耕地整理施行ノ爲爲シタル借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ事業ヲ廢止シ、整理施行地區ヲ減少シ又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更スルコトヲ得ス

前項整理施行地區ノ變更ニ依リ新ニ整理施行地區ニ編入セラルヘキ土地ニ付テハ第一項ノ同意書ニ關スル規定ヲ準用ス

地方長官第一項又ハ第二項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前五項ノ規定ハ耕地整理組合ニ之ヲ適用セス

第三條ノ二 市ノ區域内ノ土地及主務大臣ノ指定スル地域内ノ土地ハ之ヲ整理施行地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ市ノ區域内ノ土地ニシテ主務大臣ノ指定スル地域内ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ整理施行地ノ所有者、占有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效

力ヲ有ス

第五條 整理施行地ノ所有者ニ屬スル耕地整理ニ關スル權利義務ハ土地ノ所有權ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ノ耕地整理ニ關スル權利義務ハ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ國有財産法ニ依ル權利ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉シ地上權、永小作權又ハ賃借權消滅シタルトキハ帝室及國ヲ除クノ外土地ノ所有者又ハ賃貸人ニ移轉ス

第六條 本法中別ニ規定アル場合ヲ除クノ外土地ノ所有者、占有者、關係人其ノ他整理施行地ニ付權利ヲ有スル者ハ耕地整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第七條 主務大臣又ハ地方長官耕地整理ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要アルトキハ官吏又ハ吏員ヲシテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲シ障害ノ竹木土石等ヲ移轉若ハ除却セシムルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ土地ノ占有者ニ之ヲ通知スヘシ
前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ公告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 前條ノ規定ハ耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施行者カ整理施行ノ爲必要ナル準備ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ市町村長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施行者ハ整理施行地ヲ管轄スル登記所、漁業ニ關スル登録官廳、土地臺帳所管廳、市役所又ハ町村役場ニ就キ無償ニテ耕地整理ニ關シ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得但シ登記所、漁業ニ關スル登録官廳又ハ土地臺帳所管廳ハ必要アリト認ムルトキハ耕地整理組合若ハ耕地整理組合聯合會ノ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長又ハ臨時代理者以外ノ者ニ付其ノ資格ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

第十條 耕地整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

第十一條 耕地整理ヲ施行スル爲國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルニ依リ不用ニ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付ス

耕地整理ノ施行ニ依リ開設シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ニシテ前項廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十二條 耕地整理ノ施行ニ依ル土地ノ異動ニ關シテハ地租法第十五條、第十七

條第二項、第十九條、第二十條、第二十二條、第二十四條、第二十六條第一項、第二十九條乃至第三十三條、第三十五條、第三十六條、第三十八條、第四十條乃至第四十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條及第五十條乃至第五十三條ノ規定ヲ適用セス

第十三條 耕地整理ヲ施行シタル土地ニ付テハ稅務署長ハ一筆毎ニ地番ヲ附シ其ノ地目、地積及賃賃價格ヲ定ム

前項ノ賃賃價格ハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ其ノ耕地整理ノ施行ニ依リ第十四條ノ四ノ有租地ト爲リタルモノヲ除クノ外整理施行地區内ノ土地ノ現賃賃價格ノ合計額ヲ每筆相當ニ配賦シテ之ヲ定ム但シ第十一條第二項ノ規定ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ地積カ同條第一項ノ規定ニ依リ交付シタル土地ノ地積ヨリ多キ場合ニ於テハ其ノ地積ノ差數ヲ整理施行地區内ノ土地ノ現賃賃價格ノ平均額ニ乗シタル額ヲ現賃賃價格ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ現賃賃價格ノ合計額トス

規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區ヲ以テ前項ノ整理施行地區ト看做ス

第十三條ノ二 前條第二項ノ規定ニ依リ賃賃價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ニ付テハ

其ノ配賦ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ配賦シタル賃賃價格ニ依リ地租ヲ徵收ス
前項ノ規定ニ依リ地租ヲ徵收スル年ノ前年分迄ハ整理施行地ノ地租ハ原地（工事着手前ノ土地）相當ノ賃賃價格ニ依リ之ヲ徵收ス

第十三條ノ三 第十三條第二項ノ規定ニ依リ賃賃價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ハ工事着手ノ年ノ翌年ヨリ起算シ七十年ノ耕地整理減租年期ヲ有ス

地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃賃價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ耕地整理減租年期地ノ賃賃價格ハ其ノ改訂ニ依リ定メラルヘキ賃賃價格ニ相當スル額ニ第三項ノ規定ニ依リ定メタル假賃賃價格ノ合計額ヲ以テ第十三條第二項ノ現賃賃價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ乘シタル額ニ之ヲ改訂ス

第十三條第二項ノ規定ニ依リ賃賃價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ニ付テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ假賃賃價格ヲ定ム

稅務署長ハ假賃賃價格ヲ定メタルトキハ整理施行者ニ之ヲ通知スヘシ

第十三條ノ四 耕地整理減租年期地ニ付地目變換、地類變換又ハ開墾ヲ爲シタルトキハ其ノ耕地整理減租年期ハ消滅ス

第十三條ノ五 地租法第五十九條第一項ノ規定ハ耕地整理減租年期地ニ付荒地免

租年期ヲ許可シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十三條ノ六 耕地整理減租年期地ニ付テハ其ノ年期ノ滿了スル年ニ於テ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃貸價格ヲ修正シ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十四條 耕地整理ノ施行ニ依リ開墾又ハ第一類地中ノ地目變換ヲ爲シタル土地ノ地積カ整理施行地區内ノ有租地ノ總地積ノ五分ノ一ヲ超ユル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃貸價格ヲ修正シ修正賃貸價格ノ合計額ト之ニ對スル從前ノ賃貸價格ノ合計額トノ差額ノ平均額ニ開墾又ハ變換シタル土地ノ總地積ト整理施行地區内ノ有租地ノ總地積ノ五分ノ一ニ相當スル地積トノ差數ヲ乘シタル額ヲ開墾又ハ變換シタル土地ノ從前ノ賃貸價格ノ合計額ニ加ヘタルモノヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現賃貸價格トス

前項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ修正ヲ爲シタル土地ニ付テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ開墾シタルモノニ在リテハ工事著手ノ年ノ翌年ヨリ起算シ四十年(四十年ヲ經過スルモ尙地味成熟スルニ至ラスト認ムルモノニ付テハ四十年以上五十年以内)ノ耕地整理開墾減租年期ヲ、變換シタルモノニ在リテハ工事

完了ノ年及其ノ翌年ヨリ六年ノ耕地整理地目變換減租年期ヲ許可ス

前二項ノ場合ニ於テ二十年以内ニ成功シ能ハサル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス

第十四條ノ二 無租地ヲ整理施行地區ニ編入シ有租地ト爲シタルトキハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ交付シタル土地ヲ除クノ外稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃貸價格ヲ設定シ設定賃貸價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現賃貸價格トス

第十四條ノ三 第十四條第一項又ハ前條ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ修正又ハ設定ヲ爲シタル後賃貸價格配賦前ニ於テ地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ修正賃貸價格又ハ設定賃貸價格ハ工事完了ノトキノ現況ニ依リ之ヲ改訂ス

第十四條ノ四 國有財産法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂又ハ讓與ノ豫約ヲ爲シタル土地ニシテ耕地整理ノ施行ニ依ル開拓ノ事業成功ニ因リ賣拂又ハ讓與ヲ受ケ有租地ト爲リタルモノニ付テハ稅務署長ハ土地所有者ノ申請ニ依リ有租地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ二十年ノ耕地整理開拓免租年期ヲ許可ス

國有財産法第二十一條ノ規定ニ依リ賣拂若ハ讓與ノ豫約ヲ爲シタル土地ニシテ

耕地整理ノ施行ニ依ル埋立(干拓ヲ含ム)ノ事業成功ニ因リ賣拂若ハ讓與ヲ受ケ有租地ト爲リタルモノ又ハ耕地整理ヲ施行シ公有水面埋立法ニ依ル埋立ヲ爲シ同法第二十四條若ハ第五十條ノ規定ニ依リ埋立地ノ所有權ヲ取得シ有租地ト爲リタルモノニ付テハ稅務署長ハ土地所有者ノ申請ニ依リ有租地ト爲リタル年及其ノ翌年ヨリ六十年ノ耕地整理埋立免租年期ヲ許可ス

前二項ノ場合ニ於テ整理施行者ハ土地所有者ニ代リテ其ノ申請ヲ爲スコトヲ得第一項又ハ第二項ノ年期滿了スルモ尙地味成熟セサル土地ニ付テハ稅務署長ハ土地所有者ノ申請ニ依リ更ニ十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

第十五條 整理施行地區内ニ開墾減租年期、地目變換減租年期、開拓減租年期、埋立免租年期、耕地整理減租年期、耕地整理開拓免租年期又ハ耕地整理埋立免租年期ヲ有スル土地アル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事著手ノトキ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃貸價格ヲ修正又ハ設定シ修正賃貸價格又ハ設定賃貸價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現賃貸價格トス

前項ノ土地ニ第十四條第一項ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ前項ノ修正賃貸價格又ハ設定賃貸價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十四條第一項ノ從前ノ賃貸價格トス

整理施行地區内ニ工事完了ノトキニ於テ荒地免租年期地(震災ニ因リ一定ノ期間地租ノ免除ヲ受クル土地ヲ含ム)アル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃貸價格ヲ設定シ設定賃貸價格ヲ以テ其ノ土地ノ第十三條第二項ノ現賃貸價格トス

第十五條ノ二 前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ修正又ハ設定ヲ爲シタル後賃貸價格配賦前ニ於テ地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ前條第一項ノ修正賃貸價格又ハ設定賃貸價格ハ工事著手ノトキノ現況ニ依リ、前條第三項ノ設定賃貸價格ハ工事完了ノトキノ現況ニ依リ之ヲ改訂ス

第十五條ノ三 第十五條第一項又ハ第三項ノ土地ニ付テハ其ノ年期カ賃貸價格配賦前ニ滿了スル場合ニ於テハ其ノ滿了スル年ノ翌年分ヨリ賃貸價格配賦ノ年ノ分迄修正賃貸價格又ハ設定賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十六條 整理施行地區内ニ賃貸價格配賦ノトキニ於テ第十五條第一項若ハ第三項ニ掲クル年期、耕地整理開墾減租年期又ハ耕地整理地目變換減租年期ヲ有スル土地アル場合ニ於テハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ左ノ各號ノ金額ヲ

整理施行地區内ノ全部又ハ一部ノ土地ニ配當ス命令ヲ以テ定ムル期間内ニ其ノ申請ナキトキハ稅務署長ハ職權ヲ以テ其ノ配當ヲ行フ

一 第十五條第一項ニ掲クル減租年期地ノ同項ノ修正賃賃價格ヨリ之ニ對スル從前ノ賃賃價格ヲ控除シタル金額

二 第十五條第一項又ハ第三項ニ掲クル免租年期地ノ同條第一項又ハ第三項ノ設定賃賃價格ニ相當スル金額

三 耕地整理開墾減租年期又ハ耕地整理地目變換減租年期ヲ有スル土地ノ第十四條第一項ノ現賃賃價格ヨリ之ニ對スル從前ノ賃賃價格ヲ控除シタル金額

第十六條ノ二 地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃賃價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ配當金額ハ整理施行地區内ノ耕地整理減租年期地ニ付第十三條ノ三第

二項ノ規定ニ依リ改訂セラルヘキ賃賃價格ノ合計額ヲ以テ除シテ得タル比率ヲ改訂前價格(配當金額ヲ控除セサルモノ)ノ合計額ヲ以テ除シテ得タル比率ヲ改訂前

ノ配當金額ニ乘シタル額ニ之ヲ改訂ス

第十六條ノ三 第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付テハ同條ノ年期ノ殘年期間中第十三條第二項ノ規定ニ依リ配賦ヲ爲シタル賃賃價格(第十三條ノ

三第二項ノ規定ニ依リ改訂シタル場合ニ於テハ其ノ賃賃價格)ヨリ配當金額ヲ

控除シタル額ヲ以テ其ノ賃賃價格トス

第十六條ノ四 第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付同條ノ年期ノ殘年

期間中土地ノ異動ニ因リ賃賃價格ヲ修正スル場合ニ於テハ修正賃賃價格ヨリ配

當金額ヲ控除シタル額ヲ以テ其ノ賃賃價格トス

第十六條ノ五 前二條ノ規定ニ依リ賃賃價格ヲ定メタル土地ニ付テハ賃賃價格ヲ

定メタル年ノ翌年分ヨリ其ノ賃賃價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十六條ノ六 第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付テハ同條ノ年期ノ

殘年期間ノ滿了スル年ニ於テ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃賃價格ヲ

修正シ其ノ修正ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ修正賃賃價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十六條ノ七 地租法第五十九條第一項ノ規定ハ第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲

シタル土地ニ付荒地免租年期ヲ許可シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ荒地免租年期

ノ殘年期間ニ付第十六條ノ規定ニ依リ配當ヲ爲シタル土地ニ付テハ此ノ限ニ在

ラス

第十六條ノ八 第十三條第三項ノ規定ハ第十四條第一項、第十四條ノ二、第十五

條第一項、第三項、第十六條及第十六條ノ二ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 換地ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ之

ヲ從前ノ土地ト看做ス

前項ノ規定ハ行政上又ハ裁判上ノ處分ニシテ從前ノ土地ニ專屬スルモノニ影響ヲ及ホサス

第十八條 賃借地ニ付耕地整理施行ノ爲賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ賃借人ハ整理施行者ニ對シ解除ニ依リ生シタル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得但シ整理施行者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ賃借人ニ對シ求償スルコトヲ得

第十九條 耕地整理施行ノ爲賃借地ノ利用ヲ妨ケラルルトキハ賃借人ハ借賃ノ相當ノ減額又ハ前拂シタル借賃ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 耕地整理施行ノ爲著シク賃貸地ノ利用ヲ増シタルトキハ賃借人ハ借賃ノ相當ノ増額ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲シ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

第二十一條 耕地整理施行ノ爲地上權、永小作權又ハ地役權ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ地上權者、永小作權者又ハ地役權者ハ其ノ權利ヲ拋

棄スルコトヲ得

第十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 整理施行地ノ上ニ存スル地役權ハ耕地整理施行ノ後仍從前ノ土地ノ上ニ存ス

耕地整理施行ノ爲地役權者カ其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ地役權ハ消滅ス

耕地整理施行ノ爲從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ其ノ利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 第十九條及第二十條ノ規定ハ地上權、永小作權又ハ地役權ニ之ヲ準用ス

第二十四條 前六條ノ規定ニ依ル賃貸借ノ解除、地上權若ハ永小作權ノ拋棄、地役權ノ拋棄若ハ設定又ハ借賃、地代、小作料若ハ地役ノ對價ノ減額、拂戻若ハ増額ノ請求ハ第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二

條ノ二第一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ

第二十五條

整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條、第二十八條、第三十條第一項、第二項又ハ第四十四條第三項ノ規定ニ依リ拂渡スヘキ金錢アルトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

同一所有者ニ屬スル數筆ノ土地ヲ目的トスル抵當權ニ付抵當證券ノ發行アリタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ供託スヘキ第三十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル拂渡金額ノ計算ニ付テハ其ノ數筆ノ土地ヲ一筆ノ土地ト看做ス但シ其ノ土地ニ付當該抵當權以外ノ前項ニ掲クル權利アル場合ニ於テ其ノ權利者ノ同意ヲ得サルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ規定ハ整理施行地又ハ之ニ存スル建物カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

先取特權者、質權者、抵當權者又ハ訴訟當事者ハ第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十五條ノ二

整理施行地ニ付存スル漁業權カ登録シタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ補償金ヲ拂渡スヘキトキハ

整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地ニ付存スル漁業權又ハ入漁權カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

登録シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十六條

第三條ノ規定ニ依ル整理施行者カ其ノ事業ノ爲借入レタル金額及其ノ利息其ノ他耕地整理ノ施行ニ依リ生シタル債務ニ付テハ共同施行者連帶シテ其ノ責ニ任ス但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

帝室及國ハ前項ノ責ニ任セス

第二十七條

整理施行者ハ耕地整理施行ノ爲必要アルトキハ整理施行地區内ノ工作物又ハ木石等ヲ移轉シ、除却シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

第二十七條ノ二

整理施行地ニ付漁業權存スル場合ニ於テハ漁業權者ニ對シ、漁業權及入漁權存スル場合ニ於テハ漁業權者及入漁權者ニ對シ整理施行者ハ整理施行ニ依リ生スヘキ損害ヲ補償スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ハ漁業權者及入漁權者共同シテ之ヲ有スルモノトス

整理施行者ハ前二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲シタル後ニ非サレハ工事ニ著手スルコトヲ得ス但シ其ノ損害ノ補償ヲ受クル權利者ノ同意ヲ得タルトキ、第二十五條ノ二ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキ又ハ第八十七條第三項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合員ハ耕地整理施行ノ爲受ケタル損害ニ對シ第七條、第八條又ハ第二十七條ノ場合ヲ除クノ外補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 整理施行地ニ付權利ヲ有スル者耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可又ハ耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示アリタル後ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタルトキハ之ニ關スル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

前項告示ノ後ニ於テ土地ニ付權利ヲ取得シタル者ハ從前ノ權利者ノ爲シ得ヘキ範圍内ニ於テノミ損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第三十條 換地ハ從前ノ土地ノ地目、地積、等位等ヲ標準トシテ之ヲ交付スヘシ但シ地目、地積、等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル部分ニ關シテハ金錢ヲ以テ之ヲ清算スヘシ

特別ノ事情ノ爲前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルモノノ處分ニ關シテハ規約ノ定ムル所ニ依ル

前二項ノ規定ニ依ル處分ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ

第三十一條 前條ノ規定ニ依ル處分ハ整理施行地ノ全部ニ付工事完了シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 整理施行地ニ以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉ル場合ニ於テ一筆ノ土地ノ區域ハ二以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉リテ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第三十三條 從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第三十四條 本法中土地所有者ノ數ヲ計算スル場合ニ於テハ共有者ハ之ヲ一人ト

看做ス但シ共有者ノミ共同シテ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラ
ス

四七二

前項但書ノ場合ニ於テ第五十條、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六
十五條第二項又ハ第六十八條第二項中土地ノ地積又ハ賃貸價格ハ共有者ノ持分
ニ依リ之ヲ定ム

第三十五條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ耕地整理ニ關スル書類ノ
送付ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ整理施行者又ハ監督
官廳カ公告ヲ爲ストキハ其ノ公告ノ日ヲ以テ書類ヲ發送シタルモノト看做シ二
十日ヲ經過スルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付ヲ了リタルモノト看做ス

第三十六條 第三十條第三項ノ認可ヲ受ケタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク既登
記ノ土地及建物ニ付登記ヲ申請スヘシ

第三十七條 整理施行地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ付テハ勅令ヲ
以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十八條 共同施行又ハ耕地整理組合ニ依ル耕地整理ノ事業ニシテ市町村又ハ
水利組合ニ依リ施行スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ特別ノ事情アル場合ヲ除
クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ヲ市町村若ハ水利組合ニ引繼キ又ハ耕地

整理組合ヲ普通水利組合ニ變更スヘシ

前項ノ規定ニ依ル引繼又ハ變更アリタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三條第五項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條 (削除)

第四十條 市制第六條ノ市ニ於テハ第三十八條及第五十三條第一項第五號ノ市ニ
關スル規定ハ區ニモ之ヲ適用ス

市制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ニ於テハ本法中市長ニ關スル規定ハ區長
ニモ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニモ之ヲ適用ス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノ
ニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキモノニ、町村役場ニ關スル規定ハ
町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第四十條ノ二 整理施行地區カ數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本法中地方長官ノ職權
ニ屬スル事項ハ關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二章 耕地整理組合

第一款 總則

第四十一條 耕地整理ヲ施行スル爲必要アルトキハ耕地整理組合ヲ設立スルコト

四七三

ヲ得

耕地整理組合ハ法人トス

第四十二條 耕地整理組合ハ整理施行地ヲ以テ其ノ地區トス

第四十二條ノ二 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者ニ代リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 左ニ掲クル土地ハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ第一號乃至第三號ノ土地ニ付テハ主務官廳又ハ公共團體ノ認許、第四號乃至第八號ノ土地ニ付テハ土地所有者、關係人及建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者（抵當證券ノ發行アリタルトキハ其ノ所持人）ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 御料地、國有地

二 官ノ用ニ供スル土地

三 道府縣、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

四 名勝地、舊蹟地

五 古墳墓地、墳墓地

六 社寺境内地

七 鐵道用地、軌道用地

八 建物アル宅地

前項ノ場合ニ於テ抵當證券ノ所持人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ地方長官ノ認可ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認許ヲ得タルトキハ其ノ地上權者又ハ永小作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ地上權又ハ永小作權ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合員ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 特別ノ價值又ハ用途アル土地ハ土地所有者及關係人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條第二項ノ規定ハ前項本文ノ場合ニ於テ抵當證券ノ所持人ノ同意ニ付之ヲ準用ス

土地收用法第四十七條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十四條、第五十六條、第五十八條、第六十條及第六十一條ノ規定ハ第一項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ組合ノ設立又ハ地區變更ノ認可ノ告示ヲ以テ土地收用法第十九條ノ規定ニ依ル公告又ハ通知ト看做ス

第一項但書ノ場合ニ於テ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ其ノ土地ニ付工事ノ施行ヲ拒ムコトヲ得但シ第八十七條第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ハ在ラス

第四十五條 耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ其ノ地區内ニ土地ヲ所有スル者ハ總テ之ヲ組合員トス但シ第十一條第一項ノ土地ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 耕地整理組合ノ名稱中ニハ耕地整理組合ナル文字ヲ用ウヘシ
耕地整理組合ニ非サルモノハ耕地整理組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第四十七條 土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト爲シ之ヲ組合ニ通知スヘシ
前項ノ代表者ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十八條 前條ノ委任ノ終了ハ組合ニ通知アル迄之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十九條 第四十七條第一項ノ手續ヲ爲ササル土地共有者ニ對スル書類ノ送付ハ其ノ一人ニ對シ之ヲ發送シタル時ニ於テ完了シタルモノト看做ス

第二款 組合ノ設立及解散

第五十條 耕地整理組合ヲ設立セムトスルトキハ組合ノ地區タルヘキ區域内ノ土地所有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ區域内ノ土地ノ總地積及總賃賃價格ノ各三分ノ二以上ニ當ル土地所有者ノ同意ヲ得テ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ土地所有者中共有者アル場合ニ於テハ各共有地ニ付共有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ持分ノ三分ノ二以上ニ當ル者ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ共有地ニ付同意アリタルモノト看做ス

第五十一條 耕地整理組合ハ前條地方長官ノ認可ニ依リ成立ス

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ組合設立ノ旨ヲ告示スヘシ

組合ハ前項ノ告示アル迄其ノ成立ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十二條 組合設立ニ關スル費用ハ組合設立ノ後組合ノ負擔トス

第五十三條 組合ハ左ノ事由ニ依リ解散ス但シ第二號ノ場合ニ於テ還了セサル組合債アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 規約ニ定メタル事由ノ發生
- 二 目的タル事項ノ完成又ハ完成ノ不能
- 三 總會ノ議決
- 四 合併

五 事業ヲ市町村又ハ水利組合ニ引繼キタルトキ

六 普通水利組合ニ變更シタルトキ

七 組合員一人ト爲リタルトキ

八 監督官廳ノ處分

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ第三號又ハ第四號ニ該當スルトキヲ除クノ外其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十四條 組合ニ於テ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經テ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ組合債ヲ負擔スルトキハ債權者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務分擔ニ關スル規約ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

更ヲ爲スコトヲ得ス

地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十五條 組合ノ地區ヲ變更スル場合ニ於テ新ニ組合ノ地區ニ編入セラルヘキ土地アルトキハ組合長ハ設計書案及規約案ヲ作り編入區域ノ土地所有者ノ總會議ニ付シ其ノ議決ヲ前條ノ總會ノ議決ニ添附スヘシ

前項ノ總會議ノ議決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者ノ代理人ヲ許スコトヲ得

第六十六條ノ規定ハ第一項ノ總會議ニ之ヲ準用ス

第五十六條 前條ノ總會議ハ編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五十條ノ規定ハ前項ノ同意ニ之ヲ準用ス

第五十七條 設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ハ第五十三條第二項又ハ第五十四條第二項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十八條 組合ヲ合併シタルトキハ合併ニ依リ解散シタル組合ニ屬スル權利義務ハ合併後存續シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ移轉ス

第五十九條 組合員一人ト爲リタル爲組合解散ノ場合ニ於テハ其ノ事業ハ一切ノ權利義務ト共ニ土地所有者ニ移轉ス

前項ノ土地所有者ハ之ヲ第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ト看做ス

第六十條 組合解散シタルトキハ第五十三條第一項第四號、第六號又ハ第七號ノ場合ヲ除クノ外清算ヲ爲スヘシ
組合ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第三款 組合ノ會議

第六十一條 別ニ規定アルモノノ外左ニ掲クル事項ハ總會ノ表決ヲ經ヘシ

- 一 第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲ス事
- 二 組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事
- 三 經費ノ收支豫算ヲ定ムル事
- 四 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 五 組合長、組合副長若ハ評議員ヲ選任シ又ハ解任スル事
- 六 組合費、夫役現品ノ分賦收入ニ關スル事

七 事業報告書及收支決算書ヲ承認スル事

八 工作物又ハ設備ノ維持管理方法ヲ定ムル事

九 訴願、訴訟及和解ニ關スル事

十 耕地整理組合聯合會ヲ設ケ、聯合會ニ加入シ又ハ聯合會ヲ脫退スル事

十一 規約ニ定メタル事項

十二 其ノ他組合長ニ於テ重要ナリト認メタル事項

第六十二條 總會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ評議員會ニ委任シ又ハ組合長ヲシテ專決セシムルコトヲ得

評議員會ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條 總會ノ表決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スル暇ナシト認ムルトキハ組合長ハ專決處分シ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ但シ設計書、規約若ハ組合地區ノ變更又ハ組合ノ解散若ハ合併ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合長前項ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ其ノ處分前評議員會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ評議員ヲ置カサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十五條 總會ハ組合長之ヲ招集ス

組合員總數ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ組合地區内ノ土地ノ總地積若ハ總賃貸價格ノ五分ノ一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルトキハ組合長ハ十四日以内ニ之ヲ招集スヘシ

第六十六條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ會議ノ日時、場所及目的ヲ記載シテ各組合員ニ通知ヲ發スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ニ於テハ期間ヲ二日迄短縮スルコトヲ得

第六十七條 組合員ハ各一箇ノ表決權ヲ有ス但シ規約ヲ以テ表決權總數ノ五分ノ一ヲ超過セサル範圍内ニ於テ一人ニ付二箇以上ノ表決權ヲ有セシムルコトヲ得前項ノ規定ハ第六十八條第二項ノ場合ニ之ヲ適用セス

第六十八條 總會ノ議事ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ表決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十四條又ハ第六十一條第一號、第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令又ハ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 組合員ハ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ表決權ヲ行フ者ハ出席者ト看做ス

第七十條 第三十一條但書ノ規定ニ依リ第三十條ノ處分ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ處分ヲ爲サムトスル土地ニ關スル組合員ノ總會議ヲ以テ總會ト看做ス

第七十一條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ選舉シタル議員ヲ以テ組織スル組合會ヲ以テ總會ニ代フルコトヲ得

第七十二條 總會ニ關スル規定ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外前二條ノ規定ニ依ル組合員ノ總會議又ハ組合會ニ之ヲ準用ス但シ組合會ニ於テハ組合ノ解散又ハ合併ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第四款 組合ノ管理

第七十三條 組合ニ組合長一人及組合副長一人又ハ數人ヲ置ク

組合長又ハ組合副長ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ特別ノ事情アルトキハ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

組合長、組合副長共ニ闕員ト爲リタルトキハ地方長官ハ臨時代理者ヲ指定スルコトヲ得

地方長官前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ與ヘ又ハ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ。

組合長、組合副長又ハ臨時代理者ノ就任若ハ解任ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十四條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ管理ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス組合副長數人アルトキハ其ノ代理ノ順序ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 組合長ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十六條 組合ニ評議員ヲ置ク但シ特別ノ事情アル爲地方長官ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

評議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス

評議員ハ組合長ノ諮詢ニ應シ竝業務及財産ノ狀況ヲ監查ス

組合長ハ規約ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲシテ組合ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十七條 組合長ハ設計書、規約、組合員名簿、會議ノ議事録其ノ他組合ニ關

スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ
組合員又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五款 組合ノ財務

第七十八條 組合ノ費用ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

夫役現品ノ分賦及之ニ代ルヘキ金額ニ關スル規定ハ規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第七十九條 組合員ニシテ組合費、第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依リ支拂フ

ヘキ金錢又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

前項ノ場合ニ於テ組合ハ其ノ徵收金額中百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

市町村カ第一項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セサルトキハ組合長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第一項及第三項ノ徵收金ハ組合地區内ノ土地ニ關シ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有ス

前四項ノ規定ハ組合員カ夫役現品ニ代ルヘキ金錢ヲ滯納スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 組合ニ於テ負債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ負債ハ起債ノ時ヨリ十五年以内ニ之ヲ還了スヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限り五十年以内ト爲スコトヲ得

第八十一條 組合ニシテ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ帝室及國ヲ除クノ外組合員ハ之ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二章ノ二 耕地整理組合聯合會

第八十一條ノ二 耕地整理組合ハ登記手續ニ關スル事項ヲ除クノ外其ノ事業ノ一部ヲ他ノ耕地整理組合ト共同シテ行ハムトスル場合ニ於テ之ヲ代リ行ハシムル爲協議ニ依リ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ得テ耕地整理組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

聯合會ハ法人トス

聯合會其ノ所屬組合ノ増減ヲ爲サムトスルトキハ各組合ノ協議ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

聯合會ニ會長一人及副會長一人又ハ數人ヲ置ク

第四十二條ノ二、第四十六條、第五十一條乃至第五十四條、第五十七條乃至第五十九條第一項、第六十條、第七十三條乃至第七十五條及第七十七條乃至第八十一條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第五十九條第一項中土地所有者トアルハ組合、第七十三條中組合員トアルハ聯合會所屬組合ノ組合員トス

第三章 監督

第八十二條 耕地整理ハ第一次ニ地方長官、第二次ニ主務大臣之ヲ監督ス

第八十三條 主務大臣又ハ地方長官ニ於テ會議ノ表決又ハ整理施行者ノ行爲カ設計書、規約又ハ法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ會議ノ表決ヲ取消シ、組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長ヲ解任シ、評議員若ハ組合會議員ノ改選、事業ノ停止若ハ組合聯合會ノ解散ヲ命シ又ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第八十四條 監督官廳ハ整理施行者ヲシテ耕地整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類、帳簿、出納又ハ工事ヲ検査シ、設計書又ハ規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 監督官廳ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル認可申請ニ對シ申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ

得

第八十六條 第三條ノ規定ニ依ル耕地整理ノ施行若ハ整理施行地區ノ變更ニ異議アル關係人、第四十三條若ハ第四十四條ノ規定ニ違反シテ耕地整理組合ノ地區ニ編入シタル土地ノ所有者若ハ關係人又ハ第三條第二項但書若ハ第五十四條第一項但書ノ規定ニ依リ異議アル債權者ハ各耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可ノ告示、耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示又ハ第三條第四項若ハ第五十四條第二項ノ規定ニ依リ當該事項ノ告示アリタル日ヨリ六十日以内ニ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ訴願アリタル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ裁決アル迄目的タル土地ニ付耕地整理ノ施行ヲ停止スルコトヲ得

第八十六條ノ二 第十三條ノ第三項ノ假貸賃價格ノ決定ニ對シ不服アル整理施行者ハ同條第四項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ訴願スルコトヲ得

第八十七條 第四十四條第三項ノ規定ニ依ル補償金ニ付協議調ハサルカ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條ノ二第一項ノ規定ニ依ル補償金ニ付亦前二項ニ同シ

第八十八條 總會議、總會若ハ組合會ノ招集手續若ハ表決カ違法ナル場合ニ於テ之ニ對シ不服アル者又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約事業者カ整理施行者若ハ組合員ト爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者ハ其ノ表決ノ日ヨリ十四日以内ニ地方長官ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項異議ノ申立アリタル場合ニ於テ監督官廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ利害關係人ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ表決又ハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第八十九條 監督官廳ノ處分ニシテ本法中他ノ條項ニ於テ地方長官ノ告示ヲ必要トスル事項ニ相當スルモノニ付テハ地方長官ハ之ヲ告示スヘシ
整理施行者ハ前項ノ告示アル迄其ノ受ケタル處分ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ監督官廳ノ命令シタル停止處分ノ解除ニ之ヲ準用ス

第四章 罰則

第九十條 耕地整理施行ニ關シ設ケタル標識ヲ移轉、汚損、毀壞又ハ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ組合長組合副長若ハ聯合會會長聯合會副會長本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第九十一條ノ二 組合長、組合副長、聯合會會長、聯合會副會長、臨時代理者、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附則

第九十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治四十二年十月勅令第二百三十號ヲ以テ同月十六日ヨリ施行)

明治三十年法律第三十九號ハ之ヲ廢止ス但シ現ニ土地ノ區劃形狀變更ノ許可ヲ得タル者ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第九十三條 北海道ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第九十四條 本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ付テハ以下數條ニ規定スルモノヲ除クノ外舊法ノ規定ヲ適用ス

第九十五條 本法第一條、第二條、第四條、第八條、第十條、第十七條、第二十五條、第二十七條、第二十八條、第三十條、第三十一條、第三十三條、第三十五條乃至第四十條、第七十九條、第八十二條、第八十四條及第八十五條ノ規定ハ本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ之ヲ適用ス

第九十六條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ得タル者ハ發起人又ハ整理委員ノ申請ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法ニ依ル耕地整理組合ト爲スコトヲ得前項ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲シタルトキハ耕地整理ニ關スル從前ノ設計書又ハ規約ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ反セサル範圍内ニ於テ本法ノ規定ニ依ル設計書又ハ規約ト看做ス

第一項ノ規定ニ依ル耕地整理組合ハ耕地整理ニ關スル參加土地所有者共同ノ權利義務ヲ承繼ス

第九十七條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法第五十條ノ規定ニ依ル耕地整理組合設立ノ申請ト爲スコトヲ得

第九十八條 舊法又ハ明治三十年法律第三十九號ニ依リ爲シタル處分ニ對スル訴願ニ關シテハ各舊法又ハ明治三十年法律三十九號ノ規定ニ依ル

附 則 (大正八年五月法律第四十五號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正八年五月勅令第二百四十五號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行)

本法施行前第十四條及第十四條ノ二ノ規定ニ依ル許可アリタル土地ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附 則 (昭和六年三月法律第二十九號)

第一條 本法ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 昭和九年三月三十一日迄第三十四條第二項、第五十條第一項及第六十五條第二項ノ改正規定ニ依リ難キ事項ニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三條 大正十五年四月一日以後地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ノ賃貸價格ハ稅務署長ハ整理施行者ノ申請ニ依リ其ノ地區内從前ノ土地ニ付土地賃

貸價格調査法ニ依リ調査シタル賃貸價格 (以下調査賃貸價格ト稱ス) ノ合計額ヲ工事完了ノトキノ現況ニ依リ每筆相當ニ配賦シテ之ヲ定ム

命令ノ定ムル期間内ニ前項ノ申請ナキトキハ第三項ノ規定ニ依リ定メタル賃貸價格ヲ以テ前項ノ土地ノ賃貸價格トス

第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲ス迄ハ其ノ土地ノ賃貸價格ハ調査賃貸價格ノ合計額ヲ從前ノ地價ニ依リ算出シタル地租條例ノ地租額ニ按分シテ之ヲ定ム

第一項及前項ノ場合ニ於テ調査賃貸價格ニ百分ノ三・八ヲ乘シタル金額カ從前ノ地價ニ依リ算出シタル地租條例ノ地租額ノ三倍八割ヲ超ユル土地アルトキハ地租條例ノ地租額ノ三倍八割ニ相當スル金額ヲ百分ノ三・八ヲ以テ除シタル金額ヲ以テ其ノ土地ノ調査賃貸價格トス

第十三條第二項但書ノ改正規定ハ第一項及第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條 前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シ又ハ之ヲ定メタル土地ハ耕地整理減租年期ヲ有ス但シ地價配賦後地目變換、地類變換又ハ開墾ヲ爲シタル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ノ三第二項、第三項及第八十六條ノ二ノ改正規定ハ前條第一項又ハ第

三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シ又ハ之ヲ定メタル土地ニ之ヲ準用ス
第五條 附則第三條第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ニ付テハ其ノ配賦ヲ爲シタル年ノ翌年分ヨリ配賦シタル賃貸價格ニ依リ、同條第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ定メタル土地ニ付テハ昭和六年分ヨリ同條第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲ス年ノ分迄其ノ定メタル賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス
 附則第三條第一項ノ規定ニ依リ昭和六年ニ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シタル土地ノ昭和六年分ノ地租ハ附則第三條第三項ノ規定ニ準シ算出シタル賃貸價格ニ依リ之ヲ徵收ス

第六條 大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ノ賃貸價格ハ其ノ土地ノ屬スル郡又ハ市ニ於ケル土地（大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル土地ヲ除ク）ノ地目別ノ大正十五年四月一日現在ノ地價ノ合計額ヲ以テ之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ地目別ニ每筆ノ地價ニ乗シタル額トス
 前項ノ場合ニ於テ其ノ土地ノ屬スル郡又ハ市ニ於ケル當該地目ノ土地ノ大正十五年四月一日現在ノ總地積ノ二分ノ一以上カ其ノ前日迄ニ地價配賦ヲ爲シタルモノナルトキハ同項ノ郡又ハ市ハ之ヲ府縣トス

第一項ノ場合ニ於テ附則第十六條第一項但書ノ規定ニ依ル宅地ノ賃貸價格ハ其ノ土地ノ屬スル府縣ニ於ケル宅地（大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル宅地ヲ除ク）ノ大正十五年四月一日現在ノ地價ノ合計額ヲ以テ之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ其ノ每筆ノ地價ニ乗シタル額トス

第一項又ハ第三項ノ規定ニ依ル賃貸價格カ地租法第九十二條ノ規定ニ依ル賃貸價格ヲ超ユル土地ニ付テハ同條ノ規定ニ依ル賃貸價格ヲ以テ其ノ賃貸價格トス

第七條 前條ノ規定ハ地價配賦後地目變換、地類變換又ハ開墾ヲ爲シタル土地ニ之ヲ適用セス

前條ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ定メタル土地ニ付テハ昭和六年分ヨリ其ノ賃貸價格ニ依リ地租ヲ徵收ス

前條ノ規定ニ依リ賃貸價格ヲ定メタル土地ハ耕地整理減租年期ヲ有ス

第八條 地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ヲ改訂スル場合ニ於テハ前條第三項ノ年期ヲ有スル土地ノ賃貸價格ハ其ノ改訂ニ依リ定メラルヘキ賃貸額ニ相當スル額ニ附則第六條ノ規定ニ依リ定メタル賃貸價格ノ合計額ヲ之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依ル賃貸價格ニ相當スル額ノ合計額ヲ以テ

除シテ得タル比率ヲ乘シタル額ニ之ヲ改訂ス

第九條 第十四條及第十四條ノ二ノ改正規定ハ大正十五年四月一日以後地價配賦

ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十四條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付附則第三條ノ調査賃賃價格ヲ算定スル場合ニ之ヲ準用ス但シ附則第三條第三項ニ規定スル場合ニ於テハ整理施行者ノ申請ヲ要セス

第十條 第十四條及第十四條ノ二ノ改正規定ハ本法施行ノ際未タ地價配賦ヲ爲サ

サル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十四條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付現賃賃價格ヲ算定スル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條ノ三ノ改正規定ハ前項ノ土地ニ付賃賃價格配賦前ニ於テ地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃賃價格ヲ改訂スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 本法施行前耕地整理地價据置年期若ハ其ノ年期延長又ハ耕地整理新開免租年期ノ許可ヲ受ケタル土地ニシテ本法施行ノ際未タ其ノ年期ノ滿了セサルモノハ左ノ區分ニ從ヒ本法ニ依リ減租年期又ハ免租年期ヲ許可セラレタルモノト看做ス

一 耕地整理地價据置年期又ハ其ノ年期延長ハ開墾シタル土地ニ付許可セラレ

タルモノニ在リテハ耕地整理開墾減租年期、地目變換ヲ爲シタル土地ニ付許可セラレタルモノニ在リテハ耕地整理地目變換減租年期トス

二 耕地整理新開免租年期ハ埋立地又ハ干拓地ニ付許可セラレタルモノニ在リテハ耕地整理埋立免租年期、其ノ他ノ土地ニ付許可セラレタルモノニ在リテハ耕地整理開拓免租年期トス
前項ノ年期ハ本法施行前許可セラレタル年期ノ殘年期間ノ經過スル年ノ翌年ニ於テ滿了ス

第十二條 第十五條ノ改正規定ハ大正十五年四月一日以後地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十五條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付附則第三條ノ調査賃賃價格ヲ算定スル場合ニ之ヲ準用ス但シ附則第三條第三項ニ規定スル場合ニ於テハ整理施行者ノ申請ヲ要セス

第十三條 第十五條ノ改正規定ハ本法施行ノ際未タ地價配賦ヲ爲ササル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十五條ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ爲シタルモノニ付現賃賃價格ヲ定ムル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ土地ニ付賃賃價格配賦前ニ於テ地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃賃價格ヲ改訂スル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條ノ三ノ改正規定ハ第一項ノ土地ニ付其ノ年期カ賃貸價格配賦前ニ滿了スル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 第十六條乃至第十六條ノ七ノ改正規定ハ附則第三條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ配賦ヲ爲シ又ハ之ヲ定ムルトキニ於テ整理施行地區内ニ從前ノ第十六條ノ規定ニ依ル利益ヲ有スル土地アル場合ニ之ヲ準用ス但シ附則第三條第三項ニ規定スル場合ニ於テハ整理施行者ノ申請ヲ要セス

第十五條 大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ニシテ從前ノ第十六條ノ規定ニ依ル利益ヲ有スルモノニ付テハ同條ノ殘年期間ノ經過スル年ノ翌年迄ハ附則第六條ノ規定ニ依ル其ノ土地ノ賃貸價格ヨリ第二項ノ規定ニ依リ算出スル額ヲ控除シタル額ヲ以テ其ノ賃貸價格トス
前項ノ規定ニ依リ控除スヘキ額ハ從前ノ第十六條ノ規定ニ依ル利益ニ相當スル地租條例ノ地租額ヲ地租條例第一條ニ規定スル其ノ土地ノ稅率ヲ以テ除シタル額ニ其ノ土地ノ從前ノ地價ヲ以テ附則第六條ノ規定ニ依ル賃貸價格ヲ除シテ得タル比率ヲ乘シタル額トス

第十六條ノ二及第十六條ノ四乃至第十六條ノ七ノ改正規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條

附則第六條ノ規定ハ市ノ區域内ノ宅地及主務大臣ノ指定スル地域内ノ宅地ニハ之ヲ適用セス但シ市ノ區域内ノ宅地ニシテ主務大臣ノ指定スル地域内ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

大正十五年三月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲ササリシ整理施行地區内ノ宅地ニシテ市ノ區域内又ハ主務大臣ノ指定スル地域内ノモノ(市ノ區域内ノ宅地ニシテ主務大臣ノ指定スル地域内ノモノヲ除ク)ハ耕地整理減租年期ヲ有セス

第十七條

第十二條乃至第十六條ノ七ノ改正規定及前條ノ規定ハ第九十四條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニシテ第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且未タ地價配賦ヲ爲ササルモノニ之ヲ準用ス

附則第十二條乃至前條ノ規定ハ第九十四條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニシテ第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且既ニ地價配賦ヲ爲シタルモノニ之ヲ準用ス

第十八條

第十三條第三項ノ改正規定ハ附則第三條第一項、第三項、第六條第一項、第九條、第十條、第十二條、第十四條、第十五條及前條ノ場合ニ之ヲ準用

ス

第十九條 附則第十七條ノ規定ハ第九十二條第二項但書ニ規定スル者ニ之ヲ準用ス

耕地整理法施行規則

(明治四十二年十月十三日 農商務省令第三九號)

改(明治四十三年四月農商務省令第五號、大正元年八月第二號、十一月第二號、四年五月第八號、八年五月第二一號、昭和六年三月農林省令第七號、七月第一九號、十月第二五號)

第一章 總則

第一條 整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ非サレハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ト爲ルコトヲ得ス但シ耕地整理組合設立ノ認可申請者ニ付テハ地方ノ情況ニ依リ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條 耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ整理施行地區所在ノ市町村ニ事務所ヲ設クヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ之ヲ其ノ隣接市町村ニ設クルコトヲ得

事務所ニハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ備ヘ置クヘシ
共同施行者若ハ組合員タルヘキ者又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三條 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ其ノ氏名若ハ名稱、住所、整理施行地區及事務

所ヲ整理施行地區ノ屬スル各市町村長ニ届出ツヘシ

第三條ノ二 主務大臣耕地整理法第三條ノ二ノ規定ニ依ル指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第四條 耕地整理法第七條又ハ第八條ノ規定ニ依ル通知又ハ公告ニハ立入ノ目的、場所及期日ヲ示スヘシ

前項ノ公告ハ立入ルヘキ土地ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ少ナクモ三日間之ヲ揭示スヘシ

第五條 耕地整理法第三十四條第二項、第五十條第一項、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五條第二項又ハ第六十八條第二項ノ規定ニ依リ土地ノ賃貸價格ヲ計算スル場合ニ於テ耕地整理法第十一條ノ國有地以外ノ無租地、同法第十五條第一項若ハ第三項ノ土地又ハ一筆ノ土地ノ一部アルトキハ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ其ノ現況ニ依リ整理施行地區内ノ土地ノ賃貸價格ヲ參酌シテ相當ノ準貸貸價格ヲ附スヘシ埋立ノ免許ヲ受ケタル水面ニ付亦同シ

地租法第九條第一項ノ規定ニ依リ一般ニ賃貸價格ノ改訂アリタルトキハ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ遲滞ナク前項ノ準貸貸價格ヲ改訂スヘシ

耕地整理法第十五條第一項ノ規定ニ依リ賃貸價格ノ修正又ハ設定アリタル土地ニ付テハ其ノ修正賃貸價格又ハ設定賃貸價格(耕地整理法第十五條ノ二ノ規定ニ依リ改訂シタル場合ニ於テハ其ノ改訂シタルモノ)ヲ以テ第一項ノ準貸貸價格ト看做ス

第六條 耕地整理事業カ道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ事業ニ關スルトキハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請書ニ其ノ團體ノ承認ヲ證スル書面、其ノ承認ヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ設計書、規約又ハ整理施行地區變更ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七條 國有地又ハ道府縣ノ公用若ハ公共ノ用ニ供スル土地ヲ整理施行地區ニ編入スル爲耕地整理法又ハ本

則ノ規定ニ依リ認許ヲ申請スル場合ニ於テハ耕地整理施行、耕地整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可申請ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

耕地整理法第四十三條第二項又ハ第四十四條第二項ノ規定ニ依ル認可申請ハ耕地整理組合設立又ハ耕地整理組合地區變更ノ認可申請ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第八條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ但シ規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ第五號、第六號、第九號及第十號ノ事項ハ各區毎ニ之ヲ記載スヘシ

一 整理施行地ノ現況及工事施行ノ目的

二 工事其ノ他ノ事業ノ計畫説明

三 (削除)

四 主要工事ノ仕様

五 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及地積ノ地目別合計ノ豫定

六 工事施行ニ依リテ得ヘキ利益

七 整理施行地及之ニ隣接スル土地、水面ノ現形圖

八 整理豫定圖

九 工事ノ著手及完了ノ豫定時期

十 維持管理ニ要スルモノヲ除ク外工事費其ノ他一切ノ費用及夫役現品ノ豫算

第九條 規約ニハ耕地整理法又ハ本則ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 事業ノ範圍

二 (削除)

三 耕地整理組合又ハ聯合會ニ在リテハ名稱

四 事務所ノ所在地

五 耕地整理組合ニ在リテハ組合長、組合副長及評議員、聯合會ニ在リテハ會長及副會長ノ定數、選任、解任及任期ニ關スル規定、共同施行ニ依ル耕地整理ニシテ役員ヲ置クモノニ在リテハ其ノ名稱、定數、職務權限、選任、解任及任期ニ關スル規定

六 會議ニ關スル規定

七 處務及會計ニ關スル規定

八 補償金評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定

九 費用及夫役現品ノ分賦收入方法並延滞利息又ハ過怠金ニ關スル規定

十 耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於ケル土地使用ニ關スル規定

十一 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分方法

十二 土地及水面ノ價額及等位ノ評定ニ關スル規定

十三 數人共同シテ施行スル耕地整理ニ在リテハ設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ニ關スル規定

十四 豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ權利消滅ノ場合ニ於ケル補償金徵收ノ方法ヲ定メタルトキハ其ノ規定

十五 維持管理ヲ行フモノニ在リテハ其ノ規定

第十條 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ整理施行者ハ工事ニ著手スル前第八條第七號ノ圖面ヲ添附シテ左ノ事項ヲ所轄稅務署長ニ申告スヘシ其ノ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

七號ノ圖面ヲ添附シテ左ノ事項ヲ所轄稅務署長ニ申告スヘシ其ノ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

- 一 整理施行地ノ屬スル郡、市町村並土地ノ字、地番及水面ノ位置、地積
- 二 耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可ノ年月日
- 三 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及地積ノ地目別合計ノ豫定
- 四 工事ノ著手及完了ノ豫定期期

第十條ノ二 整理施行地區内ニ一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アルトキハ前條ノ申告ト共ニ分筆ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條ノ三 耕地整理法第十五條第一項ノ規定ニ依ル貸賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ハ工事著手前申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ耕地整理法第十五條第一項ノ土地ノ字、地番、地目（土地臺帳ノ地目カ土地ノ現況ト異ナルトキハ土地臺帳ノ地目及現況ニ依ル地目）、地積及修正賃賃價格又ハ設定賃賃價格ノ見積額ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第十條ノ四 整理施行者ハ工事著手前整理施行地區内ノ土地及水面ノ等位ヲ評定スヘシ

第十一條 工事ニ著手シ又ハ工事完了シタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官及所轄稅務署長ニ届出ツヘシ

第十二條 規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ各區毎ニ第十條乃至第十條ノ三及前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條ノ二 耕地整理法第十四條第一項、第十四條ノ二及第十五條第三項ノ規定ニ依ル賃賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ハ工事完了ノ届出ト共ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ從前ノ土地ノ字、地番、地目及地積、之ニ對スル工事完了後ノ地目及地積並ニ修正賃賃價格又ハ設定賃賃價格ノ見積額ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第十二條ノ三 耕地整理開墾減租年期、耕地整理地目變換減租年期、耕地整理開拓免租年期又ハ耕地整理埋立免租年期ノ許可ノ申請ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後三十日以内ニ、耕地整理開拓免租年期又ハ耕地整理埋立免租年期延長ノ許可ノ申請ハ年期ノ滿了スル年ノ六月三十日迄ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ耕地整理開拓免租年期若ハ耕地整理埋立免租年期ノ許可又ハ其ノ年期延長ノ許可ノ申請書ニハ其ノ土地ノ字、地番、地目及地積並ニ土地所有者、氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第十三條 整理施行者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後遲滞ナク換地説明書、整理確定圖及賃賃價格配賦案ヲ作成スヘシ

賃賃價格配賦案ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行地區内ノ土地ノ現賃賃價格、合計額及其ノ算出ノ基礎
- 二 豫定地番、地目、地積及配賦賃賃價格
- 三 耕地整理法第十三條ノ三第三項ノ規定ニ依ル假賃賃價格ノ見積額
- 四 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ因ル處分ニ依リ所有者タルヘキ者ノ氏名又ハ名稱及住所

前項第二號乃至第四號ノ事項ハ工事完了後ノ土地ノ各筆ニ付テ之ヲ記載スヘシ

賃賃價格配賦案ハ耕地整理組合ニ在リテハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會會議ニ於テ、共同施行ニ依ル耕地整理ニ在リテハ規約ニ定ムル會議ニ於テ其ノ承認ヲ經ヘシ

第十四條 地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者カ整理施行者又ハ組合員タル場合ニ於テ一人施行者又ハ共同施行者耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可ヲ申請セムトスルトキハ七日前ニ、耕地整理組合同條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會議ヲ召集セムトスルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ土地所有者ニ通知スヘシ

第十五條 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ換地説明書、整理確定圖及耕地整理組合ニ在リテハ總會又ハ總會議ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十六條 耕地整理法第十三條第二項ノ規定ニ依ル貸賃價格配賦ノ申請ハ同法第三十條第三項ノ認可アリタル後遲滞ナク申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ貸賃價格配賦案、耕地整理法第三十條第三項ノ認可書ノ謄本、換地説明書及整理確定圖ヲ添附スヘシ

耕地整理法第十三條ノ第三項ノ規定ニ依ル假貸賃價格決定ノ申請ハ第一項ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第十七條ノ二 耕地整理法第十三條ノ第三項又ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依リ算出シタル比率ニ千分ノ一未滿ノ端數アル場合ニ於テハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第十七條 耕地整理法第十六條ノ規定ニ依ル配當ノ申請ハ貸賃價格ノ配賦アリタル後六十日以内ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ配當ヲ受クヘキ土地ノ字及地番並ニ之ニ配當スヘキ金額、年期ノ種別及其殘年期間ヲ記載シタル配當案ヲ添附スヘシ

第十七條ノ二 左ノ事項ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外耕地整理組合ニ在リテハ評議員會ニ於テ、共同施行ニ依ル耕地整理ニ在リテハ規約ニ定ムル會議ニ於テ其ノ承認ヲ經ヘシ

一 第十條ノ三第二項及第十二條ノ二第二項ノ修正貸賃價格又ハ設定貸賃價格ノ見積額

二 前條第二項ノ配當案

第十七條ノ三 所轄稅務署長耕地整理法ノ規定ニ依リ貸賃價格ノ配賦、修正若ハ設定、配當又ハ年期若ハ年期延長ノ許可ヲ爲シタルトキハ申請者又ハ整理施行者ニ之ヲ通知スヘシ

第十七條ノ四 耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ依ル認可ノ通知ハ通知書ニ左ニ掲ケル書類ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ認可ノ變更又ハ更正アリタル場合亦同シ但シ其ノ添附書類ハ變更又ハ更正アリタル部分ニ關スルモノヲ以テ足ル

一 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本

二 整理施行者ノ氏名若ハ名稱、住所ヲ記載シタル書面

三 換地説明書

四 整理確定圖

第十七條ノ五 前條第三號及第四號ノ書類ハ耕地整理地區カ二以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ各登記所ノ管轄ニ屬スル地域毎ニ分割シタルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ交付シタルモノアルトキハ其ノ牽聯スル從前ノ土地及換地ハ換地説明書ノ分割シタルモノニ之ヲ表示スヘシ

第十八條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニ付登記ヲ爲シタルトキハ登記權利者ハ遲滞ナク整理施行者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十九條 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル後同條第四項ノ告示前ニ於テ從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理

理施行者ハ遲滞ナク同法第三十三條ノ指定ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アル場合ニ於テ耕地整理法第三十三條ノ指定ヲ爲ササリシモノアルトキ亦前項ニ同シ

耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於テ換地ノ一部ニ該當スル從前ノ土地ニ付所有權移轉ノ登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク同法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條ノ二 前條ノ規定ハ耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ耕地整理法第三十條第四項ノ告示後登記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 共同施行又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ニ依ル耕地整理ノ事業年度ハ一箇年トス
前項ノ事業年度ハ九月一日ヨリ翌年八月三十一日迄トス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度前經費ノ收支豫算ヲ定ムヘシ但シ初年度ニ於テハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合若ハ聯合會設立ノ認可後遲滞ナク之ヲ爲スヘシ

第二十二條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度經過後遲滞ナク當該年度ノ事業報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二十三條 耕地整理法第三十五條ノ規定ニ依ル公告ハ整理施行地區ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ三日間送附スヘキ書類ノ要領ヲ揭示スヘシ

第二十四條 耕地整理法第三十八條第一項ノ規定ニ依リ耕地整理ノ事業ヲ市町村又ハ水利組合ニ引續ク場合ニ於テ其ノ引續完了シタルトキハ共同施行者又ハ耕地整理組合長ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

シ

第二十五條 耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレタルトキ又ハ耕地整理組合ノ清算終了シタルトキハ整理施行者又ハ組合長ハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ整理施行地區ノ屬スル市町村長ニ引渡スヘシ其ノ整理施行地區ニ以上ノ市町村ニ涉ルトキハ整理施行者又ハ組合長ノ申請ニ依リ地方長官ニ於テ其ノ書類及帳簿ヲ引渡スヘキ市町村長ヲ指定スヘシ

耕地整理法第五十三條第一項第五號ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

耕地整理組合聯合會ノ清算終了シタルトキハ會長ハ聯合會ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ其ノ所屬組合ノ一ニ引渡スヘシ

第二十六條 市町村長前條第一項ノ規定ニ依リ書類及帳簿ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ左ニ掲クルモノニ付テハ十年間、其ノ他ノモノニ付テハ五年間之ヲ保存スヘシ

一 耕地整理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル認可、認許又ハ同意ヲ證スル書面

二 設計書

三 規約

四 土地原簿

五 權利者名簿又ハ組合員名簿

六 議事録

七 換地説明書

八 整理確定圖

九 事業報告書

十 收支決算書

前項ノ規定ハ明治四十二年勅令第二百三十一號第三條ノ規定ニ依リ市町村長又ハ水利組合管理者カ耕地整理ニ關スル書類及帳簿ノ引繼ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條ノ二

耕地整理法第八十七條ノ規定ニ依ル申請書ニハ申請ノ目的及事由ヲ記載シ協議調ハサルトキハ其ノ顛末書ヲ、協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ添附スヘシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ協議ノ相手方ニ交付シ且交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘキ旨ヲ附記スヘシ

協議ノ相手方前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ地方長官ハ申請書ノミニ依リテ決定スルコトヲ得申請書ノ交付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

第二十七條

市制第六條ノ市ニ於テハ第六條、第二十四條及第三十八條ノ市ニ關スル規定ハ區ニモ之ヲ適用ス

市制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ニ於テハ本則中市長ニ關スル規定ハ區長ニモ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニモ之ヲ適用ス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本則中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキモノニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第二十七條ノ二

整理施行地區カ數府縣ニ渉ル場合ニ於テハ本則中地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二章 一人施行及共同施行

第二十八條 耕地整理法第三條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業ノ範圍

二 第三十二條第一號乃至第三號ノ事項

三 整理施行者ノ員數

四 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者、豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別、地目別ノ地積及賃貸價格若ハ準賃貸價格

五 耕地整理法第四十三條ノ土地アルトキハ其ノ表示

六 整理施行地區ヨリ特ニ除斥シタル土地アルトキハ其ノ事由前項ノ申請書ニハ左ニ掲ケル書面ヲ添附スヘシ

一 耕地整理法第四十三條第一項第一號ノ土地ニシテ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者カ其ノ土地ニ付整理施行者タル場合ニ非サル土地、第二號及第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官應又ハ公共團體ノ認許アリタルコトヲ證スル書面

二 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地アルトキハ其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

三 埋立ノ免許ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ免許ヲ證スル書面

第二十九條 耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ付テハ國ハ之ヲ整理施行者ト看做サス

第三十條 共同施行者ハ耕地整理ノ施行ニ關シ書類又ハ通知ノ授受ノ爲代表者一人ヲ定メ耕地整理施行ノ認可申請ト同時ニ其ノ氏名、住所ヲ地方長官ニ届出テ且之ヲ公告スヘシ代表者又ハ其ノ氏名、住所ニ變更アリタル場合亦同シ

第三十一條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ハ耕地整理施行ノ認可アリタル後遲滞ナク土地原簿

及權利者名簿ヲ調製スヘシ

第三十二條 土地原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行地ノ總地積及總貸賃價格
- 二 整理施行地ノ筆數、地積及貸賃價格ノ地目別合計
- 三 土地各筆ノ字、地番及地目並水面ノ位置

四 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地、豫約事業ヲ爲ス土地、工作物アル土地又ハ所有權以外ノ登記シタル權利ノ目的タル土地アルトキハ其ノ表示

第三十三條 權利者名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地ノ字、地番、地目、地積、貸賃價格及權利ノ表示
- 二 整理施行者タル埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ權利ノ目的タル水面ノ位置及地積

三 土地又ハ水面ノ價額若ハ等位ヲ評定シ、地積ヲ實測シ又ハ準貸賃價格ヲ附シタルトキハ其ノ價格、等位、地積又ハ準貸賃價格

四 關係人又ハ整理施行地ニ存スル建物ニ付先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ノ氏名若ハ名稱、住所及登記ノ要領(抵當證券ノ所持人ニ付テハ抵當證券ヲ作成シタル登記所名、抵當證券ノ番號及登記ノ要領)

五 整理施行者タル地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ノ權利ノ目的タル土地ノ所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及土地ノ表示

六 工作物所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及工作物ノ表示

七 耕地整理法第二十五條第三項又ハ第二十五條ノ二第二項ノ訴訟當事者アルトキハ其ノ氏名若ハ名稱、住所及訴訟ノ要領

第三十四條 土地原簿又ハ權利者名簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ更正スヘシ

第三十五條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ノ認可申請書ニハ其ノ事由ヲ記載シ之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

事業ヲ廢止シ、債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更シ又ハ整理施行地區ヲ減少セムトスル場合ニ於テ借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

整理施行地區ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラルヘキ土地又ハ水面ノ整理施行者タルヘキ者又ハ整理施行者タル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ變更カ豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ第二十八條ノ規定ハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラルヘキ土地又ハ水面ニ付之ヲ準用ス

第三十六條 一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲サムトスルトキハ認可申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ協議一致ヲ證スル書面、規約、數人共同ノ施行ト爲ス爲定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面

及第二十八條第一項第三號、第四號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十七條 數人共同シテ施行スル耕地整理ニシテ整理施行者カ一人ト爲リタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十八條 第二十二條ノ規定ハ耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレ又ハ之ヲ市町村若ハ水利組合ニ引繼キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 耕地整理組合

第三十九條 耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ土地原簿及組合員名簿ヲ調製スヘシ

第四十條 土地原簿ニハ第三十二條ニ掲クル事項ノ外耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示ヲ爲スヘシ

第四十一條 第三十三條ノ規定ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十二條 第三十四條ノ規定ハ耕地整理組合ノ土地原簿又ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十三條 耕地整理法第五十條ノ條件ヲ算定スル場合ニ於テハ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ハ之ヲ算入セス

第四十四條 耕地整理組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 第二十八條第一項第二號、第五號、第六號ノ事項及第三號、第四號ニ準スル事項

二 耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示
前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

一 組合員タルヘキ者ニシテ組合設立ニ同意シタル者ノ總數及其ノ土地、水面ノ總地積及總貸賃價格並其ノ同意ヲ證スル書面

二 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許又ハ同意アリタルコトヲ證スル書面

三 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者、關係人及其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面又ハ同法第四十三條第二項ノ認可アリタルコトヲ證スル書面

四 特別ノ價值又ハ用途ヲ有スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者及關係人ノ同意ヲ證スル書面又

ハ耕地整理法第四十四條第二項ノ認可アリタルコトヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得サルトキハ其ノ價值又ハ用途、土地所有者及關係人ノ氏名若ハ名稱並同意セサル事由及之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサル事由ヲ記載シタル書面

五 組合員タルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約事業者アルトキハ土地所有者及貸賃人ノ同意ヲ證スル書面

六 埋立ノ免許ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ免許ヲ證スル書面

第四十五條 組合設立ノ認可アリタルトキハ申請者ハ遲滞ナク總會ヲ招集スヘシ

前項ノ總會ニ於テハ組合長、組合副長、評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ評議員ノ選舉並組合設立ニ關スル費用其ノ他必要ナル事項ニ付表決ヲ爲スヘシ

第四十六條 組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ノ認可申請書ニハ總會、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

前項選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附シ特別ノ事情ニ依リ組合員ニ非サル者ヲ選任シタル場合ニ於テハ尙其ノ事情ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第四十七條 組合長ノ就任アリタルトキハ組合設立ノ認可申請者ハ遲滞ナク組合ニ關スル一切ノ事務及書類、帳簿ヲ之ニ引繼クヘシ

第四十八條 耕地整理法第四十七條ノ規定ニ依ル代表者アルトキハ組合長ハ其ノ氏名、住所若ハ居所ヲ組合員名簿ニ記載スヘシ

第四十九條 組合會ハ百人以上ノ組合員ヲ有スル組合ニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

組合會ヲ設ケムトスルトキハ規約中ニ議員ノ定數並任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第五十條 組合會議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

第五十一條 組合會ニ於テハ第四十五條第二項ノ表決ヲ爲シ又ハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十二條 組合會議員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

第五十三條 組合會ニ於テ耕地整理法第五十四條第一項又ハ第六十一條第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ組合會議員總數ノ過半數ノ同意アルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第五十四條 組合會議員ハ組合會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十五條 總會又ハ組合會ハ少クモ毎事業年度一回之ヲ開クヘシ

第五十六條 耕地整理法第五十五條第一項ノ總會議ニ於テハ編入區域ノ土地所有者ハ其ノ編入區域ノ土地所有者ニ非サル者ヲ以テ代理人ト爲スコトヲ得ス

第五十七條 代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合設立ノ認可申請者又ハ組合長ニ差出スヘシ

第五十八條 評議員ハ三人以上トス

評議員ハ組合長又ハ組合副長ト相兼ヌルコトヲ得ス

第五十九條 評議員會ハ組合長之ヲ招集ス

評議員總數ノ五分一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ

組合長カ前項招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル評議員ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ

招集ヲ爲スコトヲ得

評議員會ノ議事ハ評議員ノ半數以上出席シ其ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第六十條 組合設立ノ認可申請者、組合長、組合副長、評議員及組合會議員ハ規約ニ別段ノ規定アルニ非

サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第六十條ノ二 組合ハ耕地整理法第七十三條第四項ノ規定ニ依リ指定セラレタル臨時代理者ニ給料及旅費等ヲ支給スヘシ但シ臨時代理者官吏ナルトキハ給料ヲ支給スルコトヲ要セス

第六十一條 總會、總會議、組合會及評議員會ノ議長ハ組合長之ニ當ル但シ第四十五條ノ總會ニ在リテハ認可申請者ノ一人、耕地整理法第五十五條ノ總會議ニ在リテハ編入區域ノ土地所有者ノ一人之ニ當ル

評議員會ノ議事カ業務又ハ財産ノ狀況ノ監査ニ關スルトキハ評議員ノ一人其ノ議長ト爲ル第五十九條第三

項ニ依ル評議員會ニ付亦同シ

第六十二條 總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議長ハ會議ノ議事録ヲ作リテ左ノ事項ヲ記載シ之ニ議長

及出席シタル組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員二人以上記名捺印スヘシ

一 開會ノ日時及場所

二 組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員ノ現在總數及出席シタル者ノ氏名若ハ名稱

三 議事ノ要領

四 表決シタル事項

五 賛否ノ數

耕地整理法第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要スル表決ヲ爲ス總會又ハ總會議ノ議事録ニハ前項ニ記載シタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 組合ノ地區若ハ編入區域内ノ土地ノ所有者總數、總地積及總貸賃價格
 二 賛成者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ總地積及總貸賃價格
 總會又ハ總會議ノ表決ニ付規約ノ規定ニ依リ特別ノ條件ヲ具備スルコトヲ必要トスル場合ニ於テ前二項ニ依ル記載ニシテ其ノ條件ヲ具備シタルコトヲ明カニスルコト能ハサルトキハ之ヲ示スヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十三條 組合長ハ耕地整理法第五十五條ノ規定ニ依ル總會議ヲ開カムトスルトキハ招集ノ通知ヲ發スル日ヨリ少ナクモ十日前三日間編入區域ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ編入セムトスル區域及總會議ノ日時、場所及目的ヲ揭示スヘシ

第六十四條 耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依ル認可ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

- 一 耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスル組合員ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 前號ノ組合員ノ滯納金額及納期其ノ他滯納金額ノ算出ノ基礎タルヘキ事項
- 三 市町村カ耕地整理法第七十九條第一項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セサリシ事實ヲ示スニ足ルヘキ事項

第六十四條ノ二 地方長官耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク同條第一項ノ市町村ニ之ヲ通知スヘシ

第六十四條ノ三 組合長耕地整理法第七十九條第三項ノ規定ニ依ル處分ヲ結了シタルトキハ遲滯ナク其ノ經過ヲ記載シタル報告書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第六十五條 耕地整理法第五十四條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、

合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ノ事由及之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シ總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更セムトスル場合ニ於テ組合債アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面、組合ヲ解散セムトスル場合ニ於テハ尙事業報告書及收支決算書ヲ添附スヘシ

第四十四條ノ規定ハ第二項第一號ヲ除クノ外地區變更ノ認可申請ノ場合ニ於テ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除外セラルヘキ土地ニ付之ヲ準用ス但シ其ノ變更カ豫約事業者又ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ總會議ニ代ヘタル場合ニ於テハ同意シタル土地所有者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ地積、貸賃價格ヲ記載シタル書面並其ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第六十五條ノ二 土地所有者ニ非スシテ組合員タルヘキ者ハ第五十六條、第六十一條、第六十二條及前條ノ適用ニ付テハ之ヲ編入區域ノ土地ノ所有者ト看做ス

第六十六條 組合カ耕地整理法第五十三條第一號、第二號、第七號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ組合長又ハ最終ニ組合員タリシ者ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ添附シテ其ノ旨ヲ遲滯ナク地方長官ニ届出ツヘシ

第六十七條 組合カ耕地整理法第五十三條第一號第四號乃至第六號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ遲滯ナク組合長ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第六十八條 組合カ合併シタルトキハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ハ合併後存續シ又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第六十九條 清算終了シタルトキハ組合長ハ遲滞ナク清算ニ關スル報告書ヲ作り之ヲ總組合員ニ報告シ且之ヲ添附シテ清算終了ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四章 耕地整理組合聯合會

第六十九條ノ二 耕地整理組合聯合會ヲ設ケムトスルトキハ各組合連署ヲ以テ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ各組合ノ聯合會設立ニ關スル議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十九條ノ三 第四十六條、第四十七條、第六十條、第六十條ノ二、第六十四條乃至第六十四條ノ三、第六十五條第一項、第二項及第六十六條乃至第六十九條ノ規定ハ耕地整理組合聯合會ニ之ヲ準用ス

附則

第七十條 本則ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(明治四十二年十月十六日ヨリ施行)

明治三十三年農商務省令第十四號ハ之ヲ廢止ス

第七十一條 耕地整理法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タルモノニ付テハ本則第四條、第十條、第十一條、第十二條ノ二、第十七條ノ二、第十七條ノ三、第十九條乃至第二十三條、第二十七條、第三十八條及第六十四條乃至第六十四條ノ三ノ規定ヲ準用スルノ外舊則ノ規定ヲ適用ス但シ舊則第三十一條中農商務大臣トアルハ地方長官トス

第七十二條 耕地整理法施行前耕地整理ノ發起ノ認可ヲ得タル者ヲ耕地整理組合ト爲サムトスルトキハ發起人又ハ整理委員ハ總會ヲ招集シテ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ並組合長、組合副長、評議員ヲ置クモノニ在リテハ評議員ヲ選舉シ總會ノ議事録ヲ添附シテ大正二年十月十五日迄ニ耕地整理組合ト爲スノ認可ヲ地方長官ニ申請スヘシ

前項ノ總會ニハ耕地整理法及本則ノ規定ヲ適用ス

耕地整理法第七十三條第三項ノ認可申請ハ第一項ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ本則第四十六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第七十三條 前條ノ場合ニ於テ百人以上ノ參加土地所有者アルトキハ發起人又ハ整理委員ハ總代選舉規程ヲ作りテ地方長官ノ認可ヲ得タル後其ノ選舉規程ニ依リ選舉シタル總代ヲ以テ組織スル總代會ヲ招集シ總會ニ代フルコトヲ得

前項ノ總代會ニハ耕地整理法第六十六條、第六十八條第一項並本則第五十二條、第五十三條及第六十二條第一項ノ規定ヲ準用ス

第七十四條 前二條ノ總會又ハ總代會ニ在リテハ第七十二條ニ記載シタル事項ノ外必要ナル事項ヲ表決スルコトヲ得

第七十五條 耕地整理法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサルモノニシテ耕地整理組合設立ノ申請ト爲サムトスルトキハ發起人ハ參加土地所有者ノ總會議ヲ招集シ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ總會議ノ議事録ヲ添附シ明治四十三年四月十五日迄ニ耕地整理組合設立ノ申請ト爲ス旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第七十二條第二項及第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條 第七十二條第一項ノ認可申請又ハ前條ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ耕地整理法第四十三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スコトヲ要スルモノニ付テハ本則第七條及第四十四條ノ規定ヲ準用ス

附則(昭和六年農林省令第七號)

第一條 本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 耕地整理法第三十四條第二項、第五十條第一項、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五條第二項又ハ第六十八條第二項ノ規定ニ依ル土地ノ貸賃價格ノ計算ニ付テハ昭和九年三月三十一日迄從前ノ地價又ハ從前ノ第五條若ハ附則第三條ノ規定ニ依リ附シタル假地價ニ依ルコトヲ得

第三條 前條ノ場合ニ於テ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

一 第五條ノ改正規定ニ依リ準賃賃價格ヲ附スヘキ場合ニ於テハ從前ノ第五條ノ規定ニ依リ假地價ヲ附スルコト

二 土地ノ異動ニ因リ本則施行後賃賃價格ノ修正又ハ設定アリタル土地ニ付テハ修正又ハ設定ノ都度前號ノ規定ニ準シ假地價ヲ附スルコト

三 第二十八條第一項第四號、第三十二條第一號、第二號、第三十三條第一號、第三號、第四十條、第四十一條、第四十四條第一項第一號、同條第二項第一號、第六十二條第二項又ハ第六十五條第四項ノ規定ニ依リ土地ノ賃賃價格又ハ準賃賃價格ヲ記載スヘキ場合ニ於テハ從前ノ地價又ハ從前ノ第五條若ハ前二號ノ規定ニ依リ附シタル假地價ヲ記載スルコト

第四條 昭和六年法律第二十九號附則第三條第一項ノ規定ニ依ル賃賃價格配賦ノ申請ハ昭和九年三月三十一日迄ニ申請書及賃賃價格配賦案ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第十三條第二項、第三項及第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ賃賃價格配賦案ニ之ヲ準用ス
昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項ノ規定ニ依ル假賃賃價格決定ノ申請ハ第一項ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第五條 昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項ノ規定ニ依ル假賃賃價格決定ノ申請書ニハ前條第三項ノ規定ニ依リ申請ヲ爲ス場合ヲ除クノ外整理施行地區内ノ土地ノ字、地番、地目、地積及假賃賃價格ノ見積額ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ假賃賃價格ノ見積額ニ之ヲ準用ス

第六條 昭和十年三月三十一日迄ニ昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項ノ規定ニ依リ假賃賃價格決定ノ申請ナキトキハ所轄稅務署長ハ職權ヲ以テ假賃賃價格ヲ定ムヘシ

第七條 昭和六年法律第二十九號附則第九條又ハ第十條第一項ノ規定ニ依ル賃賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ハ昭和八年三月三十一日迄ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第十二條ノ二第二項及第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 從前ノ第十五條ノ二ノ規定ニ依ル申請ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノハ左ノ區分ニ從ヒ之ヲ第十二條ノ三ノ改正規定ニ依ル申請ト看做ス

一 耕地整理地價据置年期ノ申請ハ開墾シタル土地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理開墾減租年期ノ申請、地目變換ヲ爲シタル土地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理地目變換減租年期ノ申請トス

二 耕地整理新開免租年期ノ申請ハ埋立地又ハ干拓地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理埋立免租年期ノ申請、其ノ他ノ土地ニ付爲シタルモノニ在リテハ耕地整理開拓免租年期ノ申請トス

第九條 昭和六年法律第二十九號附則第十二條又ハ第十三條第一項ノ規定ニ依ル賃賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ハ昭和八年三月三十一日迄ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

耕地整理法第十五條第一項ノ土地ニ付前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第十條ノ三第二項及第十七條ノ二ノ改正規定ヲ、耕地整理法第十五條第三項ノ土地ニ付前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第十二條ノ二第二項及

第十七條ノ二ノ改正規定ヲ準用ス

第十條 昭和六年法律第二十九號附則第十四條ノ規定ニ依ル配當ノ申請ハ同法附則第三條ノ規定ニ依ル貸賃價格ノ配賦アリタル後六十日以内ニ申請書ヲ所轄稅務署長ニ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第十七條第二項及第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 從前ノ第十三條第二項ノ規定ニ依リ地價配賦案ノ承認ヲ得未タ地價配賦ヲ爲ササル整理施行地區

内ノ土地ニ付テハ整理施行者ハ第十三條第一項及第三項ノ改正規定ニ準シ貸賃價格配賦案ヲ作成スヘシ

第十七條ノ二ノ改正規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 第十六條ノ二ノ改正規定ハ昭和六年法律第二十九號附則第四條第二項、第六條第一項若ハ第三

項、第八條、第十四條又ハ第十五條第二項若ハ第三項ノ規定ニ依リ比率ヲ算出スル場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 主務大臣昭和六年法律第二十九號附則第十六條ノ規定ニ依リ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第十四條 第五條及第十條乃至第十七條ノ二ノ改正規定並ニ附則第九條、第十一條及前條ノ規定ハ第七十一

條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得

タル者ニシテ耕地整理法第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且未タ地價配賦ヲ爲ササルモノニ

之ヲ準用ス

前項ノ規定ニ該當スル整理施行地區ニシテ從前ノ規定ニ依リ工事完了ノ届出ヲ爲シタルモノニ耕地整理法

第十四條第一項、第十四條ノ二又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ貸賃價格ノ修正又ハ設定ノ申請ヲ爲スヘ

キ土地アル場合ニ於テハ整理施行者ハ昭和八年三月三十一日迄ニ第十二條ノ二ノ改正規定ニ依リ申請書ヲ

所轄稅務署長ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十二條ノ三ノ改正規定ニ依ル年期許可ノ申請ハ其ノ貸賃價

格ノ修正又ハ設定ノ申請ヲ爲シタル後三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

第十五條 第五條ノ改正規定並ニ附則第四條乃至第六條、第九條、第十條、第十二條及第十三條ノ規定ハ第

七十一條ノ規定ニ拘ラス明治三十二年法律第八十二號耕地整理法ニ依リ耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認

可ヲ得タル者ニシテ耕地整理法第九十六條ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲ラス且既ニ地價配賦ヲ爲シタル

モノニ之ヲ準用ス

第十六條 附則第三條ノ規定ハ昭和九年三月三十一日迄前二條ノ規定ニ該當スル耕地整理ニ關シ之ヲ準用ス

第十七條 第十七條ノ三ノ改正規定ハ昭和六年法律第二十九號附則第三條第一項、第九條、第十條第一項、

第十二條、第十三條第一項、第十四條及第十七條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ之ヲ準用ス

第十八條 前四條ノ規定ハ耕地整理法第九十二條第二項但書ニ規定スル者ニ之ヲ準用ス

開墾助成法

(大正八年四月五日法律第四二號)

改(昭和四年三月法律第三號)

第一條 土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ左ニ掲クル事業ヲ行フ者ニ對シ主務大臣ハ助成金ヲ交付スルコトヲ得

- 一 開墾、湖海ノ埋立若ハ干拓又ハ開田
- 二 前號ニ掲クル事業ニ伴フ灌漑排水ニ關スル施設又ハ道路堤塘ノ新設若ハ變更

第二條 助成金ノ額ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業ノ爲支出シタル金額ノ十分ノ四以內トス

第三條 主務大臣ハ助成金ノ交付ヲ受クル者ニ對シ助成金交付ノ土地、事業又ハ事業ニ依リテ生シタル設備ニ關シ報告ヲ命シ、當該官吏若ハ吏員ヲシテ書類會計物件若ハ工事ヲ検査セシメ又ハ監督上必要ナル命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ主務大臣ハ助成金ノ交付ヲ受クル者ニ對シ助成金ノ交付ヲ停止シ若ハ廢止シ又ハ助成金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命スルコトヲ得

一 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

二 事業ノ全部又ハ一部ノ停止又ハ廢止アリタルトキ

三 助成金交付ノ土地又ハ事業ニ依リテ生シタル設備ヲ農業上ニ利用セサルニ至リタルトキ

四 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

五 詐欺ノ手段ヲ以テ助成金ノ交付ヲ受ケタルトキ

第五條 私人ノ助成金償還ニ付テハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第六條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正八年五月勅令第二百四十六號ヲ以テ同年六月一日ヨリ施行)

本法ハ北海道ニ之ヲ施行セス

附則

(昭和四年法律第三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和四年三月勅令第二十七號ヲ以テ同年四月一日ヨリ施行)

本法施行前助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル但シ主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日以後ニ於テ施行スル事業ニ對シ從前ノ例ニ依ル助成金ノ交付ヲ廢止シ本法ニ依ル助成金ヲ交付スルコトヲ得

開墾助成法施行規則

(大正八年五月二十七日 農商務省令第三二號)

正改(大正十一年三月二十九日 農商務省令第六號) 昭和四年四月農林省令第八號

第一條 助成金ヲ交付スヘキ事業ハ開墾助成法第一條第一號ノ事業ニ在リテハ其ノ施行面積五町歩以上ノモノ、同法第一條第二號ノ事業ニ在リテハ同法第一條第一號ノ事業ニシテ施行面積五町歩以上ノモノニ限ル

第二條 助成金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ様式第一號ニ依ル願書ニ左ニ掲クル書面ヲ添附シ農林大臣ニ差出スヘシ

- 一 様式第二號ニ依ル設計書
- 二 事業年度ヲ定メタルモノニ在リテハ事業年度ヲ記載シタル書面
- 三 各年度又ハ各年ノ收支計算見込書
- 四 助成金交付ノ事業ニ付認可、許可、議決又ハ同意ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ證スル書面
- 五 數人共同シテ事業ヲ行フ場合ニ在リテハ事業施行ニ關スル契約書ノ謄本
- 六 定款、寄附行爲又ハ規約

數人共同シテ事業ヲ行フ場合ニ在リテハ代表者ヲ定メ其ノ正當ナルコトヲ證スル書面ヲ前項ノ願書ト共ニ差出スヘシ

第三條 農林大臣前條ノ願書ヲ受理シ審査ノ上助成金ヲ交付スヘキモノト認メタルトキハ助成金交付ノ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

第四條 助成金ノ交付ヲ受クル者第二條第一號乃至第三號ノ事項又ハ第五號ノ契約及第六號ノ定款、寄附行爲若ハ規約中事業施行ニ關係アル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ其ノ變更ニ付認可、許可、議決又ハ同意ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ助成金ヲ受クル事業ノ停止、廢止又ハ法人ノ解散ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第五條 助成金ヲ請求セムトスル者ハ事業年度ヲ定メタルモノニ在リテハ其ノ事業年度終了後二月内ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ毎年二月末日迄ニ前年度又ハ前年ノ事業成績書及收支決算書ヲ添へ農林大臣ニ請求書ヲ差出スヘシ

第六條 (削除)

第七條 開墾助成法第二條ノ規定ニ依ル金額ハ第五條ノ收支決算書ニ基キ事業ノ爲支出シタル一切ノ金額中ヨリ素地ノ買入代金及借入金ノ利息ヲ控除シタルモノニ付農林大臣之ヲ査定ス

第八條 助成金ノ額ハ前條ノ規定ニ依リ決定シタル金額ノ十分ノ四トシ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外毎年之ヲ交付ス

第九條 助成金交付ノ事業ヲ讓渡セムトスルトキハ様式第三號ニ依ル願書ヲ差出シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ相續又ハ法人ノ合併ニ依リ助成金交付ノ事業ヲ承繼シタル者カ引續キ助成金ノ交付ヲ受ケムトスル場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ承繼人タルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第十條 助成金ノ交付ヲ受クル者工事ヲ開始シ又ハ終了シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ツヘシ

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリタルトキハ助成金ノ交付ヲ受クル者ハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ツヘシ

- 一 氏名又ハ名稱ノ變更
- 二 住所又ハ事務所ノ變更
- 三 第二條第二項ノ代表者ノ變更
- 四 死亡又ハ行衛不明
- 五 解散又ハ破産

前項第四號ノ場合ニ於テハ戸主又ハ家族、第五號ノ場合ニ於テハ清算人又ハ破産管財人ヨリ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 助成金ノ交付ヲ受クル者ハ事業施行上便宜ノ場所ニ事務所ヲ設ケ事業ノ狀況、費用ノ收支其ノ他事業ニ關スル事項ヲ明ニスヘキ書類及帳簿ヲ備フヘシ

第十三條 開墾助成法又ハ本則ニ依リ農林大臣ニ差出スヘキ書類ハ事業施行地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十四條 開墾助成法第三條ノ規定ニ依ル農林大臣ノ職權ハ事業施行地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ委任ス但シ必要アルトキハ農林大臣ニ於テ之ヲ行フコトアルヘシ

第十五條 事業施行地カ數府縣ニ渉ル場合ニ於テハ農林大臣ハ第十三條及第十四條ノ地方長官ヲ關係地方長

官中ヨリ指定スルコトアルヘシ

附 則

本則ハ開墾助成法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正八年六月一日ヨリ施行)

開墾助成法施行前開始シタル事業ニ付テハ開墾助成法施行ノ日以後ニ於テ施行スル事業ニ對シ助成金ヲ交付スルコトアルヘシ但シ大正八年十一月末日迄ニ出願シタルモノニ限ル

附 則

(大正十一年農林省令第六號)

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ開墾助成法施行規則第七條ニ依ル總金額ノ決定ニ關シ大正十年度迄分ノ府縣ノ補助金ニ相當スル金額ノ控除ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附 則

(昭和四年農林省令第八號)

本令ハ昭和四年法律第三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和四年四月一日ヨリ施行)
本令施行前助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
昭和四年法律第三號附則第二項但書ノ規定ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ昭和四年十二月三十一日迄ニ申請書ヲ農林大臣ニ差出スヘシ

前項ノ助成金ハ事業年度ヲ定メタルモノニ在リテハ本令施行後ニ始マル事業年度以後ノ事業ニ付、其ノ他ノモノニ在リテハ昭和五年一月一日以後ノ事業ニ付之ヲ交付ス此ノ場合ニ於テハ從前ノ例ニ依ル助成金ノ交付ニ付テハ其ノ前年度ノ末日又ハ昭和四年十二月三十一日ニ工事ヲ終了シタルモノト看做ス

農林大臣第三項ノ申請書ヲ受理シ審査ノ上適當ト認メタルトキハ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

(様式)

第一號

開墾助成願（正副二通）

別紙設計書記載ノ事業ヲ施行致度候ニ付助成相成度開墾助成法令ニ依リ此段相願候也

年 月 日

事務所

住所職業

氏

名

生 年 月

農林大臣

殿

第二號

設計書（正副二通）

- 一 事業施行地ノ現況及事業ノ目的
- 二 事業ノ計畫説明
- 三 主要工事ノ仕様
- 四 工事施行前後ノ土地ノ地目別合計
- 五 事業施行ニ依リテ得ヘキ利益
- 六 事業施行地及之ニ隣接スル土地、水面ノ現形圖
- 七 豫定圖
- 八 工事ノ開始及終了ノ豫定時期
- 九 工事ノ年度割豫定

十 事業ニ要スル費用豫算並明細書

備考 開墾助成法第一條第一號又ハ第二號ノ事業ノミヲ行フ場合ニ在リテハ同條第二號又ハ第一號ノ事業トノ關係ヲ説明スヘシ

第三號

開墾助成金交付ノ事業讓渡認可願（正副二通）

何々ノ事由ニ因リ（別紙添附書類ノ區分ニ從ヒ）何年何月何日指令第何號ニ依ル助成金交付ノ事業讓渡致度御認可ノ上ハ（讓渡ノ區分ニ從ヒ）開墾助成法令ニ依ル讓渡人ノ權利義務ノ一切ハ讓受人ニ於テ之ヲ承繼可致候ニ付御認可相成度此段相願候也

年 月 日

事務所

住所職業

讓渡人 氏

名

事務所

住所職業

讓受人 氏

生 年 月

農林大臣

殿

河川法

(明治二十九年四月七日)
法律第七一號

改(大正四年六月九日法律第四號)
昭和二年三月十日同第三號

五三四

第一章 總則

第一條 此ノ法律ニ於テ河川ト稱スルハ主務大臣ニ於テ公共ノ利害ニ重大ノ關係アリト認定シタル河川ヲ謂フ

第二條 河川ノ區域ハ地方行政廳ノ認定スル所ニ依ル

流水河川ノ區域外ニ出テテ永期ニ渉ルヘキモノト認ムルトキハ地方行政廳ハ其ノ河川ノ區域ヲ變更スヘシ

第三條 河川竝其ノ敷地若ハ流水ハ私權ノ目的トナルコトヲ得ス

第四條 地方行政廳ニ於テ河川ノ支川若ハ派川ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ

堤防、護岸、水制、河津、曳船道其ノ他流水ニ因リテ生スル公利ヲ增進シ又ハ公害ヲ除却若ハ輕減スル爲ニ設ケタルモノニシテ地方行政廳ニ於テ河川ノ附屬物ト認定シタルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外總テ河川ニ關スル規程ニ從フ

第五條 此ノ法律ニ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ流入シ若ハ河川

ヨリ分岐スル水流若ハ水面又ハ第一條ノ認定ヲ受ケサル河川ニ準用スルコトヲ得

第二章 河川ノ管理

第六條 河川ハ地方行政廳ニ於テ其ノ管内ニ係ル部分ヲ管理スヘシ但シ主務大臣カ自ラ河川ニ關スル工事ヲ施行シタルモノニ付必要ト認ムルトキ又ハ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲必要ト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ代テ之ヲ管理シ又ハ其ノ維持修繕ヲナスコトヲ得

第七條 地方行政廳ハ河川ニ關スル工事ヲ施行シ其ノ維持ヲナスノ義務アルモノトス但シ第四十三條ニ依リ通航料徵收ノ許可ヲ得タル者ヲシテ其ノ義務ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ妨ケス

第八條 河川ニ關スル工事ニシテ利害ノ關係スル所一府縣ノ區域ニ止マラサルトキ又ハ其ノ工事至難ナルトキ若ハ其ノ工費至大ナルトキ又ハ河川ノ全部若ハ一部ニ付キ大體ニ渉ル一定ノ計畫ニ基キテ施行スル改良工事ナルトキハ主務大臣ハ自ラ其ノ工事ヲ施行シ又ハ其ノ工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ之ヲ施行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ地方行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得

五三五

第九條 地方行政廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ管内ノ下級行政廳ヲシテ河川ニ關スル工事ノ一部ヲ施行セシメ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

第十條 河川ノ附屬物ニシテ兼ネテ他ノ工作物ノ效用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ハ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナサシムルコトヲ得

他ノ工作物ニシテ兼ネテ河川ノ附屬物ノ效用ヲナスモノアルトキハ地方行政廳ニ於テ其ノ工作物ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲナスコトヲ得

第十一條 他ノ工事ニ因リ河川ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタルトキハ地方行政廳ハ其ノ工事ノ施行者ヲシテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシムルコトヲ得

河川ニ關スル工事ニ因リ必要ヲ生シタル他ノ工事又ハ河川ニ關スル工事ヲ施行スル爲ニ必要ナル他ノ工事ハ地方行政廳ニ於テ併セテ之ヲ施行スルコトヲ得

第十二條 行政廳ハ河川ニ關スル工事ノ請負ヲナスコトヲ得ス

第十三條 河川ニ關スル工事ノ請負ノ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 地方行政廳ハ其ノ管理ニ屬スル河川ノ臺帳ヲ調製シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

臺帳ノ調製、保管、記載事項等ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

主務大臣ノ認可ヲ經タル臺帳ニ記載セル事項ニ關シテハ反對ノ立證ヲ許サス但シ臺帳調製後其ノ事實ノ變更シタルコトヲ證スルヲ妨ケス

第十五條 地方行政廳ニ於テ河川管理ノ爲特ニ吏員ヲ置クコトヲ要スルトキハ其ノ定員、給料、手當、職務權限並其ノ費用ノ負擔者等ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三章 河川ノ使用ニ關スル制限並警察

第十六條 舟筏ノ通航及流木ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 左ニ記載スル工作物ヲ新築、改築若ハ除却セムトスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 流水ヲ停滯セシメ若ハ引用シ又ハ流水ノ害ヲ豫防スル爲ニ施設スル工作物
- 二 河川ニ注水スル爲ニ施設スル工作物
- 三 河川ノ區域内ニ於テ敷地ニ固著シテ施設スル工作物又ハ河川ニ沿ヒ若ハ河川ヲ横過シ若ハ其ノ床下ニ於テ施設スル工作物

第十八條 河川ノ敷地若ハ流水ヲ占用セムトスル者ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十九條 流水ノ方向、清潔、分量、幅員若ハ深淺又ハ敷地ノ現狀等ニ影響ヲ及

ホスノ虞アル工事、營業其ノ他ノ行爲ハ命令ヲ以テ之ヲ禁止若ハ制限シ又ハ地方行政廳ノ許可ヲ受ケシムルコトヲ得

第二十條 左ノ場合ニ於テ地方行政廳ハ許可ヲ取消シ若ハ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既ニ施設シタル工作物ヲ改築若ハ除却セシメ又ハ原形ノ回復ヲ命シ又ハ許可セラレタル事項ニ因リテ生スル危害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナサシムルコトヲ得

- 一 工事施行ノ方法若ハ施行後ニ於ケル管理ノ方法公安ヲ害スルノ虞アルトキ
- 二 河川ノ狀況ノ變更其ノ他許可ノ後ニ起リタル事實ニ因リ必要ヲ生スルトキ
- 三 河川ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ許可ヲ與ヘタルモノノ外ニ工事、使用若ハ占用ヲ許可スル爲ニ必要ナルトキ

四 此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規程ニ依リ必要ヲ生スルトキ

五 法律命令ニ違背シタルトキ

六 公益ノ爲ニ必要アルトキ

第二十一條 本章ノ規程ニ依リ與ヘタル許可ニ依リテ生スル權利義務ハ地方行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ他人ニ移スコトヲ得ス

第二十二條 法律、命令若ハ許可ノ條件ニ違背シタル者ハ行政廳ノ命スル所ニ從

ヒ其ノ違背ニ因リテ生シタル事實ヲ更正シ且其ノ因リテ生スル損害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナスヘシ

第二十三條 洪水ノ危険切迫ナルトキハ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ現場ニ於テ直ニ防禦ノ爲ニ必要ナル土地ヲ使用シ土砂、竹木其ノ他ノ材料、車馬其ノ他ノ運搬具及器具等ヲ使用若ハ徵收シ又ハ其ノ現場ニ在ル者ヲ使役シ又ハ家屋其ノ他ノ障害物ヲ破毀スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ管内ニ於テ夫役ヲ命シ又ハ下級公共團體ニ命シテ土地、材料、運搬具、器具及夫役ヲ供セシメ又ハ市町村長其ノ他ノ市町村吏員等ヲ指揮シテ必要ナル處分ヲナサシムルコトヲ得

地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ニ命シテ豫メ洪水防禦ノ爲ニ必要ナル準備ヲナサシムルコトヲ得

第四章 河川ニ關スル費用ノ負擔、土地所有者ノ權利義務並河川ノ管理ヨリ生スル收入等

第二十四條 河川ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス

主務大臣ニ於テ第六條但書ニ依リ河川ノ管理若ハ其ノ維持修繕ヲナス場合ニ於

テハ國庫ニ於テ其ノ費用ノ全部若ハ一部ヲ負擔スルコトヲ得
第一項費用ノ範圍ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 通航料徴收ノ許可ヲ受ケテ施設シタル工作物ノ爲ニ要スル費用ハ其ノ徴收期間許可ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第二十六條 河川ノ改良工事ニ要スル豫算費用ニシテ其ノ府縣内ノ地價總額千分ノ二箇半ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ノ三分ノ二以内ヲ國庫ヨリ補助スルコトヲ得但シ地價總額百分ノ二箇半ヲ超過スル部分ニ付テハ其ノ超過額ノ四分ノ三以内ヲ補助スルコトヲ得

前項ニ於テ地價ト稱スルハ其ノ年分地租ヲ徴收スヘキ土地ノ一月一日現在地價ヲ謂フ

災害ニ因リ必要ヲ生シタル工事ニ要スル費用ハ第一項ニ依ルノ限ニ在ラス
工事費用精算ノ上豫算ヨリ減スルコトアルモ既ニ與ヘタル補助金ハ之ヲ還付セシメサルコトヲ得

第二十七條 第八條ニ依リ主務大臣ニ於テ工事ヲ施行スル場合ニ於テハ府縣ハ前條ノ規程ニ準シテ其ノ豫算費用ヲ負擔シ國庫ハ其ノ殘額ヲ負擔スヘシ
前項ノ場合ニ於テ府縣ノ負擔スヘキ金額竝不足額ノ補充及殘餘金ノ處分等ハ主

務大臣之ヲ定ム

第二十八條 第八條ニ依リ主務大臣ニ於テ工事ヲ施行スル場合ニ於テハ府縣ハ其ノ負擔スヘキ豫算金額ヲ國庫ニ納付スヘシ

第二十九條 地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ヲシテ河川ニ關スル費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十條 河川ノ附屬物ニシテ兼ネテ他ノ工作物ノ效用ヲナスモノアルトキハ其ノ工作物ノ管理者タル行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體若ハ管理者タル私人ヲシテ其ノ附屬物ニ關スル費用ノ全部若ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十一條 營業ノ結果ニ因リ特ニ河川ニ關スル工事ノ必要ヲ生セシムルモノアルトキハ其ノ營業者ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十二條 河川ニ關スル工事ニシテ他ノ工事ニ因リ必要ヲ生シタルモノナルトキハ其ノ費用ハ工事ノ必要ヲ生シタル程度ニ於テ其ノ原因タル工事ノ費用負擔者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

河川ニ關スル工事ニ因リテ必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ハ其ノ工事ノ管理者タル行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體若ハ管理者タル私人ノ負擔トス但シ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ關スル費用ノ内ヨリ其ノ費用ノ全部若ハ一部ヲ補助ス

ルコトヲ妨ケス

五四二

第三十三條 河川ニ關スル工事ニシテ他ノ府縣若ハ他府縣内ノ公共團體ニ於テ著シク利益ヲ受クルモノナルトキ又ハ河川ニ關スル工事若ハ其ノ維持ニシテ主トシテ他府縣内ノ住民ノ河川ノ使用ニ因リ必要ヲ生スルモノナルトキハ其ノ府縣若ハ其ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十四條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ命シタル事項ヲ遵守スル爲ニ要スル費用ハ特別ノ規程ヲ設ケタル場合ヲ除クノ外其ノ命ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第五十二條ニ依リ主務大臣若ハ地方長官ニ於テ義務者ノ履行スヘキ事項ヲ自ら執行シ若ハ第三者ヲシテ執行セシメタルカ爲ニ要シタル費用ハ其ノ義務者ヨリ之ヲ追徴スルコトヲ得

第三十五條 公共團體ハ河川ニ關スル工事若ハ費用ノ爲寄附ヲナスコトヲ得

第三十六條 公共團體ハ河川ニ關スル費用ニ付キ私人若ハ其ノ區域内ノ下級公共團體ニ補助ヲナスコトヲ得

第三十七條 公共團體ハ河川ニ關スル費用ニ付キ利害關係ノ厚薄ヲ標準トシテ其ノ區域内ニ於テ不均一ノ賦課ヲナスコトヲ得

第三十八條 河川ニ關スル工事ノ爲必要ナルトキハ地方行政廳ハ管内ノ土地若ハ森林ノ所有者ニ命シ補償金トシテ時價相當ノ金額ヲ下付シテ其ノ所有ニ係ル土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ヲ供給セシムルコトヲ得但シ時價ニ關シテ協議整ハサルトキ又ハ所有者不明ナルトキ若ハ其ノ所在不明ナルトキハ地方行政廳ハ相當ト認ムル金額ヲ供託シテ本條ノ供給ヲナサシムルコトヲ得

第三十九條 河川ニ關スル工事ノ爲メ必要ナルトキハ地方行政廳ハ其ノ堤外地ニ立入り又ハ其ノ土地ヲ材料置場等ニ供シ又ハ已ムヲ得サルトキハ其ノ土地ニ現在スル建設物其ノ他ノ障害物ヲ除却スルコトヲ得

堤外地ニ非サル沿岸若ハ沿堤土地ニ關シテハ其ノ地先ニ施行スヘキ工事ノ爲必要ナル場合ニ限り前項ヲ適用スルコトヲ得

前二項ノ適用ニ依リ損害ヲ受ケタル所有者ハ使用若ハ除却ノ後三箇月以内ニ府縣ニ對シ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第四十條 第二十三條第一項ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アルトキハ地方行政廳ハ其ノ管内ノ市町村、町村組合若ハ水利組合ニ命シテ其ノ物件ノ價額ヲ補償セシムルコトヲ得其ノ價額ハ行政廳之ヲ定ム
前項補償ノ手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

五四三

第四十一條 法律、命令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタル工事、設備、使用、占用若ハ工作物ノ管理ニ因リ損害ヲ受ケシメタル者ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ
前項ニ依リ行政廳ニ於テ下付スヘキ賠償金ハ其ノ行政廳ノ直接ニ管轄スル公共團體ノ負擔トス

第四十二條 流水ヲ停滯シ若ハ引用スル爲ノ工作物ノ施設其ノ他河川ノ使用若ハ占用ヲ許可スルトキハ其ノ管理者、使用者若ハ占用者ヨリ使用料若ハ占用料ヲ徵收スルコトヲ得

本條ノ使用料若ハ占用料其ノ他河川ヨリ生スル收入ハ府縣ニ歸ス

第四十三條 地方行政廳ハ私人若ハ其ノ管内下級公共團體ニ於テ舟筏ノ便ヲ謀ル爲新築若ハ改築工事ヲ施行スル場合ニ限り舟筏ヨリ通航料ヲ徵收スルコトヲ許可スルコトヲ得但シ其ノ年限ハ當初許可シタル時ヨリ三十箇年ヲ超過スルコトヲ得ス

通航料ノ徵收ヲ停止スヘキ場合ニ於ケル補償其ノ他通航料ノ制限等ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十四條 河川敷地ノ公用ヲ廢シタルトキハ地方行政廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但シ此ノ法律施行前私人ノ所有權ヲ認メタル證據アルトキハ

其ノ私人ニ下付スヘシ

第四十五條 河川附近ノ土地若ハ工作物ノ所有者ハ命令ノ規程ニ依リ行政廳ノ命スル所ニ從ヒ其ノ土地ノ缺壞若ハ土砂流出ヲ豫防スル爲又ハ其ノ工作物ノ河川ニ及ホス損害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ノ全部若ハ一部ヲナシ又ハ其ノ費用ノ全部若ハ一部ヲ負擔スルノ義務ヲ有ス

第四十六條 河川ニ土砂ヲ流出スルノ虞アル土地ノ所有者ハ行政廳ニ於テ其ノ土地ニ竹木芝草ヲ植附ケ若ハ培用シ又ハ其ノ他土砂扞止ノ設備ヲナシ若ハ之ヲ維持スルコトヲ拒ムコトヲ得ス

前項ニ依リ植附タル竹木芝草ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ土地所有者ヲシテ收益ノ全部若クハ一部ヲ取得シテ之ヲ培養スルノ義務ヲ負ハシムルコトヲ得
土砂扞止ノ爲ニ要スル土地ハ行政廳ニ於テ土地收用ニ法依リ之ヲ收用スルコトヲ得

第一項土地ノ區域ハ地方行政廳ニ於テ豫メ之ヲ告示スヘシ

第四十七條 此ノ法律ヲ以テ定メタルモノノ外尚河川附近ノ土地、家屋若ハ其ノ他ノ工作物ニ關シ河川ノ公利ヲ増進シ又ハ公害ヲ除却若ハ輕減スル爲ニ必要ナル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條 河川若ハ河川附近ノ土地ニ關シテ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ關スル工事ニ因リ新ニ河川トナルヘキ區域若ハ其ノ附近ノ土地ニ之ヲ準用スルコトヲ得

第五章 監督及強制手續

第四十九條 主務大臣ハ河川ニ關スル行政ヲ監督ス

地方長官ヲシテ第一次ニ於テ監督セシムヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
此ノ法律ニ規定シタル事項ニシテ主務大臣若ハ地方長官ノ認可ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條及第三十六條ニ規定シタル事項竝此ノ法律ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ニ關シテハ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第五十條 他ノ府縣若ハ他ノ府縣内ノ公共團體ヲシテ費用ヲ負擔セシムル爲ニ必要ナル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 主務大臣ハ地方行政廳ニ命シテ河川ニ關スル工事ヲ施行セシメ又ハ河川ノ區域及其ノ附屬物ノ認定若ハ臺帳ノ更正ヲナサシメ其ノ他此ノ法律ニ規定シタル地方行政廳ノ職權ヲ施行セシムルコトヲ得

第五十二條 義務者ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務

ヲ履行セス若ハ之ヲ履行スルモ必要ノ期限内ニ終了スルノ見込チキトキ又ハ其ノ履行ノ方法宜ヲ得サルトキハ主務大臣若ハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第五十三條 私人ニ於テ此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ怠ルトキハ主務大臣若ハ地方長官ハ一定ノ期限ヲ示シ若期限内ニ履行セサルトキ若ハ之ヲ履行スルモ不充分ナルトキハ千圓以内ニ於テ指定シタル過料ニ處スルコトヲ豫告シテ其ノ履行ヲ命スルコトヲ得

第五十四條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ納付セシメタル保證金ハ行政廳ニ於テ直ニ其ノ納付ノ目的又ハ過料ニ充用スルコトヲ得

前項保證金ハ他ノ債權ノ爲ニ差押フルコトヲ得ス

第五十五條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ負擔スヘキ費用及過料ハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外行政廳ニ於テ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用及過料ニ付キ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有スルモノトス
此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ公共團體ニ於テ負擔スヘキ費

用ニ關シテハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外主務大臣若ハ地方長官ハ必要ナル場合ニ於テハ金額ヲ定メテ之ヲ其ノ豫算表ニ掲ケ其ノ他必要ナル處分ヲ指揮シ直ニ其ノ金額ヲ支出セシムルコトヲ得

第五十六條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ニ付與シタル職權ハ行政處分ニ依リ之ヲ強制スルコトヲ得

行政廳ノ許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ關シテモ亦本條及前條ヲ準用ス

第五十七條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ於テ規定シタル事項ニ關シテハ河川視察ノ職務ヲ有スル官吏ヲシテ命令ノ定ムル所ニ從ヒ警察官ノ職權ノ全部若ハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第五十八條 此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第六章 訴願及訴訟

第五十九條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ主務大臣若ハ地方行政廳ノナシタル處分ニ對シテ不服アル私人若ハ公共團體ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令若ハ地方行政廳ノ委任ニ依リ下級行

政廳ノナシタル處分ニ對シテ不服アル私人若ハ公共團體ハ地方長官ニ訴願シ地方長官ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ依リ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六十條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ毀損セラレタリトスル私人若ハ公共團體ハ前條ニ依リ訴願ノ裁決ヲ經タル後行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ主務大臣若ハ地方行政廳ノ處分ニ對シテハ直ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第六十一條 第四十一條第一項ニ依リ損害賠償ヲ請求スル私人若ハ公共團體ハ損害ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

法律、命令若ハ許可認可ノ條件ニ違背シタルヤ否ヤニ付キ爭アルトキハ前數條ノ手續ニ依リ其ノ違背シタリトノ事實確定シタル後ニ非サレハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ前項ノ期間ハ確定ノ日ヨリ起算スルモノトス

第六十二條 第三十八條若ハ第三十九條ニ依リ下付スヘキ補償金額ニ對シ不服アルトキハ行政廳ニ於テ補償金額ノ通知ヲナシタル日ヨリ六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ第三十九條ノ場合ニ於テ補償金請求ノ後三箇月以内ニ

其ノ金額ノ通知ナキトキハ其ノ期限經過後六箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六十三條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ關シテハ本章ノ規程ニ依リ特ニ許シタル場合ヲ除クノ外訴願若ハ行政訴訟ヲ提起シ又ハ行政廳ニ對シ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七章 附則

第六十四條 此ノ法律ノ全部若ハ一部ヲ施行スヘキ區域及時期ハ主務大臣之ヲ定ム

此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十五條 河川ノ臺帳ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ二箇年以内ニ之ヲ調製スヘシ

河川法施行規程

(明治二十九年六月三日 勅令第二三六號)

改(明治三十二年六月 勅令第二八六號)

第一條 内務大臣ニ於テ公共ノ利害ニ重大ノ關係アリト認定シタル河川ハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

内務大臣ニ於テ河川法ノ全部若ハ一部ヲ施行スヘキ區域及時期ヲ定メタルトキ亦同シ

第二條 府縣知事ニ於テ河川ノ支川若ハ派川又ハ河川ノ附屬物ト認定シタルモノハ其ノ地方ノ公布式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第三條 沿岸、沿堤及河川附近ノ土地ノ區域ハ府縣知事之ヲ定メ内務大臣ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第四條 河川法第八條ニ依リ内務大臣ニ於テ自ラ工事ヲ施行シ又ハ河川ニ關スル工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ工事ヲ施行セシムル場合ニ於テハ官報ヲ以テ其ノ工事ヲ施行スヘキ河川竝ニ其ノ區域及起工年度ヲ告示スヘシ

前項ノ工事ヲ終了シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第五條 河川法第六條但書ニ依リ内務大臣ニ於テ河川ノ管理又ハ維持修繕ヲナストキハ内務省直轄ノ土木事業ニ準シテ「土木監督署長」之ヲ行フ

第六條 河川法第三十八條ニ依リ府縣知事ニ於テ土石、砂礫、芝草、竹木及運搬具ノ供給ヲナサシメントスルトキハ少クトモ五日前ニ其ノ供給セシムヘキ物件ノ種類、數量及補償金額等ヲ其ノ所有者ニ通知スヘシ

第七條 河川法第三十九條ニ依リ府縣知事ニ於テ堤外地、沿岸若ハ沿堤土地ニ立入り又ハ之ヲ材料置場等ニ供セントスルトキハ少クトモ五日前ニ又之ニ現在スル建設物其ノ他ノ障害物ヲ除却セントスルトキハ少クトモ十五日前ニ其ノ場所若ハ建設物等ヲ其ノ所有者ニ通知スヘシ

第八條 河川法施行前ニ確定シタル河川ニ關スル費用ノ豫算ハ河川法施行ノ爲其ノ效力ヲ失ハス

前項豫算ニ依リ執行スヘキ事項ハ從前ノ規程又ハ慣習ニ依リ既ニ定リタル執行者ニ於テ之ヲ行フ

第九條 河川法施行前ニ私人ノ所有權ヲ認メタル河川ノ敷地ニシテ荒地ニアラサルモノハ從前ノ所有者若ハ其ノ相續人ノ請求ニ因リ府縣知事ハ公益ヲ妨ケサル限ニ於テ其ノ占用ヲ許可スヘシ

第十條 府縣知事ニ於テ從前ノ所有者若ハ其ノ相續人ニ前條ノ占用ヲ許可セサルトキ又ハ之ヲ禁止スルトキハ府縣ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ相當ノ補償金ヲ下付スヘシ

公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲前項處分ノ必要ヲ生スルトキハ府縣知事ハ其ノ事業ノ許可ノ條件トシテ其ノ執行者ヲシテ補償金ノ全部若ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ妨ケス

河川ニ關スル工事ニ因リ下付ノ必要アル第一項ノ補償金ハ其ノ工事ノ豫算費用中ニ算入スヘシ

第十一條 河川法若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政廳ノ許可ヲ受クヘキ事項ニシテ其ノ施行ノ際ニ現存スルモノハ河川法若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但其ノ施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ於テ更ニ許可ヲ受クヘキコトヲ命シタルモノハ此ノ限ニアラス

第十二條 河川法施行前ニ許可シタル通航料ノ徵收ハ從前ノ規程ニ依ル但徵收ノ期限ナキモノハ府縣知事ニ於テ河川法施行後三十箇年以内ノ期限ヲ定メテ之ヲ許可スヘシ

第十三條 内務大臣ハ河川法ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シ其ノ發スル所ノ命令ニ二十五圓以内ノ罰金若ハ二十五日以下ノ「禁錮」ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

府縣知事及警視總監ハ河川法ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シ其ノ發スル所ノ命令ニ十圓以内ノ罰金若ハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

第十四條 河川法第四條、第五條、第十三條、第十五條、第十六條、第十九條、第四十五條及第四十六條第二項ニ依リテ發スル命令ハ府縣令ヲ以テスルコトヲ得但東京府ニ在テハ第十六條及第十九條中警察ニ係ル事項ハ警視廳令ヲ以テスルコトヲ得

河川法施行河川區域表 (昭和八年四月末日現在)

河川	淀川	野洲川	野洲川北流
	(支) 木津川	(支) 山科川	(小支) 鴨川
	(支) 小畑川	(支) 小泉川	(支) 穗谷川
	(支) 天野川	(派) 木津川	(支) 水無瀬川
	(支) 檜尾川	(支) 芥川	(派) 神崎川
	(派) 中津川	(支) 新高瀬川	(小支) 七瀬川
	(派) 新淀川	(小派) 六軒屋川	(支) 正蓮寺川
由良川	由良川	(支) 牧川	(支) 土師川
筑後川	筑後川	(派) 早津江川	(支) 小石原川
利根川	利根川	(支) 渡良瀬川	(支) 谷田川
	(派) 江戸川	(派) 逆川	(派) 將監川
	(小支) 思川	(小々支) 巴波川	(支) 常陸川
	(支) 烏川	(支) 神流川	(支) 鬼怒川
	(小々支) 湯西川		(支) 男鹿川
那珂川	那珂川	(支) 緒川	(支) 里川
久慈川	久慈川	(支) 押川	

信濃川——(上流)千曲川

(派)新信濃川

木曾川

揖斐川——揖斐川

(小支)杭瀬川

(小支)大谷川

(小支)金草川

(支)長良川

(小支)大江山

(小支)板屋川

(小支)中川

富士川——富士川

(支)御勅使川

(支)早川

最上川——最上川

(上流)松川

吉野川——吉野川

九頭龍川——九頭龍川

(小支)淺水川

信濃川

(派)西川

(支)長護寺川

(小支)相川

(小支)水門川

(支)藪川

(小支)伊自良川

(小支)荒尾川

(小支)根尾川

(小支)五六川

(支)笛吹川

(小派)前御勅使川

(支)白川

舊吉野川

(支)日野川

(小支)鞍谷川

(派)中ノ口川

(支)粕川

(小支)泥川

(支)津屋川

(小支)三水川

(小支)鳥羽川

(小支)論田川

(小支)天王川

(支)平等川

(支)瀧澤川

(支)丹生川

(支)川田川

(小支)足羽川

(小支)天王川

五五四

(支)犀川

(支)牧田川

(小支)色目川

(小支)小畑川

(小支)花田川

(小支)境川

(小支)系貫川

(小支)犀川

(小支)荒川

(支)蘆川

(支)赤川

飯尾川

(支)七瀬川

高梁川——高梁川

天龍川

庄川

小矢部川

旭川

北上川——北上川

(支)二股川

阿賀野川——阿賀野川(福島縣ニテハ阿賀川ト稱ス)

(支)宮川

關川

阿武隈川——阿武隈川

雄物川——雄物川

(支)旭川

米代川——米代川

安倍川——安倍川

遠賀川——遠賀川

矢部川——矢部川

大井川

(支)小田川

(支)零石川

(支)追川

(派)小阿賀野川

(支)白石川

(支)皆瀬川

(支)阿仁川

(支)藁科川

(支)犬鳴川

(支)星野川

(支)和賀川

(小支)夏川

(支)日橋川

(支)加治川

(小支)松川

(支)横手川

(支)泉河内川

(支)飯江川

(支)飯江川

(支)江合川

(派)追波川

(小支)湯川

(支)荒川

(支)岩見川

(支)彦山川

(派)沖端川

五五五

北川——北川

(支)鳥羽川

(支)遠敷川

(支)南川

(派)江古川

神通川——神通川

(支)井田川

(支)熊野川

黒部川

常願寺川

荒川——荒川

(支)入間川

(小支)越邊川

(小支)高麗川

(小支)都幾川

加古川——加古川

(支)市野川

(派)新荒川

岩木川——岩木川

(派)洗川

(支)山田川

馬淵川——馬淵川

(支)新井田川

相坂川(一名奥入瀬川)

鳴瀬川——鳴瀬川

(支)多田川

(支)吉田川

名取川——名取川

(支)廣瀬川

(支)淺川

(支)小川

多摩川——多摩川

(支)秋川

(支)加勢川

(支)海老取川

綠川——綠川

(支)濱戸川

(支)追間川

(派)嘉永新川

白川——白川

(支)黒川

(派)前川

(派)南川

菊池川——菊池川

(支)合志川

(支)迫間川

(派)島根定川

球磨川——球磨川

(支)川邊川

(支)三刀屋川

(派)南川

斐伊川——斐伊川

(支)赤川

(支)島根定川

(派)南川

(派)南川
同前川同出
來瀬川等云々

(派)新川

高津川

(派)二十間川

(派)南廿五間川

(派)北廿五間川

(下流)大橋川

太田川——太田川

(支)敷地川

(小支)一宮川

(支)原野谷川

(小支)逆川

狩野川——狩野川

(支)黃瀬川

(小支)初馬川

(支)下小笠川

菊川——菊川

(支)牛瀬川

(支)上小笠川

(支)下小笠川

圓山川——圓山川

(支)田石川

(支)上小笠川

(支)下小笠川

土器川

(支)袋川

(支)野坂川

(支)野坂川

紀ノ川

(支)竹田川

(支)野坂川

(支)野坂川

千代川——千代川

(支)袋川

(支)野坂川

(支)野坂川

天神川——天神川

(支)竹田川

(支)野坂川

(支)野坂川

(小支)國府川

(支)法勝寺川

(支)野坂川

(支)野坂川

日野川——日野川

(支)根谷川

(支)野坂川

(支)野坂川

太田川——太田川

(派)山手川

(支)三篠川

(支)安川

(派)古川

(派)天滿川

(派)猿猴川

(派)京橋川

(派)元安川

(支)高屋川

(小派)川添川(一名福島川)

(派)京橋川

蘆田川——蘆田川

(支)桑野川

(派)岡川

(派)岡川

那賀川——那賀川

(支)桑野川

(派)岡川

(派)岡川

相模川——(上流)桂川

(支)中津川

鶴見川——鶴見川

相模川
(支)小鮎川
(支)矢上川

(支)鶴川
(小支)荻野川

五五八
(支)道志川

酒匂川

大淀川——大淀川

(支)本庄川

(小支)深年川

吉井川

大和川——大和川

(支)寺川

(小支)米川

(支)曾我川

(小々支)小柳川

(支)葛城川

(支)高田川

鈴鹿川——鈴鹿川

豐川——豐川

(支)富雄川

(支)佐保川

矢作川——矢作川

庄内川——庄内川

(支)江川

(支)安樂川

(支)乙川(大平川)

(小支)五條川

(支)籠川

(派)横堀川

大野川——大野川

(派)乙津川

(派)矢作古川

(支)巴川

(小支)立小野川

大分川——大分川

(支)内津川

(小支)廣田川

(支)七瀬川

(派)戸次古川

(支)賀來川

(支)高城川

(支)樋脇川

(支)串良川

(派)小中島川

(支)田海川

(支)樋渡川

肝屬川——肝屬川

(支)平佐川

(支)高山川

(支)始良川

(支)大始良川

新宮川——新宮川

(支)相野谷川

(支)三越川

佐波川

手取川

肱川

渡川——渡川

(支)後川

(小支)岩田川

仁淀川——仁淀川

中川——中川

(支)波介川

(支)綾瀬川

日向川——日向川

(支)荒瀬川

備考 區域以下略ス

河川法準用河川表

(昭和六年十月十日現在)

河川

東京府——淺川

目黒川

北十間川

河

秋川

神田川

小名木川

川

多摩川

古川

豎川

柳瀬川

新川

大横川

五五九

横十間川
 六間堀川
 二十間川(支川)
 平久川(支川)
 大島川(東支川)
 油堀川(東支川)
 山谷堀川
 東堀留川
 龍閑川
 京橋川
 築地川
 佃川(支川)
 大栗川
 大場川
 宇喜田川
 京都府—桂川
 高野川
 伊佐津川
 三俣川
 仙臺堀川
 五間堀川
 大横川(南支川)
 鹽濱川
 大島川(西支川)
 仙臺堀川(支川)
 江戸川
 箱崎川
 龜島川
 櫻川
 築地川(東支川)
 月島川
 川口川
 平井川
 木津川
 山科川
 野田川
 川上谷川
 二十間川
 福富川
 洲崎川
 汐見川
 中ノ川
 大横川(支川)
 外濠
 箱崎川(支川)
 新川
 三十間堀川
 築地川(南支川)
 新月島川
 鶴見川
 成木川
 關部川
 竹田川
 上林川
 鱒留川
 五六〇
 曳船川
 福富川(支川)
 平久川
 越中島川
 油堀川
 中ノ堀川
 日本橋川
 濱町川
 楓川
 汐留川
 佃川
 澁谷川
 境川
 黒澤川
 犬飼川
 竹野川
 由良川
 筒川

高屋川
 久美濱水路
 (小々々支)本梅川
 高野川
 (淀川支)小畑川
 (由良川小支)畑口川
 (同)溝谷川
 大阪府—西横堀川
 茨木川
 榎井川
 東條川
 阿波堀川
 百間堀川
 神奈川縣—早川
 (相模川支)小鮎川
 金目川
 (金目川小支)鈴川
 (同)川音川
 (酒匂川支)河内川
 佐濃谷川
 (淀川支)小畑川
 (小々支)田原川
 福田川
 (同)田原川
 與保呂川
 宇川
 東横堀川
 大津川
 牛瀧川
 恩智川
 立賣堀川
 天神川
 (小々支)曾我谷川
 (由良支川)棚野川
 (淀川小々支)高野川
 (淀川小支)七谷川
 大手川
 久美谷川
 道頓堀川
 猪名川
 横尾川
 江戸堀川
 長堀川
 新久美濱水路
 (同)弓削川
 竹野川
 (同)天神川
 (由良川支)土師川
 (竹野川支)小西川
 安威川
 男里川
 石津川
 京町堀川
 堀江川
 境川
 (早川水系)蘆ノ湖
 (相模川支)中津川
 (金目川小支)水無川
 (同)澁田川
 (酒匂川小支)四十八瀬川
 (酒匂川小支)世附川
 (境川支)柏尾川
 (同)串川
 (金目川支)玉川
 (酒匂川支)狩川
 (酒匂川支)内川
 (早川支)須雲川

大岡川 (大岡川派) 中村川 (同) 堀川 (同) 派大岡川
 (同) 新富士見川 (大岡川小派) 堀割川 (同) 新吉田川 (同) 吉田川
 (大岡川小々派) 日ノ出川 帷子川 (帷子川派) 石崎川
 (同) 新田間川 (同) 幸川 (帷子川小派) 櫻川 (同) 新田間川
 (帷子川支) 八千代川 (八千代川派) 寶川 (帷子川支) 瀧ノ川 入江川
 (入江川派) 第一派川 (同) 第二派川 (同) 第一小派川 (同) 第二小派川
 (同) 第三小派川 (同) 第四小派川 (入江川小々派) 浦島川 (同) 第二小派川
 (同) 臺川 (入江川小々派) 千代崎川 (鶴見川上流) 谷本川 (相模川支) 秋山川
 (同支) 中津川 (同小支) 早戸川 橋本川 (金目川支) 葛葉川
 新崎川 平作川 (澁川派、神崎川支) 猪名川 (猪名川派) 藻川
 兵庫縣——武庫川 (加古川支) 美囊川 (同) 杉原川 市川
 夢前川 揖保川 (揖保川支) 林田川 (揖保川派) 網千川
 (同) 元川 (同) 中川 千種川 圓山川
 竹田川 (加古川上流) 佐治川 三原川 (武庫川支) 仁川
 (同) 逆瀬川 (同) 羽束川 (同) 有馬川 (武庫川小支) 有野川
 (猪名川支) 一庫川 明石川 (明石川支) 伊川 (同) 樞谷川
 (加古川支) 万願寺川 (加古川小支) 下里川 (同) 志染川 (志染川上流) 淡河川
 (加古川小支) 山田川 (加古川支) 東條川 (同) 千鳥川 (同) 野間川

(加古川派) 洗川支 (加古川上流) 佐治川支 (同) 柏原川 (同) 葛野川
 法華山谷川 牧山川 (加古川支) 篠山川 (加古川支) 篠山川上流) 大雲川
 (同) 蘆田川 (同) 遠坂川 (同) 曾地川 (同) 粃井川
 (加古川小支) 宮田川 (同) 畑川 (同) 越知川 (市川小支) 猪篠川
 天川 (市川支) 岡部川 (同) 越知川 (揖保川支) 前川
 (同) 中垣内川 (夢前川支) 菅生川 太田川 (同) 伊澤川
 (同) 引原川 (同) 栗栖川 (同) 菅野川 (同) 矢野川
 (同) 安室川 (千種川小支) 梨ヶ原川 (千種川支) 長谷川 (千種川小支) 大富川
 (千種川支) 岩木川 (同) 佐用川 (千種川支) 鞍居川 (千種川小支) 大富川
 (千種川小々支) 幕山川 (千種川支) 志文川 (千種川小支) 角龜川 (同) 大日山川
 (圓山川支) 奈佐川 (圓山川小支) 大濱川 (圓山川支) 六方川 (圓山川小支) 鎌谷川
 (圓山川支) 六方川上流) 小野川 (圓山川小支) 穴見川 (同) 稻葉川 (圓山川小支) 鎌谷川
 (圓山川支) 八木川 (圓山川支) 大屋川 (圓山川小支) 建屋川 (同) 明延川
 (圓山川支) 米地川 (同) 糸井川 (同) 與布土川 (圓山川小支) 栗鹿川
 (圓山川支) 多々良木川 (同) 神子畑川 (同) 出石川 (圓山川小支) 奥山川
 (同) 谷山川 (同) 河本川 (同) 太田川 竹野川
 (竹野川支) 三椒川 佐津川 (佐津川支) 土生川 矢田川
 (矢田川支) 守柄川 (同) 小原川 (同) 湯舟川 (同) 熊波川
 長谷川 岸田川 (岸田川支) 久斗川 (同) 熊谷川

新潟縣

(同)春來川
 (同)鴨庄川
 (洲本川小支) 樋野野川
 信濃川
 五十嵐川
 荒川
 飯田川
 國府川
 飛落川
 戸野目川
 島崎川
 (覺路津)大通川
 新井郷川
 道滿川
 清津川
 淺貝川
 佐梨川
 笠堀川
 新谷川

(同)照來川
 (同)美和川
 育波川
 魚野川
 能代川
 櫛池川
 保倉川
 木山川
 阿賀野川
 青田川
 猿橋川
 駒林川
 羽茂川
 菖蒲川
 釜川
 由河川
 三國川
 加茂川
 早出川

大栃川
 洲本川
 (三原川支)大目川
 關川
 加治川
 澁海川
 能生川
 新川
 三面川
 羽根川
 (鷲ノ木)大通川
 別山川
 鎧瀉
 只見川
 カヅサ川
 破間川
 登川
 實川
 杉川

(竹田川支)前山川
 (洲本川支)千草川
 (同)成相川
 矢代川
 姫川
 黒川
 鯖石川
 大通川
 胎内川
 栖吉川
 下條川
 鎌倉澤川
 通船川
 中津川
 大川
 西川
 守門川
 裏川
 大荒川

埼玉縣

新發田川
 三面川
 海川
 青海川
 姫田川
 常浪川
 栗ノ木川
 須川
 水無川
 大野川
 刈谷田川

加治川
 二ゴロ川
 大所川
 石川
 坂井川
 仙見川
 新栗ノ木川
 太田川
 宇田澤川
 小倉川
 境川

内ノ倉川
 土路川
 小瀧川
 鶉川
 門前川
 新新發田川
 烏屋野瀉
 鹽谷川
 五十澤川
 藤津川

胎内川
 早川
 根知川
 柿崎川
 高根川
 福島瀉
 貝喰川
 茶郷川
 別所川
 加茂川

(利根川支)小山川
 (同)鳥川
 (同)越邊川
 (同)霞川
 (荒川支)柳瀬川
 大落古利根川
 (上流)荒川
 (支)成木川

(同)身馴川
 (同)庄内古川
 (同)高麗川
 (荒川小支)桂川
 (荒川小支)東川
 (支)元荒川
 (支)鴨川
 (同)浦山川

(利根川小支)間瀬川
 (利根川支)福川
 (荒川小支)都幾川
 (荒川支)新河岸川
 (荒川支)芝川
 (同)下星川
 (同)黒目川
 (同)赤平川

(同)志戸川
 (荒川支)市野川
 (荒川支)槻川
 (荒川小支)赤間川 (下流
 九十川ヲ含ム)
 (同)綾瀬川
 (利根川支)神流川
 (小支)名栗川
 (同)和田吉野川

群馬縣

- (同)吉野川
- (同)隼人堀川
- (小支)下星川
- (利根川支)烏川
- (渡良瀬川支)桐生川
- (同)鑄川
- (同)赤谷川
- (鑄川支)高田川
- (同支)奈良澤川
- (利根川支)寶川
- (同)廣瀬川
- 大尻沼
- (同)浮川
- (吾妻川支)湯尻川
- (同)萬座川
- (熊川支)地藏川
- (魚川支)野反川
- (同)山田川
- (同)泉澤川
- (中川支)青毛堀川
- (小支)庄兵衛堀川
- 大場川
- (烏川支)碓氷川
- (利根川支)渡良瀬川
- (同)碓氷川
- (同)薄根川
- (同)鮎川
- (同)矢木澤川
- (同支)湯檜曾川
- (利根川支)片品川
- 八町瀧
- (同)栗原川
- (同)大澤川
- (同)小宿川
- (吾妻川支)須川
- (吾妻川支)
- (山田川支)四萬川
- (同)鳴澤川
- (同)備前堀川
- (小々支)野通川
- (同)鑄川
- 利根川
- (利根川支)烏川
- (同)吾妻川
- (烏川支)白川
- (同)檜保川
- (同)沼尾川
- 菅沼
- (片品川支)小川
- (同)利根川
- (同)大横川
- (同)遲澤川
- (須川支)白砂川
- 温川
- (同)上澤渡川
- (同)沼尾川
- (同)神流川
- (烏川支)神流川
- (同)片品川
- (碓氷川支)九十九川
- 利根川
- (檜保川支)湯ノ小屋川
- (同)粕川
- 丸沼
- (同)塗川
- (利根川支)吾妻川
- (同)千俣川
- (同)熊川
- 野反池
- (同)深澤川
- (吾妻川支)名久田川
- (利根川支)烏川

千葉縣

- (烏川支)榛名川
- (西牧川支)小坂川
- (神流川支)野栗澤川
- (同)小中川
- 榛名湖
- ヨツピ川
- 櫻川
- 四釜川
- 九十九川
- 雄川
- 深澤川
- 横利根川
- 長門川
- 村田川
- 手賀沼落
- 新川
- (支)香西川
- 一宮川
- (支)落合川
- (同)碓氷川
- (鑄川支)南牧川
- (同)間物澤川
- (同)小黑川
- 大沼
- 長笹澤川
- 猫又川
- 井野川
- 矢川川
- 白川
- 谷田川
- 北利根川
- 小櫃川
- (支)平藏川
- 根本名川
- 栗山川
- 作田川
- (支)瑞澤川
- 湊川
- (碓氷川支)霧積川
- (南牧川支)大仁田川
- (同)三波川
- (同)川口川
- 尾瀬沼
- 西川
- 仁加又川
- 増田川
- 市野萱川
- 荒砥川
- (温川支)今川
- 鹿島川
- 養老川
- 今上川
- (派)新川
- 黒部川
- 木戸川
- 夷隅川
- 小糸川
- (鑄川支)西牧川
- (烏川支)神流川
- (渡良瀬川支)黒坂石川
- (桐生川支)高澤川
- (只見川支)沼尻川
- 須川川
- 發知川
- 秋間川
- 丹生川
- 桃木川
- 印幡沼
- 都川
- 坂川
- 大須賀川
- 小野川
- 南白龜川
- (小支)平澤川
- 加茂川

茨城縣

霞ヶ浦

丸山川
北利根川

(支)高崎川
前川

横利根川

(那珂川支)潤沼川
(利根川小支)

(小貝川支)勤行川
(利根川小支)

(那珂川支)藤井川
(同)櫻川

(小貝川支)八間川
(久慈川支)山田川

(同)十王川

(支)花園川
(同)里根川

(同)關根川

(同)花貫川

(同)淺川

(同)八溝川

(利根川小支)巴川

(久慈川支)玉川

(利根川小支)大谷川

(同)園部川

(利根川小支)仁連川

(利根川支)飯沼川

(久慈川支)諸澤川

(同)瀧川

(同)利根川小支

(同)潤沼前川

(同)田川

(利根川小支)

(久慈川小支)源氏川

(利根川小支)新利根川

栃木縣

(利根川小支)大谷川

(小支)思川

(同)大蘆川

(同)黒川

(同)永野川

(同)旗川

(支)荒川

(上流)渡良瀬川

(小支)秋山川

那珂川

(同)桐生川

小倉川

鬼怒川

大蘆川

粕尾川

那珂川

大蘆川

黒川

巴波川

荒川

野上川

彦間川

蛇尾川

(利根川小支)行川

(利根川小支)内川

(利根川小支)中川

(利根川派)逆川

中川

奈良縣

吉野川

十津川

(大和川支)高田川

(同)葛下川

(名張川支)宇陀川

朝明川

三瀧川

三重縣

(木曾川派)鍋田川

雲田川派川

櫛田川

宮川

五十鈴川

(淀川支)長田川

(同)服部川

(同)栢植川

(鈴鹿川支)安樂川

(安樂川支)御幣川

(淀川小支)瀧川

(淀川小支)名張川

(名張川支)黒田川

(宮川支)馬瀬川

(同)大湊川

赤羽川

(同派)萩原川

(赤羽川支)三戸川

船津川

(同支)往古川

(下流)中ノ川

(同)田中川

志登茂川

岩田川

(下流)相川

金剛川

(支)勢々川

(揖斐川支)肱江川

(肱江川支)多度川

(員辨川支)鎌田川

(鎌田川支)田切川

(員辨川支)宇賀川

(下流)碧川

(同)三渡川

(雲田川支)中村川

愛宕川

坂内川

(下流)海藏川

(同)天白川

中川

笹笛川

大堀川

外城田川

勢田川

(派川)五十鈴川

(下流)五ヶ所川

加茂川

磯部川

池田川

銚子川

尾呂志川

(熊野川支)北山川
 (員辨川支)山田川
 (同)大山田川
 鹿化川
 (鈴鹿川支)加太川
 (淀川流域)名張川
 中ノ川
 (雲田川支)長野川
 宮川
 伊勢地川
 銚子川
 (産田川支)志原川
 (志登茂川支)毛無川
 (同小支)青蓮寺川
 雲田川
 宮川
 (木曾川派)鍋田川
 逢妻川
 (支)寶川
 (榊田川派)楔川
 (同)青川
 (朝明川支)田光川
 (三ノ瀧川支)金溪川
 瀧川
 (名張川支)黒田川
 雲田川
 (同)榊原川
 (宮川支)大内山川
 五ヶ所川
 (北山川支)大又川
 市木川
 (淀川小支)川上川
 (同小支)前深瀬川
 (同支)八手俣川
 (同支)大内山川
 矢作川
 日光川
 天白川
 (員辨川支)相場川
 (同)戸上川
 海藏川
 (安樂川支)八島川
 (柘植川支)河合川
 (同)青蓮寺川
 (雲田川支)中村川
 榊田川
 (同)一之瀬川
 船津川
 井戸川
 古川
 (同支)名張川
 (揖斐川支)肱江川
 榊田川
 庄内川
 蟹江川
 堀川
 (鎌田川支)貝野川
 (揖斐川支)肱江川
 天白川
 鈴鹿川
 (淀川支)服部川
 (長田川支)前深瀬川
 八手俣川
 金剛川
 五十鈴川派川
 (船津川支)往古川
 産田川
 白石湖
 (同小支)黒田川
 (同小支)多度川
 船津川
 境川
 (支)善太川
 梅田川

矢作川
 豊川
 光堂川
 戸田川
 境川(小牧)
 大山川
 内津川
 水野川
 香流川
 大江川
 天白川
 井堰川
 砂川
 明德寺川
 神戸川
 内海川
 日長川
 大高川
 油ヶ淵
 (日光川支)東小川
 木曾川
 三宅川
 五條川
 合瀬川
 八田川
 大谷川
 矢田川
 黒川
 扇川
 境川
 正戸川
 石ヶ瀬川
 豆搗川
 石川
 山王川
 信濃川
 蜷川(碧海)
 稗田川
 音羽川
 領内川
 日比川
 青木川
 郷瀬川
 生地川
 繁田川
 瀬戸川
 荒子川
 植田川
 前川(愛知)
 皆瀬川
 鞍流瀬川
 須賀川
 大川
 矢田川(知多)
 大田川
 堀川(碧海)
 長田川
 梅田川
 野府川
 西小川
 幅下川
 薬師川
 西行堂川
 鮫川
 山口川
 山崎川
 岩崎川
 若王子川
 明神川
 岡田川
 阿久比川
 矢勝川
 前山川
 中川
 新川(碧海)
 半場川
 五七一

朝鮮川
下り松川
逢妻男川
飯野川
田代川
段戸川
市木川
足助川
瀧川
伊賀川
廣田川
須美川
御津川
西古瀬川
寒狭川
島田川
宇利川
坂宇場川
鴨山川

鹿乘川
吹戸川
籠川
犬伏川
野入川
小田木川
巴川
神越川
郡界川
乙川
相見川
安藤川
音羽川
佐奈川
當貝津川
海老川
神田川
津具川
御殿川

前川(碧海)
逢妻川
伊保川
木瀬川
名倉川
介木川
野原川
大見川
青木川(額田)
男川
柳川
矢崎川
山影川
江川
栗島川
三輪川
天龍川
古眞立川
東蘭目川

五七二
猿渡川
逢妻女川
御船川
大平川
黒田川
阿摺川
大桑川
仁王川
眞福寺川
鉢地川
尾濱川
拾石川
白川
西江川
(豊川水系)巴川
黄柳川
大入川
振草川
柳生川

梅田川
紙田川
免々田川
潤井川
丹野川
(支)朝比奈川(志太)
巴川
興津川
萩間川
安倍川
敷地川
河津川
山川
修善寺川
柿澤川
境川
須川
瀧川
由比川

落合川
蜷川(渥美)
天白川(渥美)
瀬戸川
(太田川支)仿僧川
(小支)葉梨川(上流)
都田川
枋山川
馬込川
大井川
芝川
青野川
大川(戸田)
大見川
來光川
觀音川
野澤川
和田川
中河内川(庵原)

濱田川
汐川
發杭川
天龍川
(小支)今ノ浦川
沼川
(天龍川支)氣田川
湯日川
(稻梓川支)稻生澤川
太田川
寸又川
岩科川
大川(伊東)
冷川
大場川
深良川
須津川
稻子川
庵原川

西ノ川
今池川
福田川
牛淵川
(上流)瀬戸川
(上流)潤井川
那賀川
勝間田川
狩野川
原野谷川
白田川
仁科川
千歳川
深澤川
柿田川
鮎澤川
赤淵川
稻瀬川
山原川
五七三